O R6取り組み状況について(集計表)

		1																							資料	1-4
具体	ト的な取組の柱	_			I	1	ı	1	ı	か				実施	する	機関				村稲	1		ı	ı		
	事項	主な内容	目標時期	土浦市	石岡市	龍ケ崎	鹿嶋市	潮来市	稲敷市	かすみがうら市	神栖市	行方市	鉾田市	小美玉	美浦村	阿見町	河内町	利根町	香取市	圏 事 務 組 太	茨城県	千葉県	気象庁	鉄道)	鉄道㈱	関東地整
	具体的な取組					市			-1-	т				市	.,					合域 市 町	,,,	,	,,	70	****海	翌
	ハード対策の主な取組 1)洪水を河川内で安全に																									
	①優先的に実施する堤防整備	·無堤区間、堤防断面不足区間	H28年度から 順次実施																		0					
	②優先的に実施する波浪対策	·波浪対策対象区間	H28年度から																							
	③危機管理型ハード対策	・高齢者が特に多い地域等において、危機管理型	順次実施順次実施																							
(3		ハード対策等を概成 排水活動に資する基盤等の整備	順久天池																							
	①雨量・水位等の観測データ& び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備		引き続き実施																		•					
	②防災行政無線の改良、防災 ラジオ等の配布	・防災無線の整備・改良、防災ラジオ等の配布	H28年度から 順次実施	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•	0							
	③水防活動を支援するための 新技術を活用した水防資機材 等の配備	・水防活動を支援するための新技術を活用した水防 資機材等の配備	H28年度から 順次実施	×	•	•	•	0	0	0	•	•	•	0	•	•	0	0	Δ		0					
	④簡易水位計や量水標、 CCTVカメラ等の設置	・水位計(危機管理型水位計含む)や量水標、CCTV カメラ(監視用カメラ含む)等の設置 ・POTEKAの設置	H28年度から 順次実施	0	•	•	* 0	Δ	×	•	•	Δ	•	•	•	0	Δ	×			0					
	⑤浸水時においても災害対応 を継続するための施設の整備 及び自家発電装置等の耐水化	・浸水時においても災害対応を継続するための施設 の整備及び自家発電装置等の耐水化	H28年度から 順次実施	•		•			•			Δ				•	Δ									
	⑥内水被害危険箇所の対策、 排水ポンプの準備	・移動式ポンプの増設等 ・消防車両ポンプの転用	H28年度から 順次実施	•	Δ	•	•	0	0	•	•	0	0	•	•	•	•	Δ			0					
	⑦重要インフラの機能確保を 図るため、病院、市役所など重 要施設の雨水排水整備の実施	・沿川の地方公共団体や民間事業者等との情報交換を十分に行い、高規格堤防の整備との共同事業を積極的に地方公共団体や民間事業者等に提案する取組を実施し、新規着工に向けた調整・検討。	順次実施	•	Δ		×	0	Δ	×	Δ	Δ	Δ	•	Δ	0	Δ	Δ			Δ					
	⑧河川防災ステーションの整備	・協議会等の場を活用して、河川防災ステーションの 整備を進めるとともに、関係機関と情報を共有し市 町村等の円滑な水防活動等、活用方策を検討・調 整。	順次実施																							
	⑨庁舎等の防災拠点の強化	災害活動拠点施設となる事務所及び事務所をつな ぐ重要な通信中継施設の停電対策、通信機器の整 備が不足している事務所へ災害対策用通信機器の 増強等を実施。	順次実施	•	Δ	•	•	0	Δ	0	•	Δ	Δ	•	Δ	•	Δ	0			Δ					
具体	ト的な取組の柱													実施	する	機関										
	事 項		D +== n+ #0			杂				かすみ				小						村稲圏敷事地					-	艮
	具体的な取組	主な内容	目標時期	土浦市	石岡市	ケ崎	鹿	潮	稲	が	神	行 方 市	鉾田	美	美	阿	河	利								
				Π	m	市	嶋市	来市	敷市	うら	栖市	市	市	市	村	見町	内町	根町	香取市	務方 組広 合域	茨城県	華県	気象庁	数道(株) 本貨物	鉄道㈱ 鹿島臨海	東地整
	①想定最大規模降雨による浸水相定区域図の公表	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	H28年度から実 施	η	т	市	嶋市	来市	敖市	² うら市	市	市	市	市	村	町	NET CONTRACTOR	根町	取	務方 組広	茨城県	葉県	気象庁	数道㈱	鉄道㈱	東地
1	①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ・想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの 公表	H28年度から実施 H29年度(県) H28年度から 順次実施	T)	m	市	嶋市	来市	敖市	うら	市	市	市	市	村	町	以 m	根町	取	務方 組合 市	茨城県	千葉県	気象庁 -	数道㈱	鉄道㈱	東地名
	水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾	・想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	施 H29年度(県) H28年度から 順次実施 H28年度から	Δ	Δ	市	嶋市	※来市	敖市	うら	市	市 -	市 •	市	油村	元町	∑ ●	根町	取	務方 組合 市	•	千葉県 △	気象庁		鉄道㈱	1
	水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表	・想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの 公表	施 H29年度(県) H28年度から 順次実施			市		来市		うら市				市	村				取市	務方 組合 市	•				鉄道㈱	1
	水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・協議会の中で広域避難計画(案)を策定する	施 H29年度(県) H28年度から 順次実施 H28年度から 順次実施 H28年度から	Δ	Δ	市	Δ	来市	Δ	うら市 〇	•	•	•	市 •	村 O	•	•	•	取市	務方 組合 市	0	Δ			鉄道㈱	東地
	水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマ・	・想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ・ 作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・ 協議会の中で広域避難計画(案)を策定する ・ 作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・ 洗水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた検討を行う ・ 作成に必要な情報の提供及び策定を支援	施 H29年度(県) H28年度から 順次実施 H28年度から 順次実施 H28年度から 実施	Δ	Δ	· 市	Δ.	来市	Δ	うら市 〇	•	•	•	市 •	村 〇	•	•	•	0 0	務方 組合 市	0	Δ			鉄道㈱	東地登
(2	水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマ・ブ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難針	・想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ・ 作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・ 協議会の中で広域避難計画(案)を策定する ・ 作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・ 洗水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた検討を行う ・ 作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・ 要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難 訓練等を支援する	施 H29年度(県) H28年度から 順次実施 H28年度から 順次実施 H28年度から 実施 H28年度から 実施	Δ	Δ	•	Δ •	来市	Δ Δ	うら市 〇	• •	•	•	фД	村 〇	• •	•	•	取市 O O	務方 組合 市	•	Δ	0 (6×7)		鉄道㈱	東地名
(2	水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマ・ブ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ・ 作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・ 協議会の中で広域避難計画(案)を策定する ・ 作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・ 洗水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた検討を行う ・ 作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・ 要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難 訓練等を支援する	施 H29年度(県) H28年度から 順次実施 H28年度から 順次実施 H28年度から 実施 H28年度から 実施	Δ	Δ	•	Δ •	来市	Δ Δ	うら市 〇	• •	•	•	фД	村 〇	• •	•	•	取市 O O	務方 組合 市	•	Δ	0 (6×7)		鉄道㈱	19 出
(2	水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマ・ブ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 2)避難指示の発令に着目した ①避難指示の発令に着目した	・想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・協議会の中で広域避難計画(案)を策定する ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・洪水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた 検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・選水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた 検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・要配慮者利用施設において策定している避難計画 の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難 訓練等を支援する したタイムラインの作成 ・作成に必要な水位情報等の提供 ・間東地巻、市町村と協同し、策定を支援 ・タイムラインの策定を行う	施 H29年度(県) H28年度から 順次実施 H28年度から 第次実施 H28年度から 第28年度から H28年度から 第28年度がら H28年度がら	Δ Δ	Δ Δ	• O	Δ •	**市	Δ Δ	うら市 O	• • •	• •	•	市	村		•	•	取市〇〇〇〇	務方 組合 市	0 0	Δ	6×700		鉄道㈱	9 地名
(2	水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマ・ブ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 2)避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ②避難指示の発令に着目したタイムラインで作成	・想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・協議会の中で広域避難計画(案)を策定する ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・洪水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難 訓練等を支援する したタイムラインの作成 ・作成に必要な水位情報等の提供 ・作成に必要な水位情報等の提供 ・・間東地巻、市町村と協同し、策定を支援 ・・タイムラインの策定を行う	施 H28年度(県) H28年度(県) H28年度から 順次 度変施 H28年度施ら H28年度施 H28年度施 H28年度施 H28年度がら 東施	Δ Δ	Δ Δ	市 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Δ••	**市 O	Δ Δ Ο	うら市 O	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•	ΦΔ	付 O O	Δ	•	•	取市○○○○○	務方 組合 市	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	Δ Δ Ο	© × 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		鉄道㈱	東地登
(2	水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマ・ブ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 2)避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成 ③「マイ・タイムライン」作成講	・想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・協議会の中で広域避難計画(案)を策定する ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・洪水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する したタイムラインの作成 ・作成に必要な水位情報等の提供 ・関東地巻、市町村と協同し、策定を支援 ・タイムラインの策定を行う	施 H29年度(県) H28年度(県) H28年度 度がら 順次 度変施 H28年度施 H28年度施 H28年度施 H28年度施 H28年度施 H28年度施 H28年度施 H28年度を B 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度	Δ Δ	Δ Δ	市 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Δ•••	**市 O	Δ Δ Δ	うら市	• • • • • •	• •	•	市・・・・	付 O O	•	•	•	取市 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	務方 組合 市	0 0	Δ Δ Ο	© (6 × 7) (7) × (7) △ △		鉄道㈱	東地震
(2	水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマ・ブ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ②避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成 ③「マイ・タイムライン」作成講習の実施	・想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・協議会の中で広域避難計画(案)を策定する ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・洗水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・選水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する したタイムラインの作成 ・作成に必要な水位情報等の提供 ・タイムラインの作成を促進する ・マイ・タイムラインの作成を促進する ・マイ・タイムラインの作成を促進する ・マイ・タイムラインの作成を促進する ・・ンプセミナーの開催 ・自治体訓練に参加 ・図上型防災訓練のモデルの構築 ・実践的な訓練の実施	施 H29年度(県) H28年度度実 度変施 H28年度変速 度変施 H28年度施 H28年度施 H28年度施 H28年度施 H28年度施 H28年度 度変 H28年度次 東変速 H28年度次 東変速 H28年度次 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	Δ Δ Δ	Δ Δ Δ	のへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへ	•	**市 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Δ Δ Δ	うら市	• • • • • • • •	•	•	ф 	O O	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•	• • • • • • • •	取市 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	務方 組合 市	0 0 0	Δ Δ Ο	(6) × (7) × (7) × (4)		鉄道梯	東地登
(22	水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ②避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ②避難指示の発令の判断基準に基づいた。マイ・タイムラインの作成 ③「マ・タイムライン」作成講習の実施 ⑥気象情報発信時で「危険度の色分さ可能性の行報提供」等 ⑥気象情報発信時で「危険度の色分さ可能性の情報促失」等	・想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ・地度最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・協議会の中で広域避難計画(案)を策定する ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・洗水浸水総地図の公表後、看板の設置に向けた検討を行う ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する したタイムラインの作成 ・作成に必要な水位情報等の提供・関東地整、市町村と協同し、策定を支援・ ・マイ・タイムラインの作成を促進する ・マイ・タイムラインの作成を促進する ・マイ・タイムラインの作成を促進する ・マイ・タイムラインの作成を促進する ・マイ・タイムラインの作成を促進する ・マイ・タイムラインの情報等の提供・当時は対象に参加・20上型防災訓練の主デルの構築・実践的な訓練の実施 ・警報等における危険度の色分け表示・「警報級の現象になる可能性」の情報提供・メッシュ情報の充実化 ・番年、出水規則に協議会において連絡体制を確 ・ 選報等における危険度の色分け表示・「警報級の現象になる可能性」の情報提供・メッシュ情報の充実化	施 H29年 度(県) H28年 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度 度	Δ Δ	Δ Δ Δ	のへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへへ	•	**市 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	Δ Δ Δ	うら市	• • • • • • • •	•	•	ф 	O O	•	•	•	取市 O O O O O O O O O O O O O O O O O O O	務方 組合 市	0 0 0	Δ Δ Ο	© × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×		鉄道㈱	東地整

O R6取り組み状況について(集計表)

事														夫加	する	饭渕										
Ē	項	主な内容	目標時期			龍				かすみ				ds						村稲敷事地					m	RA
=	具体的な取組	7.61.17	D []X=170]	土浦市	石岡市	から	鹿嶋市	潮来市	超敷市	がうら	神栖市	行 方 市	鉾田市	美玉市	美浦村	阿見町	河内町	利根町	香取市	務方 組広 合域	茨 城 県	千 葉 県	気 象 庁	鉄道㈱ 制	鉄道㈱ 鹿島臨海	関東地整
(3)	防災教育や防災知識の	普及								市										市町						
1	①水災害に事前準備に関する 問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	H28年度から 順次実施	•	•	•	•	•	Δ	0	•	•	•	•	•	Δ	•	•	•		•		•			
	②水防災に関する説明会の開 誰・広報の実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行って いく ・実施について検討する	H28年度から 順次実施	•	•	×	•	0	•	•	•	0	0	•	Δ	Δ	0	0	0		0	•	•			
	3教員を対象とした講習会の 実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行って いく ・実施について検討する	H28年度から 順次実施	•	Δ	×	Δ	0	•	Δ	•	0	0	0		Δ	Δ	0	0		0	•	•			
	①小学生を対象とした防災教 育の実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行って いく ・実施について検討する	H28年度から 順次実施	•	•	0	•	0	•	•	•	0	0	•	•	Δ	•	0	0		0	0	•			
	り出前講座等を活用した講習 会の実施	・要請により出前講座等を積極的に行っていく	H28年度から 順次実施	•	•	•	•	0	•	•	•	Δ	0	0	0	•	•	•	0		0	Δ	•			
	のプッシュ型の洪水予報等の 青報発信	・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信 ・情報入手方法などの周知	H29年度から実 施	•	0	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	0	0	•	0		0		0			
	最をリアルタイムで提供	・ホームページやスマートフォンなどに水位計やライ ブカメラの情報をリアルタイムで提供する ・市公式サイトに川の防災情報をリンク付けし情報共	H28年度から 順次実施	•	•	•	•	•	0	•	•	•	•	•	•	Δ	Δ	Δ	0		0					
	部許可工作物管理者への防災 教育の実施	有している ・操作規則作成に必要な情報の提供及び支援 ・履行検査における周知	H28年度から 順次実施	0	Δ	•	0	Δ	Δ	Δ	0	0	0	0	0	Δ	Δ	Δ	Δ		Δ					
体的	内な取組の柱	1			<u> </u>									実施	する	機関										
事	項 項	主な内容	目標時期	土浦	石岡	龍ケ崎	鹿嶋	潮来	稲敷	かすみがう	神栖	行方	鉾田	小美玉	美浦	阿見	河内	利根	香取市	村圏事務	茨城県	千葉県	気象庁	鉄道㈱	鉄道㈱	関東地整
Ę	具体的な取組			市	市	市	市	市	市	りら市	ŧ	市	市	市	村	町	町	町	市	務組合町	県	県	亡	耕物	株海	型整
		②洪水氾濫による被害の軽減、避難 D実施及び水防体制の強化	時間の確保	₹の†:	<u>-</u> めの	水防	活動	の取	組																	
	①水防団等への連絡体制の再 確認と伝達訓練の実施	・情報伝達訓練等の実施	H28年度から 実施	•	0	•	•	0	•	•	•	0	0	0	•	•	•	0	0							
②	②水防団同士の連絡体制の確 呆	・連絡体制の確保	H28年度から 実施	•	•	0	•	•	•	•	•	•	•	•	•	0	•	0	0							
る	③水防団や地域住民が参加す 5洪水に対しリスクが高い区間 D共同点検	・国が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加・人員不足、多くの対象箇所があることなどから取り組み方法については、今後検討していく必要があ	H28年度から 実施	•	•	•	×	0	Δ	0	•	•	•	•	•	•	•	0	0	•	0	0	Δ			
	④関係機関が連携した実働水 方訓練の実施	かい	引き続き 定期的に実施	•	Δ	•	Δ	Δ	•	0	•	0	Δ	•	•	•	•	0	0	0	0	0	Δ			
	⑤水防活動の担い手となる水 防協力団体の募集・指定を促 進	・団員による声かけやコミュニティーFMでの募集 ・広報誌やホームページ等で募集していく	引き続き実施	0	0	•	0	Δ	Δ	Δ	•	0	0	•	0	•	•	0	Δ							
@ ₹	⑥地域の建設業者による水防 支援体制の検討・構築	・地域の建設業者を組み込んだ水防支援体制の構 築	H28年度から 順次実施	•	Δ	•	•	•	Δ	Δ	•	•	•	•	0	•	•	×	•							
	⑦内水被害危険箇所の把握及 『情報共有	・関係自治区との情報共有	H28年度から 順次実施	•	Δ	0	•	0	0	•	0	0	•	•	0	×	0	0			0	0				
	k防資機材の確認	・毎年、出水期前に重要水防箇所や水防資機材等について河川管理者と水防活動に関わる関係者(水防活動に関わる関係者(水防活動に係る建設業者を含む)が共同して点検を実施。	順次実施	•	•	•	×	0	Δ	Δ	•	0	Δ	•	0	Δ	•	0	•	Δ	0	0				
	水防団員確保に係る取組)	・協議会等の場を活用して、水防団員の募集、自主 防災組織、企業等の参画を促すための具体的な広 報の進め方について検討の上、順次実施するととも に、必要に応じて本省としても水防団員募集に係る 広報を実施。	順次実施	0	0	•	•	0	Δ	Δ	0	0	0	•	0	0	Δ	0	Δ	Δ	•					
T		・引き続き、多様な関係機関、住民等の参加により、 より実践的な水防訓練となるよう、必要に応じて訓練 内容の検討、調整をし改善を図りつつ実施。	順次実施	•	Δ	•	×	0	0	0	0	Δ	Δ	0	0	•	•	0	•	Δ	0	0				
	カに関する検討	・協議会等の場を活用し、大規模な氾濫に対してより 広域的、効率的な水防活動が実施できるよう、必要 に広吹して関係者の協力内容等について検討・調整し 改善を図る。	順次実施	0	Δ	•	×	Δ	0	Δ	0	Δ	0	0	0	0	Δ	0	Δ	0	0	0				
体的	内な取組の柱					ı								実施	する	機関			ı						=	
事	項	主な内容	目標時期	土浦	石岡	龍ケ崎	鹿嶋	潮来	稲敷	かすみが	神栖	行方市	鉾田	小美玉	美浦	阿見	河内	利根	香取市	村圏事務	茨城県	千葉県	気象庁	鉄道㈱	鉄道㈱	関東地整
È	具体的な取組			市	市	市	市	市	市	う ら 市	市	т	市	市	村	町	町	町	ΠŪ	組域合市町	乐	県	ıπ	燃物	(本)海	整
_		③一刻も早い生活再建及び社会経済	斉活動の回 行	复をす	可能と	する	ため	の排	水活	動の	取組															
① 報	排水計画(案)の作成及 ①排水機場・樋門・水門等の情 根共有、排水手法等の検討を 行い、大規模水害を想定した	び排水訓練の実施 ・作成に必要な情報の提供	H28年度から 実施	0	Δ	•	•	0	Δ	Δ	0	0	0	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ		Δ	Δ				
排	非水計画(案)の作成	・関係自治体が実施する訓練への参加	H28年度から	0	Δ	0	×	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ		Δ	Δ				
3	3内水被害危険箇所の排水計	・作成に必要な情報の提供	実施 H28年度から 順次実施	0	Δ		0	0	Δ	Δ	0	0	0	0	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ		Δ	Δ	-			
	4)排水設備の耐水化	・浸水による機能停止リスクが高い下水道施設約70 箇所(水密扉の設置等約10箇所)、河川の排水機場 約20箇所について、排水機能停止リスク低減策を概 ね完了。	順次実施 R3年度から 順次実施		Δ	•	×	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	Δ	0	Δ	Δ	Δ	Δ								
4							1	_				1	t e	t e	1	 	-			_			-			

内容	関東地整 実施内容	実施内容	実施 着手	期間 完了	気象F R4年度実績	******* R5年度実績	実施状況	R6年度実績
後の主な取組 Kを河川内で安全に流す対策	•	<u> </u>				•		
優先的に実施する堤防整備	-無堤区間							
	- 堤防断面不足区間							
優先的に実施する波浪対策	· 波浪対策対象区間(約14km)							
危機管理型ハード対策	・危機管理型ハード対策等							
推行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備								
雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の 備	・							
防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布								
)水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・新技術(水のう等)を活用した資機材等の配備							
簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・量水標、カメラの設置							
浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置の耐水化	自家発電装置等の耐水化							
の内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	- 移動式ポンプの増設等						++	
重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水 備の実施	・重要施設の雨水排水整備の実施							
河川防災ステーションの整備	・河川防災ステーションの整備を進める							
)庁舎等の防災拠点の強化	· 防災拠点の停電対策、災害対策用通信機器の増強等							
7 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -					左			
内容	関東地奎		実施		気象庁 R4年度実績	^{実施状況} R5年度実績	実施状況	R6年度実績
の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取		7,30.71	着手	元〔				
								
想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表							
想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表	・想定最大規模降雨による氾濫シミュレーションの公表							
)広域避難計画の策定	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	・作成に必要な情報の提供および 策定を支援	·H28年度	•R7年度	・令和4年度の支援作業は生じていない(水戸・銚子)	・令和5年度の支援作業は生じていない(水戸・銚子)	,) ・令	う和6年度の支援作業は生 い(水戸・銚子)
		, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						
広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	71.00						
)広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 が表示されています。 が表示されています。 が表示されています。 が表示されています。 のでは、 ので	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援							
)まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・作成に必要な情報の提供及び策定を支援	・作成に必要な情報の提供	•H28年度	•R7年度	・令和4年度の支援作業は生じていない(水戸・銚子)	・令和5年度の支援作業は生じてしない(水戸・銚子)	,\ · · · ·	÷和6年度の支援作業はら い(水戸・銚子)
)まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充)要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進)ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用			•H28年度	•R7年度	・令和4年度の支援作業は生じていない(水戸・銚子)	・令和5年度の支援作業は生じていない(水戸・銚子)	ハ ・	い(水戸・銚子) 出前講座等でハザードマッ
まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 指指示の発令に落目したタイムラインの作成					・令和4年度の支援作業は生じていない(水戸・銚子) ・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている(水戸・銚子)	・令和5年度の支援作業は生じていない(水戸・銚子) ・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている(水戸・銚子)	・	い(水戸・銚子) 出前講座等でハザードマッルサイトを紹介した(水戸) を積なし(銚子) では、対からい個別の相談である。 がいます。
まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 指示の発令に着目したタイムラインの作成 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	- 作成に必要な情報の提供及び策定を支援 - 作成に必要な水位情報等の提供	・作成に必要な情報の提供 ・関東地方整備局、県、市町村と協同し、策定を支援	•H28年度		ない(水戸・銚子) ・タイムラインの策定にあたっての 助言に係る資料等は整っている(水	ない(水戸・銚子) ・タイムラインの策定にあたっての 助言に係る資料等は整っている(水	・ない ・	い水戸・銚子) 出前講座等でハザードマッルサイトを紹介した(水戸) 建績なし(銚子) コリヤからの個別の相談 助言等を行った(水戸) バイムラインの策定にあた。 言に係る資料等は整って バイムラインの策定にあた。 言に係る資料等は整って デ・銚子)
まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 財指示の発令に着目したタイムラインの作成 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 避難指示の発令の判断基準に基づいた、、「マイ・タイムライン」作成講習の3	- 作成に必要な情報の提供及び策定を支援 - 作成に必要な水位情報等の提供	・作成に必要な情報の提供 ・関東地方整備局、県、市町村と協同し、策定を支援	•H28年度	・R7年度	・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている(水戸・銚子) ・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている。(水戸・銚子)・9時点に採る資料等は整っている。(水戸・銚子)・9時点において支援作業は牛じて	ない(水戸・銚子) ・タイムラインの策定にあたっての 助言に係る資料等は整っている(水戸・銚子) ・タイムラインの策定にあたっての 助言に係る資料等は整っている。 (銚子) ・現時点において支援作業は生じて	・	い(水戸・銚子) 出前講座等でハザードマッレサイトを紹介した(水戸) 実績なし(銚子) 可可付からい箇別の相談 前言等を行った(水戸) 言に係る資料等は整って ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 諸指示の発令に着目したタイムラインの作成 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 避難指示の発令の判断基準に基づいた、、「マイ・タイムライン」作成講習の3	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・作成に必要な水位情報等の提供 ・でイ・タイムラインの作成の促進	・作成に必要な情報の提供 ・関東地方整備局、県、市町村と協同し、策定を支援	•H28年度	•R7年度 •R7年度	ない(水戸・銚子) ・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている(水戸・銚子) ・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている。(水戸・銚子) ・現時点において支援作業は生じていない。(水戸・銚子) ・令和4年度の参加実績なし	ない(水戸・銚子) ・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている(水戸・銚子) ・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている。(銚子)・現時点において支援作業は生じていない。(水戸・銚子)	・	い水戸・銚子) 出前講座等でハザードマッルサイトを紹介した(水戸) を積なし(銚子) に町村からの個別の相談 動言等を行った(水戸) はイムラインの策定にあた。 言に係る資料等は整って はイムラインの策定にあた。 言に係る資料等は整って に「・銚子) はい。(水戸・銚子) か和6年度の参加実績なし子)
	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・作成に必要な水位情報等の提供 ・では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	・作成に必要な情報の提供 ・関東地方整備局、県、市町村と協同し、策定を支援 ・マイ・タイムラインの作成の促進	•H28年度 •R3年度	•R7年度 •R7年度	ない(水戸・銚子) ・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている(水戸・銚子) ・タイムラインの策定にあたっての助言に係る資料等は整っている。(水戸・銚子) ・現時点において支援作業は生じていない。(水戸・銚子) ・令和4年度の参加実績なし、(水戸・銚子) ・令和4年度の参加実績なし	ない(水戸・銚子) ・タイムラインの策定にあたっての 助言に係る資料等は整っている(水戸・銚子) ・タイムラインの策定にあたっての 助言に係る資料等は整っている。 (銚子) ・現時点において支援作業は生じいない。(水戸・銚子) ・令和5年度の参加実績なし(銚子)	・な 出り *** *** *** *** *** *** *** *** ***	出前講座等でハザードマッツルサイトを紹介した(水戸) 建績なし(銚子) にはないの個別の相談に 助言等を行った(水戸) では、からででは、からで 言に係る資料等は整ってした。 に係る資料等は整ってした。 に係る資料等は整ってした。 に係る子) 肥時点において支援作業はない、、、、、、、、、、、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

炎教育や防災知識の普及							
)水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	・問い合わせ窓口の対応へのサポート	•H28年度	•R7年度	・問い合わせ窓口を設置しているが、現時点においてサポートは生じていない(水戸・銚子)	・問い合わせ窓口を設置している が、現時点においてサポートは生じ ていない(銚子)	・問い合わせ窓口を設置し随 応している(水戸・銚子)
水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・市町村の要請により出前請産等を積極的に行っていく	・関係機関と連携し、効果的な対応 を検討する	•H28年度	•R7年度	・関係機関と連携上下防災対応を行う ため、毎年出水期前に防災気象連絡 会をリモード開催(水戸) ・地域住民を対象として、茨城県・防災 士会及び気多予報士会と共同で気象 庁ワーグショップを開催(水戸) ・台風の接近(ドチ影等や防災上の留 意事項について、リモート会議システム を併用した台風説明会を開催し、県内 全市両村に注意、警戒を呼びかけてい る(水戸・銚子) ・ホード防災担当者を対象に防災気象 ワークショップをリモート開催 (水戸・銚子)	・台風の接近に伴う影響や防災上の留意事項に用して、リモート会議システムを開催し、県内全市町村及び関係起開係起、警戒を呼びかけている(水戸・銚子)・市町村防災担当者を対象に防災気力・市町村防災担当者を対象に防災気力・ボージョップをリモート開催(水戸・銚子)	・関係機関と連携した防災対 うため、毎年出州期前に防災 連絡会議を開催(水戸) ・茨城県、茨城県市長会、茨 対会、気象合の共催により災 応講習会を実施(水戸) ・台風の接近に伴う影響や防 ・台風の接近に伴う影響や防 ・台風を乗りして、リモー システムを併用した台風説明 開催し、県内全市町村及び関 薬に注意、警戒を呼びかけて (銚子) ・市町村防災担当者を対象に 気象ワークショップをリモート! (銚子)
対員を対象とした講習会の実施	市町村の要請により出前講座等を積極的に行っていく	・教育委員会と連携し、効果的な対応を検討する	•H28年度	•R7年度	・学校に職員を派遣して、教員を対象とした防災に関する講習会を実施している(水戸・銚子)	・学校に職員を派遣して、教員を対象とした防災に関する講習会を実施している(水戸・銚子)	・学校に職員を派遣して、教 象とした防災に関する講習会 施している(水戸・銚子)
学生を対象とした防災教育の実施	・市町村の要請により出前講座等を積極的に行っていく	・教育委員会と連携し、効果的な対 応を検討する	•H28年度	•R7年度	・小学校に職員を派遣、又はリモートで防災に関する講演を実施している(水戸) ・小学生による気象台の見学を受け入れ、気象が防災に関して説明を行っている(水戸・銚子)	・小学校に職員を派遣、防災に関する講演を実施している(水戸・銚子) ・小学生による気象合の見学を受け 入れ、気象や防災に関して説明を 行っている(水戸・銚子)	・小学校に職員を派遣、防災 る講演を実施している(銚子) ・小学生による気象台の見等 入れ、気象や防災に関して記行っている(水戸・銚子)
前講座等を活用した講習会の実施	・要請により出前講座等を積極的に行っていく	・関係機関と連携し、効果的な対応 を検討する	•H28年度	•R7年度	・市民講座等の催しに職員を派遣して、講習会を実施している (水戸・銚子)・対面による講演のほか、リモート会議ンスチムを活用した講演も実施した。(水戸)	・市民講座等の催しに職員を派遣して、講習会を実施している(水戸・銚子)・対面による講演のほか、リモート会議ンステムを活用した講演も実施した。(水戸)	・市民講座等の催しに職員を て、講習会を実施している(ガ 子)
ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信						・危険度分布通知サービスの について出前講座等を利用 知した(水戸)
x位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・ホームページやスマートフォンなどに水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する						
F可工作物管理者への防災教育の実施	·操作規則作成に必要な情報の提供及び支援						
	・履行検査における周知						
の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水 効果的な水筋活動の実施及び水筋体制の強化)水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施							
効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化							
効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 水防団同士の連絡体制の確保		・毎年、河川事務所が実施する重 要水防箇所等の共同点検に参加し ていく	•H29年度	•R7年度	・令和4年度は参加対応なし (水戸・銚子)	・令和5年度は参加対応なし(水戸・銚子)	- 令和6年度は参加対応なし 銚子)
効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 水防団同士の連絡体制の確保 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	防活動の取組	要水防箇所等の共同点検に参加し	・H29年度 ・H28年度		(水戸・銚子) ・利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作講習に参加した(銚子) ・令和4年度は参加対応なし		銚子)
効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 水防団同士の連絡体制の確保 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検 関係機関が連携した実働水防訓練の実施	が活動の取組 ・重要水防歯所等の共同点検を実施	要水防簡所等の共同点検に参加していく・・水防管理団体が行う訓練への参			(水戸・銚子) ・利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作講習に参加した (銭子)	鉄子) ・ 令和5年度は参加対応なし(水戸) ・ 利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作購習に参加した	銚子) ・令和6年度は参加対応なし
効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 水防団同士の連絡体制の確保 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	が活動の取組 ・重要水防歯所等の共同点検を実施	要水防簡所等の共同点検に参加していく・・水防管理団体が行う訓練への参			(水戸・銚子) ・利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作講習に参加した(銚子) ・令和4年度は参加対応なし	鉄子) ・ 令和5年度は参加対応なし(水戸) ・ 利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作購習に参加した	銚子) ・令和6年度は参加対応なし
効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 水防団同士の連絡体制の確保 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進 地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	が活動の取組 ・重要水防歯所等の共同点検を実施	要水防簡所等の共同点検に参加していく・・水防管理団体が行う訓練への参			(水戸・銚子) ・利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作講習に参加した(銚子) ・令和4年度は参加対応なし	鉄子) ・ 令和5年度は参加対応なし(水戸) ・ 利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作購習に参加した	銚子) ・令和6年度は参加対応なし
効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 水防団同士の連絡体制の確保 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進 地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 内水被害危険箇所の把握及び情報共有	が活動の取組 ・重要水防歯所等の共同点検を実施	要水防簡所等の共同点検に参加していく・・水防管理団体が行う訓練への参			(水戸・銚子) ・利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作講習に参加した(銚子) ・令和4年度は参加対応なし	鉄子) ・ 令和5年度は参加対応なし(水戸) ・ 利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作購習に参加した	銚子) ・令和6年度は参加対応なし
効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 が水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 が水防団同士の連絡体制の確保 が水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 が、防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進 地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 内水被害危険箇所の把握及び情報共有 重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	が活動の取組 ・重要水防歯所等の共同点検を実施	要水防簡所等の共同点検に参加していく・・水防管理団体が行う訓練への参			(水戸・銚子) ・利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作講習に参加した(銚子) ・令和4年度は参加対応なし	鉄子) ・ 令和5年度は参加対応なし(水戸) ・ 利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作購習に参加した	銚子) ・令和6年度は参加対応なし
効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 水防団門との連絡体制の確保 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進 地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 内水被害危険箇所の把握及び情報共有 重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認 水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	が活動の取組 ・重要水防歯所等の共同点検を実施	要水防簡所等の共同点検に参加していく・・水防管理団体が行う訓練への参			(水戸・銚子) ・利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作講習に参加した(銚子) ・令和4年度は参加対応なし	鉄子) ・ 令和5年度は参加対応なし(水戸) ・ 利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作購習に参加した	銚子) ・令和6年度は参加対応なし
効果的な水店活動の実施及び水店体制の強化	が活動の取組 ・重要水防歯所等の共同点検を実施	要水防簡所等の共同点検に参加していく・・水防管理団体が行う訓練への参			(水戸・銚子) ・利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作講習に参加した(銚子) ・令和4年度は参加対応なし	鉄子) ・ 令和5年度は参加対応なし(水戸) ・ 利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作購習に参加した	・令和6年度は参加対応なし
効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	市活動の散組 ・重要水助歯所等の共同点検を実施 ・水肪管理団体が行う訓練への参加	要水防簡所等の共同点検に参加していく・・水防管理団体が行う訓練への参			(水戸・銚子) ・利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作講習に参加した(銚子) ・令和4年度は参加対応なし	鉄子) ・ 令和5年度は参加対応なし(水戸) ・ 利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作購習に参加した	銚子) ・令和6年度は参加対応なし
効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 水防団時への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検 関係機関が連携した実働水防訓練の実施 水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進 地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 内水被害危険箇所の把握及び情報共有 重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認 水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組) 水防訓練の充実 水防関係者間での連携、協力に関する検討 の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とす 計画(業)の作成及び排水訓練の実施 排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水	市活動の取組 ・重要木坊箇所等の共同点検を実施 ・水防管理団体が行う訓練への参加 るための排水活動の取組	要水防簡所等の共同点検に参加していく・・水防管理団体が行う訓練への参	-H28年度	•R7年度	(水戸・銚子) ・利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作講習に参加した(銚子) ・令和4年度は参加対応なし	鉄子) ・ 令和5年度は参加対応なし(水戸) ・ 利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作購習に参加した	銚子) ・令和6年度は参加対応なし
効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検)財係機関が連携した実働水防訓練の実施 (水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進)地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 (地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築)水放害危険箇所の把握及び情報共有 ()水防菌所の見直し及び水防資機材の確認 ()水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組) ()水水防訓練の充実 ()水防関係者間での連携、協力に関する検討	市活動の取組 ・重要水防造所等の共同点輪を実施 ・水防管理団体が行う訓練への参加 るための様水活動の取組	要水防箇所等の共同点検に参加していく ・水防管理団体が行う訓練への参加、支援 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-H28年度	•R7年度	(水戸・銚子) ・利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作講習に参加した(総子) ・令和4年度は参加対応なし(水戸) ・現時点において、作成への協力作	 ・令和5年度は参加対応なし(水戸)・利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作講習に参加した(銚子) ・現時点において、作成への協力作 	銚子) ・令和6年度は参加対応なし 総子)
効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施 水防団市への連絡体制の確保 水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検)水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検)財係機関が連携した実働水防訓練の実施 (水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進)地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 (中域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 (中域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 (中域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 (中域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 (中域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 (中域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 (中域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 (中域の建設業者による水防支援体制の確認 (中域の建設業者による水防支援体制の確認 (中域の建設業者による水防支援体制の確認 (中域の建設業者による水防支援体制の強認 (中域の建設業者による水防支援体制の強認 (中域の主な取組 (3)一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とする計画(素)の作成及び排水訓練の実施 (財政・大規模・場門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模が表によった特別を対象の実施 (財政・大規模・場門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模が表によった特別では、大規模が表によった。 (本)・大規模・場門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模が表によった。 (本)・大規模が表によった。 (本	おおかの取組 ・	要水防箇所等の共同点検に参加していく - 水防管理団体が行う訓練への参加、支援 - 排水ポンプの設置個所の選定まで行った排水計画(案)の作成への協力	-H28年度	•R7年度 •R7年度	・利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作講習に参加した(銚子)・名和4年度は参加対応なし(水戸)・名和4年度は参加対応なし(水戸)・現時点において、作成への協力作業は生じていない(水戸・銚子)・現時点において、作成への協力作	・令和5年度は参加対応なし(水戸)・利根川下流河川事務所主催の災害対策用機器操作講習に参加した(銚子) ・現時点において、作成への協力作業は生じていない(水戸・銚子) ・現時点において、作成への協力作	鉄子) ・令和6年度は参加対応なし 統子) ・対象外(水戸・銚子)

	T	T			茨城県								千葉!	B			
項事目項	内容	実施内容		施期間 完了		R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	実施内容		期間 完了	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績 実施状況
	対策の主な取組 洪水を河川内で安全に流す対策																
	①優先的に実施する堤防整備	・流入7河川における河川改修の実施【継続実施】	・過年度よ り継続実施	・R2年度以 降継続実 施	・流入7河川において掘削・築堤・橋 梁改築・用地取得等を実施した	○ ・流入7河川において掘削・築堤・ 梁改築・用地取得等を実施した	橋の深	流入河川において掘削・築堤・橋 改築・用地取得等を実施した	0	・県管理区間では予定なし							
	②優先的に実施する波浪対策																
	③危機管理型ハード対策																
(2)	避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備	 -雨量、水位、風向風速等の観測	ı														
	①雨量·水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握·伝達するための基盤の 整備		•H28年度	·R7年度	・クラウドによるメール配信サービスの整備検討	○ ・クラウドによるメール配信サービ の整備	^Z 0 / -	ール配信サービスの運用開始	•	・県管理区間に施設なし							
	②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布																
	③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・今後、水防資機材の補充・追加等 の際には、新技術を活用した水防 資機材による配備充実を図る。	•H28年度	•R7年度	・資機材等の確認を行い、不足した 水防資機材を補充した。	○・資機材等の確認を行った。	0 • 3	登機材等の確認を行った。	0	・配備予定なし							
	③簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・カメラの設置	•H28年度	•R7年度	危機管理型水位計及び簡易型河川 監視カメラの増設。	○ ・水位計及び河川監視カメラの増 検討	投 ○ 検	K位計及び河川監視カメラの増設 討	0	・県管理区間で設置予定なし							
	5浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置 等の耐水化	・県庁舎は浸水想定区域外								・県管理施設で予定なし							
	⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・内水被害危険箇所に関して関係 機関と情報の共有化を図っていく。	•H28年度	•R7年度	・水害統計調査により、市町村との 情報共有を図った。	・水害統計調査により, 市町村との 情報共有を図った。	〇 情	K害統計調査により、市町村との 報共有を図った。	0	・予定なし							
	⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の南水排水 整備の実施	・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度	実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続	△ ·9	実施に向けた取り組みを継続	Δ								
	③河川防災ステーションの整備																
	⑨庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続	Δ • 3	実施に向けた取り組みを継続	Δ								
項事目項	内容	実施内容		も期間 ママ	茨城県 R4年度実績 ***	R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	実施内容	実施	期間	千葉! R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績 寒態状況
	 対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組		<u> </u>	完了	1224	110 1 22 132				7,5171	<u> </u>	完了	1224				THE PASSING
(1)	広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	・想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表	•H29年度	•R7年度	新たに河川の洪水浸水想定区域図 を作成	・新たに56河川の洪水浸水想定区 域図を公表	全水产	ての県管理河川における洪水浸 想定区域図を今年度末迄に公表 定	•	・県管理区間での予定無し							
	②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表	・氾濫シミュレーションの検討	•H28年度	•R7年度	・氾濫シミュレーションの策定に向けた検討	○ ・氾濫シミュレーションの策定に向 た検討	o :1	3濫シミュレーションの策定に向け 検討	0	・県管理区間での予定無し							
	③広域避難計画の策定	・作成に必要な情報の提供及び策定を支援 ・市町村が広域避難計画を策定するに当っての課題等を整理したガイドラインを作成	•H28年度 •H29年度 •H30年度	•R7年度	・広域避難計画検討ワーキンググ ループを設置し、「大規模水害時に おける広域避難策定ガイドライン」 を作成済み	・広域避難計画検討ワーキンググ ルーブを設置し、「大規模水害時! おける広域避難策定ガイドライン」 を作成済み	・ルお	広域避難計画検討ワーキンググ ーブを設置し、「大規模水害時に ける広域避難策定ガイドライン」 作成済み	•	・作成に必要な情報の提供	•H28年度	•R7年度	・体制整備にあたり市町村より問い 合わせがあった場合は、適宜対応 を行う事で、市町村と連携を図って いく。 併せて国等の検討結果を踏まえ、 関係機関と連携を図りながら、検討 を行っていく。 (東京都広域避難の検討会に参画 し情報収集を実施)	Δ	・体制整備にあたり市町村より問い合わせがあった場合は、適宜対応を行う事で、市町村と連携を図っていく。 併せて国等の検討結果を踏まえ、関係機関と連携を図りながら、検討を行っていく。	△ 1	体制整備にあたり市町村より問い合わせがあった場合は、適宜対応を行う事で、市町村と連携を図っている。 から では、 から では できない から できない から できない から 検討 を行っている。
	③広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・作成に必要な情報の提供及び策 定を支援	•H28年度	•R7年度						・作成に必要な情報の提供	•H28年度	•R7年度	・内閣府「首都圏における大規模水 害広域避難検討会」での検討内容 や事例などについて情報収集を 行った。	Δ	・市町村から問い合わせがあった際 に適宜対応。	Δ .	市町村から問い合わせがあった際 A 二適宜対応。
	⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充																
	⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	- 作成に必要な情報の提供	•H28年度 •H30年度	•R7年度						・作成に必要な情報の提供	•H28年度	•R7年度	・市町村地域防災計画への要配慮 者利用施設の位置付けを促すとと もに、好事例を紹介するなどの支援 を実施	0	・市町村地域防災計画への要配慮 者利用施設の位置付けを促すとと もに、好事例を紹介するなどの支援 を実施	0	市町村地域防災計画への要配慮 者利用施設の位置付けを促すとと もに、好事例を紹介するなどの支援 を実施
	⑦ハ・ザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用																
(2)	避難指示の発令に着目したタイムラインの作成															Ŧ	
	①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・関東地整、市町と協同し、策定を 支援	•H28年度	·R7年度						<u>・作成に必要な水位情報等の提供</u> ・関係市へ作成の支援	•H28年度	•R7年度	・市町村より作成、支援要請があった場合は支援。	0	・市町村より作成、支援要請があった場合は支援	0 ;	・市町村より作成、支援要請があった場合は支援 O
	②避難指示の発令の判断基準に基づいた、、「マイ・タイムライン」作成講習の実施	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度	・マイ・タイムライン作成講座を開催(○ ・マイ・タイムライン作成講座を開作	≝ ○ • · ·	マイ・タイムライン作成講座を開催	0	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度	・県ホームページにおいて、マイ・タ イムラインの作成方法等について 周知を実施した。	0	・県ホームページにおいて、マイ・タイムラインの作成方法等について 周知を実施した。	0	県ホームページ、ちば県民だより及び 各種研修において、マイ・タイムライン の作成方法等について周知を実施し た。
	③「マイ・タイムライン」作成講習の実施				・マイ・タイムライン作成講座を開催(〇 ・マイ・タイムライン作成講座を開作	É O	マイ・タイムライン作成講座を開催	0				・県ホームページにおいて、マイ・タ イムラインの作成方法等について 周知を実施した。	0	・県ホームページにおいて、マイ・タ イムラインの作成方法等について 周知を実施した。	0	県ホームページ、ちば県民だより及び 各種研修において、マイ・タイムライン の作成方法等について周知を実施し
	③タイムラインに基づく実践的な訓練	- 図上型防災訓練のモデルの構築 - 図上型防災訓練の実施支援 - 訓練への参加	•H28年度 •H29年度 •H28年度		・県災害対策本部の図上訓練である風水害対応訓練において、タイム ラインを考慮して訓練した	・県災害対策本部の図上訓練である ・県災害対策本部の図上訓練である ・県災害対策本部の図上訓練である ・県災害対策本部の図上訓練である。 ・県災害対策本部の図上訓練である。 ・県災害対策本部の図上訓練である。 ・県災害対策本部の図上訓練である。	ム 0 る	具災害対策本部の図上訓練であ 風水害対応訓練において、タイム インを考慮して訓練した	0	・関係自治体訓練への参加	•H28年度	•R7年度	・国の情報伝達訓練を実施した。	0	-国の情報伝達訓練に参加した。	0	国の情報伝達訓練に参加した。
	⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の 情報提供」や「メッシュ情報の充実化」等の改善																
	⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)																

○ R6取り組み状況について(個票) ●:実施済み、 〇:実施中(検討中を含む)、 △:実施に向けた取り組みを継続、 ×:実施していない、 ■:対象外

	·	1					1											
①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	•H28年度	•R7年度	・問合せ内容に応じて、関係部署が 適宜対応した。	•	・問合せ内容に応じて、関係部署が適宜対応した。	•	・問合せ内容に応じて、関係部署が 適宜対応した。	•	・設置予定なし								
②水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・市町村の要請により出前講座等を 積極的に行っていく	・H28年度	•R7年度	・住民や民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催 ・決水ハザード内の小学校において マイ・タイムライン作成授業を実施	0	・住民や民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催・洪水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	0	・住民や民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催・決水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	0	・市町村の要請により出前講座等を 積極的に行っていく	•H28年度	•R7年度	・気象台と連携し、市町村防災担当 者向け、気象防災ワークショップ及 び意見交換会を実施した。	● 者向け	台と連携し、市町村防災担当 t、気象防災ワークショップ及 l交換会を実施した。	•	・気象台と連携し、市町村防災担当 者向け、気象防災ワークショップ及 び意見交換会を実施した。	•
③教員を対象とした講習会の実施	・市町村の要請により出前講座等を 積極的に行っていく。	•H28年度	•R7年度					・洪水ハザード内の小学校において マイ・タイムライン作成授業を実施	0	・市町村の要請により出前講座等を 積極的に行っていく	•H28年度	•R7年度	・防災教育実践研修会(管理職対象の部)において、大学教授や銚子地方気象台職員等の外部専門家を議師に招き、水災害を含む様々な災害のメカニズムや対処法、防災情報の活用についての講話を行い、各学校における防災教育の推進を図った。	象の音 大学学 災害を 災ム いての	教育実践研修会(管理職対 小教員対象の部)において、 按授や終子地方気象台職員 ・部専門家を講師に招き、水 舎む様々な災害のメカニズ ・例と、防災情報の活用につ ・関語を行いたおける 大育の推進を図った。	•	・防災教育実践研修会(管理職対象の部外員対象の部外員対象の部外員対象の部別目的において、大学教授や銚子地方気象台職員等の外部専門家を講師に招き、水災害を含む様々な災害のメカニズムや対処法、防災情報の活用についての講話を行い、各学校における防災教育の推進を図った。	•
④小学生を対象とした防災教育の実施	・市町村の要請により出前講座等を 積極的に行っていく。	•H28年度	•R7年度					・洪水ハザード内の小学校において マイ・タイムライン作成授業を実施	0	・市町村の要請により出前講座等を 積極的に行っていく	•H28年度	•R7年度	・「防災意識高揚のための啓発動 画」を活用して啓発を行った。			Δ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0
⑤出前講座等を活用した講習会の実施	・要請により出前講座等を積極的に 行っていく。 住民避難力強化事業(マイマップ、 マイ・タイムラインの作成等)の開催		•R7年度	・住民や民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催 ・洗水ハザード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	0	・住民や民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催・洪水・バード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	0	・住民や民生委員等を対象としたマイ・タイムライン作成講座を開催・決水・バード内の小学校においてマイ・タイムライン作成授業を実施	0	・要請により出前講座等を積極的に 行っていく	•H28年度	•R7年度	・要請がなかったため実施なし	△・要請	がなかったため実施なし。	Δ	-要請がなかったため実施なし。	Δ
⑥ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	・プッシュ型の洪水予報等の情報発信 ・情報入手方法などの周知	・H28年度	•R7年度	・防災情報メール、SNS等の登録促進	0	・防災情報メール、SNS等の登録促進	0	・防災情報メール、SNS等の登録促進	0	・設置予定なし								
⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・ホームページやスマートフォンなど に水位計やライブカメラの情報をリ アルタイムで提供する。		•R7年度	県内だけでなく、県外テレメータ観 測局をシステムに取り入れ、より広 範囲に河川状況を提供できるようシ ステム改良を行った。	0	・河川情報システムのスマートフォン版画面の整備検討	0	・河川情報システムのスマートフォン版の改良を実施	0	・設置予定なし								
⑧許可工作物管理者への防災教育の実施	・要請により出前講座等を積極的に行っていく。	・H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施予定なし								
策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防治 い効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化	舌!																	\exists
①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施																		
②水防団同士の連絡体制の確保																		
③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・人員不足、多くの対象箇所があることなどから取り組み方法については、今後検討していく必要がある。	•H28年度	•R7年度	・河川事務所が実施する共同点検 に毎年参加している。	0	・河川事務所が実施する共同点検 に毎年参加している。		河川事務所が実施する共同点検に 毎年参加している。	0	・国が実施する共同点検への参加	•H28年度	•R7年度	・国が実施する共同点検へ参加した。	O ・国が た。	実施する共同点検へ参加し	0	・国が実施する共同点検へ参加した。	0
③関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・水防管理団体が行う訓練への参加	•H28.5	•R7年度	・水防総合演習(利根川水系)へ、 参加した。	0	・水防総合演習(利根川水系)へ、 参加した。	0	・水防総合演習(利根川水系)へ、 参加した。	0	・水防管理団体が行う訓練への参加【毎年】	•H28年度	•R7年度	・利根川水系連合・総合水防演習へ参加した。		川水系連合・総合水防演習 ロした。	0	・利根川水系連合・総合水防演習を主催として開催した。	0
⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進																		
◎・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・																		1
③小切/A 別のだいサインの小切 tab カロドルクテ来・指えど に進 ⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築																		
	・内水被害危険箇所に関して関係 機関と情報の共有化を図っていく。	•H28年度	•R7年度	・水害統計調査により、市町村との 情報共有を図った。		・水害統計調査により、市町村との情報共有を図った。	0	・内水氾濫に係る避難情報発令の 目安となる取組みをとりまとめ市町 村へ周知 ・内水氾濫の恐れのある地区にお いて対策を働きかけを実施	0	・関係自治体と情報共有していく	•H28年度	•R7年度	・関係市と浸水被害箇所の情報共有を図った。	△ ・関係有を行	市と浸水被害箇所の情報共行力に。	0	-関係市と浸水被害箇所の情報共 有を行った。	2
⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	機関と情報の共有化を図っていく。	•H28年度 •R3年度		情報共有を図った。 ・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。		情報共有を図った。 ・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。		目安となる取組みをとりまとめ市町 村へ周知 ・内水氾濫の恐れのある地区にお いて対策を働きかけを実施 ・重要水防箇所について、毎年見直 しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へ 補充を行った。	0	- 乗車・叶笠記・・・ サ路線十竿の		•R7年度	・関係市と浸水被害箇所の情報共 有を図った。 ・重要水防箇所合同巡視を書面開 惟	△ 有を行			・関係市と浸水被害箇所の情報共 有を行った。 ・国が実施する共同点検へ参加した。	0
⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 ⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	機関と情報の共有化を図っていく。 ・重要水防箇所・水防資機材等の			情報共有を図った。 ・重要水防箇所について、毎年見直 しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へ は補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展 (6月)及び水防災意識強化週間(9	0	情報共有を図った。 ・重要水防箇所について、毎年見直 しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へ は補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展 (6月)及び水防災意識金化週間(9		目安となる取組みをとりまとめ市町 村へ周知 ・内水氾濫の恐れのある地区にお いて対策を働きかけを実施 ・重要水防箇所について、毎年見直 しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へ 補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展 (6月)及び水防災意識強化週間(9	0	・重要水防箇所・水防資機材等の			有を図った。	△ 有を行	inte		有を行った。	0 0
⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 ⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有 ⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	機関と情報の共有化を図っていく。 ・重要水防箇所・水防資機材等の	·R3年度		情報共有を図った。 ・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展	0	情報共有を図った。 ・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展		目安となる取組みをとりまとめ市町 村へ周知 ・内水氾濫の恐れのある地区にお いて対策を働きかけを実施 ・重要水防箇所について、毎年見直 と実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へ 補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展	•	・重要水防箇所・水防資機材等の	•R3年度		有を図った。	△ 有を行 ○ ・国がた。	inte	0	有を行った。	0 0
(8)地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 (7)内水被害危険箇所の把握及び情報共有 (8)重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認 (9)水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	機関と情報の共有化を図っていく。 ・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。 ・実践的な水防訓練の検討、実施	·R3年度	•R7年度	情報共有を図った。 ・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展(6月)及び水防災意識強化週間(9月)のパネル展を実施した。 水防総合演習(利根川水系)へ、参加した。 県管理河川における情報伝達訓練	0	情報共有を図った。 ・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展(6月)及び水防災意識強化週間(9月)のバネル風を実施した。 水防総合演習(利根川水系)へ、参加した。 県管理河川における情報伝達訓練		目安となる取組みをとりまとめ市町 村へ周知 ・内水氾濫の恐れのある地区にお いて対策を働きかけを実施 ・重要水防箇所について、毎年見直 しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へ 補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展 (6月)及び水防災意識強化週間(9月)のパネル展を実施した。 ・水防総合演習(利根川水系)へ、 参加した。 県管理河川における情報伝達訓練 及び洪水対応演習の実施 ・茨城県管理河川減災対策協議会	0 • 0	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	•R3年度 •R3年度	•R7年度	有を図った。 ・重要水防箇所合同巡視を書面開催	△ 有を行 ○ ・国がた。 ○ ・情報 ○ ・情報	実施する共同点検へ参加し	0 0	有を行った。 ・国が実施する共同点検へ参加した。 ・情報伝達演習を実施した。 ・香取地域水防連絡会において、関	0
(8)地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 (7)内水被害危険箇所の把握及び情報共有 (8)重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認 (9)水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組) (8)水防訓練の充実	機関と情報の共有化を図っていく。 ・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。 ・実践的な水防訓練の検討、実施 ・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度 •R3年度	•R7年度	情報共有を図った。 ・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。 ・県版広報コーナーで水防啓発展(6月)及び水防災意識強化週間(9月)のパネル展を実施した。 水防総合演習(利根川水系)へ、参加した。 県管理河川における情報伝達訓練及び洪水対応演習の実施 茨城県管理河川減災対策協議会の開催により、各水防、防災関係者	0	情報共有を図った。 ・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展(6月)及び水防災意識強化週間(9月)のパネル風を実施した。 水防総合演習(利根川水系)へ、参照管理河川における情報伝達訓練及び洪水対応演習の実施 茨城県管理河川減災対策協議会の開催により、各水防、防災関係者		目安となる取組みをとりまとめ市町 村へ周知 ・内水氾濫の恐れのある地区にお いて対策を働きかけを実施 ・重要水防箇所について、毎年見直 しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へ 補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展 (6月)及び水防災意識強化週間(9月)のパネル展を実施した。 ・水防総合演習(利根川水系)へ、 参加した。 県管理河川における情報伝達訓練 及び洪水対応演習の実施 ・茨城県管理河川減災対策協議会 の開催により、各水防、防災関係者	0 • 0	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。 ・実践的な水防訓練の検討、実施 ・広域的、効率的な水防活動の実	•R3年度 •R3年度	•R7年度	有を図った。 ・重要水防箇所合同巡視を書面開催 ・情報伝達演習を実施。 ・香取地域水防連絡会において、関係市町と水防活動を行うための連	△ 有を行 ○ ・国がた。 ○ ・情報 ○ ・情報	実施する共同点検へ参加し 実施する共同点検へ参加し 伝達演習を実施した。 地域水防運絡会において、関 でよれ防活動を行うための連	0 0	有を行った。 ・国が実施する共同点検へ参加した。 ・情報伝達演習を実施した。 ・香取地域水防連絡会において、関係市町と水防活動を行うための連	
⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 ②内水被害危険箇所の把握及び情報共有 ③重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認 ③水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組) ④水防訓練の充実 ①水防関係者間での連携、協力に関する検討 ※の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするだ	機関と情報の共有化を図っていく。 ・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。 ・実践的な水防訓練の検討、実施 ・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力 た8	•R3年度 •R3年度	-R7年度 -R7年度	情報共有を図った。 ・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。 ・県版広報コーナーで水防啓発展(6月)及び水防災意識強化週間(9月)のパネル展を実施した。 水防総合演習(利根川水系)へ、参加した。 県管理河川における情報伝達訓練及び洪水対応演習の実施 茨城県管理河川減災対策協議会の開催により、各水防、防災関係者	0 0	情報共有を図った。 ・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展(6月)及び水防災意識強化週間(9月)のパネル風を実施した。 水防総合演習(利根川水系)へ、参照管理河川における情報伝達訓練及び洪水対応演習の実施 茨城県管理河川減災対策協議会の開催により、各水防、防災関係者		目安となる取組みをとりまとめ市町 村へ周知 ・内水氾濫の恐れのある地区にお いて対策を働きかけを実施 ・重要水防箇所について、毎年見直 しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へ 補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展 (6月)及び水防災意識強化週間(9月)のパネル展を実施した。 ・水防総合演習(利根川水系)へ、 参加した。 県管理河川における情報伝達訓練 及び洪水対応演習の実施 ・茨城県管理河川減災対策協議会 の開催により、各水防、防災関係者	•	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。 ・実践的な水防訓練の検討、実施 ・広域的、効率的な水防活動の実	•R3年度 •R3年度	•R7年度 •R7年度	有を図った。 ・重要水防箇所合同巡視を書面開催 ・情報伝達演習を実施。 ・香取地域水防連絡会において、関係市町と水防活動を行うための連	□ 「	実施する共同点検へ参加し 実施する共同点検へ参加し 伝達演習を実施した。 地域水防運絡会において、関 でよれ防活動を行うための連	0 0	有を行った。 ・国が実施する共同点検へ参加した。 ・情報伝達演習を実施した。 ・香取地域水防連絡会において、関係市町と水防活動を行うための連	0 0 0
⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 ②内水被害危険箇所の把握及び情報共有 ③重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認 ③水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組) ③水防訓練の充実 ①水防関係者間での連携、協力に関する検討 第次計画(案)の作成及び排水訓練の実施 ①排水機場・経門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害	機関と情報の共有化を図っていく。 ・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。 ・実践的な水防訓練の検討、実施 ・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力 たる	•R3年度 •R3年度	•R7年度 •R7年度 •R7年度	情報共有を図った。 ・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展(6月)及び水防災意識強化週間(9月)のパネル展を実施した。 水防総合演習(利根川水系)へ、参加した。 県管理河川における情報伝達訓練及び洪水対応演習の実施 茨城県管理河川減災対策協議会の開催により、各水防、防災関係者と情報共有を図った。	о о о	情報共有を図った。 ・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展(6月)及び水防災意識強化週間(9月)のパネル展を実施した。 水防総合演習(利根川水系)へ、参加した。 県管理河川における情報伝達訓練及び洪水対応演習の実施 茨城県管理河川減災対策協議会の開催により、各水防、防災関係者と情報共有を図った。		目安となる取組みをとりまとめ市町 村へ周知 ・内水氾濫の恐れのある地区にお いて対策を働きかけを実施 ・重要水防箇所について、毎年見直 しを実施している。 ・水防費機材を確認し、不足箇所へ 補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展 (6月)及び水防災意識強化週間(9月)のパネル展を実施した。 ・水防総合演習(利根川水系)へ、 参加した。 県管理河川における情報伝達訓練 及び洪水対応演習の実施 ・茨城県管理河川減災対策協議会 の開催により、各水防、防災関係者 と情報共有を図った。	ОООО	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。 ・実践的な水防訓練の検討、実施 ・よ域的、効率的な水防活動の実 施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度 •R3年度	•R7年度 •R7年度 •R7年度	有を図った。 ・重要水防箇所合同巡視を書面開催 ・情報伝達演習を実施。 ・香取地域水防連絡会において、関係市町と水防活動を行うための連携、協力について確認した。	△ 「有を行 「	実施する共同点検へ参加し 実施する共同点検へ参加し 伝達演習を実施した。 地域水防運絡会において、関 7と水防活動を行うための連 力について確認した。 機関から作成に伴う協力要請	о О О	有を行った。 ・国が実施する共同点検へ参加した。 ・情報伝達演習を実施した。 ・香取地域水防連絡会において、関係市町と水防活動を行うための連携、協力について確認した。 ・関係機関から作成に伴う協力要請	
(6)地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築 ②内水被害危険箇所の把握及び情報共有 ③重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認 ③水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組) ③水防訓練の充実 ①水防関係者間での連携、協力に関する検討 董の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするたま水計画(案)の作成及び排水訓練の実施 ①排水機場・経門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	機関と情報の共有化を図っていく。 ・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。 ・実践的な水防訓練の検討、実施 ・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力 た。 ・作成に必要な情報の提供 ・関係自治体が実施する訓練への参加	•R3年度 •R3年度 •R3年度 •H28年度	•R7年度 •R7年度 •R7年度	情報共有を図った。 ・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展(6月)及び水防災意識強化週間(9月)のパネル展を実施した。 水防総合演習(利根川水系)へ、参加した。 県管理河川における情報伝達訓練及び洪水対応演習の実施 茨城県管理河川減災対策協議会の開催により、各水防、防災関係者と情報共有を図った。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・河川事務所が実施する排水ポンブ車の操作訓練へ参加し、技術の	о о о	情報共有を図った。 ・重要水防箇所について、毎年見直しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へは補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展(6月)及び水防災意識強化週間(9月)のパネル展を実施した。 水防総合演習(利根川水系)へ、参加した。 県管理河川における情報伝達訓練及び洪水対応演習の実施 茨城県管理河川減災対策協議会の開催により、各水防、防災関係者と情報共有を図った。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・河川事務所が実施する排水ポンプ車の操作訓練へ参加し、技術の		目安となる取組みをとりまとめ市町 村へ周知 ・内水氾濫の恐れのある地区にお いて対策を働きかけを実施 ・重要水防箇所について、毎年見直 しを実施している。 ・水防資機材を確認し、不足箇所へ 補充を行った。 ・県政広報コーナーで水防啓発展 (6月)及び水防災意識強化週間(9月)のパネル展を実施した。 ・水防総合演習(利根川水系)へ、 参加した。 県管理河川における情報伝達訓練 及び洪水対応演習の実施 ・茨城県管理河川減災対策協議会 の開催により、各水防、防災関係者 と情報共有を図った。	ООООДДД	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。 ・実践的な水防訓練の検討、実施 ・広域的、効率的な水防活動の実 施に向けた関係者との連携、協力 ・作成に必要な情報の提供	·R3年度 ·R3年度 ·R3年度 ·H28年度 ·H28年度	•R7年度 •R7年度 •R7年度	有を図った。 ・重要水防箇所合同巡視を書面開催 ・情報伝達演習を実施。 ・香取地域水防連絡会において、関係市町と水防活動を行うための連携、協力について確認した。 ・関係機関から作成に伴う協力要請がなかった。 ・関係機関における緊急排水計画が作成されていないため、訓練を実施していない。 ・関係機関から作成に伴う協力要請がなかった。	 □ - 情報 □ - 情報 □ - 情報 □ - 香市市協 □ - 関ながにしている。 □ 原体がにしている。 □ 原体がにしている。 □ 原体がにしている。 □ 原体がにしている。 	実施する共同点検へ参加し 実施する共同点検へ参加し 伝達演習を実施した。 地域水防連絡会において、関 では、防洗動を行うための連 力について確認した。 機関から作成に伴う協力要請 いった。 機関における緊急排水計画 をされていないため、訓練を実	о О О А	有を行った。 ・国が実施する共同点検へ参加した。 ・情報伝達演習を実施した。 ・香取地域水防連絡会において、関係市町と水防活動を行うための連携、協力について確認した。 ・関係機関から作成に伴う協力要請がなかった。 ・関係機関における緊急排水計画が作成されていないため、訓練を実施していない。 ・関係機関から作成に伴う協力要請がなかった。	

			15-49-00	土浦市	T T	,						石岡市	<u> </u>	,		
内容	実施内容	<u>実</u> 着手	施期間 完了	R4年度実績	^{実施供収} R5年度実績	実施状	R6年度実績	実施状況	実施内容	実施 着手		R4年度実績	実施状	® R5年度実績	実施状況	R6年度実績
ド対策の主な取組)洪水を河川内で安全に流す対策																
①優先的に実施する堤防整備																
②優先的に実施する波浪対策																
③危機管理型ハード対策																
) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 ①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備																
						F 11										
②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・一部のアナログ波防災無線を、 H28〜H29にかけてデジタル化する	・H28年度	H29年度	市内全域の防災無線のデジタル化 済(H29年度)	市内全域の防災無線のデジ済(H29年度) ● 希望世帯へ戸別受信機の貸 実施	_	希望世帯への戸別受信機の無償 貸与を継続	•	・既設アナログ波防災無線のデジタ ル化の検討	•H28年度	R7年度	・防災ラジオを市内の希望した世帯 や事業所等に貸与した。	•	・防災ラジオを市内の希望した世帯 や事業所等に貸与した。	•	・防災ラジオを市内の希望した世帯 や事業所等に貸与した。
③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・水防団員の安全を確保するため、 資機材等の充実を図る	•H28年度	R7年度	新資機材配備は無し。	× 新資機材配備はなし	×	資機材の新規配備等なし	×	・水防団員の安全を確保するため、 資機材等の充実を図る	・H29年度	•R7年度	・各分団にトランシーバーや雨衣を配備済み	•	・各分団にトランシーバーや雨衣を配備済み	•	・各分団にトランシーバーや雨衣を配備済み
④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・既存水位計を活用する。 ・POTEKA等の新規システムについて導入を検討する	•H28年度	•R7年度	・POTEKA等導入済み自治体に対 しての聞き取り調査を実施	O R6年度ワンコインセンサー実験にむけ調整中	·証実 O	ワンコインセンサの実証実験実施中	0	・POTEKAの導入	•H28年度	•R7年度	・設置済みのPOTEKAを活用	•	・設置済みのPOTEKAを活用	•	・設置済みのPOTEKAを活用
⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・実施済み	•H28年度	R7年度	実施済み	●実施済	•	実施済	•	・庁舎・避難所は地区外のため対象 なし	•H28年度	•R7年度					
⑤内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・内水ハザードマップを作成しており、局地的大雨等の発生時に巡回・ 点検を実施	· +H28年度	•R7年度	・内水ハザードマップ作成済み ・災害時の巡視を継続実施	● ・内水ハザードマップ作成済 ・災害時の巡視を継続実施	₩ •	・内水ハザードマップ作成済み ・災害時の巡視を継続実施	•	・揚水機場の有効活用のほか、危 険箇所へ排水ポンプ(マンホールポ ンプ等)を導入する	•H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・高浜湖岸に新たにCCTVカメラを 設置 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・高浜湖岸に設置したCCTVカメラを 活用・実施に向けた取り組みを継続
⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施	- 重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度	実施に向けた取り組みを継続	● 実施に向けた取り組みを継続	. •	実施に向けた取り組みを継続	•	・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続
⑧河川防災ステーションの整備																
③庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	·R3年度	•R7年度	MCA無線からIP無線への変更(R2 ~) 引き続き通信設備の強化に向けた 取り組みを継続	MCA無線からIP無線への変更 災害対策本部代替施設(防災行 線親機設置施設)へ非常用発電 置 引き続き通信設備の強化に向け 組みを継続	可政無 記機設 ●	IP無線操作訓練の強化 等	•	・防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続
内容	***	事	施期間	土浦市					A-16-4-A-	実施	期間	石岡市		for the state of the state o	1	
。 対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組	実施内容	着手	完了	R4年度実績	R5年度実績	実施状	R6年度実績	実施状況	実施内容	着手	完了	R4年度実績	実施状	R5年度実績	実施状況	R6年度実績
)広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等											[
①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																
①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表																
	・広域避難計画は未作成であるが、 災害協定を結んでいる自治体への 受け入れを急頭に置きつつ、新たな 自治体との協定締結を検討する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△・実施に向けた取り組みを継	続 △	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・協議会の中で広域避難計画(案) を策定する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続
②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表	災害協定を結んでいる自治体への 受け入れを念頭に置きつつ、新たな	-HZ9平及	-R7年度 H30年度	・実施に向けた取り組みを継続 中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定			・実施に向けた取り組みを継続 ハザードマップを改定	•	を策定する 想定最大規模降雨における洪水を	•H29年度 •H29年度	·R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。		・実施に向けた取り組みを継続 ・防災ハザードマップの配布を継続		
②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定	災害協定を結んでいる自治体への 受け入れを急頭に置きつつ、新たる 自治体との協定締結を検討する ・ 想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難計画を反映した	-HZ9平及				定に伴中		•	を策定する 想定最大規模降雨における洪水を 対象に、広域避難計画を反映した			・防災ハザードマップを作成し、住	•		•	
②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	災害協定を結んでいる自治体への 受け入れを念頭に置きつつ、新たな 自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難計画を反映した 洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置	- H29年度 - H30年度 - H29年度	H30年度	中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定	● 中小河川の浸水想定区域指 い、ハザードマップ改定作業	定に伴の	ハザードマップを改定	Δ Δ	を策定する 想定最大規模降雨における洪水を 対象に、広域避難計画を反映した 洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、整備	•H29年度	R7年度	・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・防災ハザードマップの配布を継続	Δ	・防災ハザードマップの配布を継糸 ・実施に向けた取り組みを継続
②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤求るごとまちごとハザードマップ整備・拡充	災害協定を結んでいる自治体への受け入れを念頭に置きつ、新たな自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洗水を対象に、広域避難計画を反映した 洗水ハザードマップを策定する ・洗水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設の避難計画の	·H29年度 -H30年度 -H29年度	H30年度	中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定 ・実施に向けた取り組みを継続	● 中小河川の浸水想定区域指 い、ハザードマップ改定作業 △ ・実施に向けた取り組みを継	定に伴の	ハザードマップを改定 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ Δ	を策定する 想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難計画を反映した 洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、整備 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の中に水害も対象 として位置づけ、避難訓練等を支援	•H29年度	R7年度 •R7年度	・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・防災ハザードマップの配布を継続 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・防災ハザードマップの配布を継続 ・実施に向けた取り組みを継続
②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ②ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	災害協定を結んでいる自治体への受け入れを念頭に置きつ、新たな自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洗水を対象に、広域避難計画を反映した 洗水ハザードマップを策定する ・洗水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設の避難計画の	·H29年度 -H30年度 -H29年度	H30年度	中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定 ・実施に向けた取り組みを継続	● 中小河川の浸水想定区域指 い、ハザードマップ改定作業 △ ・実施に向けた取り組みを継	定に伴の	ハザードマップを改定 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ Δ	を策定する 想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難計画を反映した 洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、整備 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の中に水害も対象 として位置づけ、避難訓練等を支援	•H29年度	R7年度 •R7年度	・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・防災ハザードマップの配布を継続 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・防災ハザードマップの配布を継続 ・実施に向けた取り組みを継続
②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ③広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑤要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	災害協定を結んでいる自治体への受け入れを念頭に置きつ、新たな自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洗水を対象に、広域避難計画を反映した 洗水ハザードマップを策定する ・洗水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設の避難計画の	·H29年度 -H30年度 -H29年度	H30年度	中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定 ・実施に向けた取り組みを継続	● 中小河川の浸水想定区域指 い、ハザードマップ改定作業 △ ・実施に向けた取り組みを継	定に伴 O A A A A A A A A A A A A A A A A A A	ハザードマップを改定 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ Δ	を策定する 想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難計画を反映した 洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、整備 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の中に水害も対象 として位置づけ、避難訓練等を支援	•H29年度	R7年度 •R7年度	・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。 ・実施に向けた取り組みを継続	ΔΔ	・防災ハザードマップの配布を継続 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ Δ	・防災ハザードマップの配布を継糸 ・実施に向けた取り組みを継続
②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ②ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	災害協定を結んでいる自治体への 受け入れを念頭に置きつつ、新たな 自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難計画を反映した 洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設の避難計画の 作成及び避難訓練の実施	- H30年度 - H30年度 - H29年度 - H29年度	H30年度 -R7年度 -R7年度	中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定 ・実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続	● 中小河川の浸水想定区域指い、ハザードマップ改定作業 △ ・実施に向けた取り組みを継 △ 実施に向けた取り組みを継	定に伴 O	ハザードマップを改定 ・実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続	Δ Δ	を策定する 想定最大規模降雨における洪水を 対象に、広域避難計画を反映した 洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、整備 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の中に水害も対象 として位置づけ、避難訓練等を支援 する	•H29年度 •H29年度	R7年度 •R7年度 •R7年度	・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続	 Δ δ	・防災ハザードマップの配布を継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続	Δ	・防災ハザードマップの配布を継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継 ・調練実施に向けた取り組みを継 ・費ケ浦、恋瀬川に対応したタイム
②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑤要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ⑦ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ②避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	災害協定を結んでいる自治体への 受け入れを急頭に置きつつ、新たな 自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難計画を反映した 洪水ハザードマップを策定する ・洗水浸水総地図の公表後、設置 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設の避難計画の 作成及び避難訓練の実施 ・作成済み	- H30年度 - H29年度 - H29年度 - H29年度	+R7年度 -R7年度 -R7年度	中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定 ・実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続	● 中小河川の浸水想定区域指 い、ハザードマップ改定作業 △ ・実施に向けた取り組みを継 △ 実施に向けた取り組みを継 ● 作成済み。適宜修正。 SNSを活用したマイタイムラー 問知 防災訓練や出前講座の実施	定に伴 ○ ○	ハザードマップを改定 ・実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 作成済み。適宜修正。	Δ Δ	を策定する 想定最大規模降雨における洪水を 対象に、広域避難計画を反映した 洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、整備 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の中に水害も対象 として位置づけ、避難訓練等を支援 する	•H29年度 •H29年度 •H28年度	R7年度 -R7年度 -R7年度	・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・調練実施に向けた取り組みを継続 ・調練実施に向けた取り組みを継続	 △ △ Б Б	・防災ハザードマップの配布を継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・武が東京・震が消したなイムラインを策定済み ・HPや広報紙にてマイ・タイムライン	Δ Δ	・防災ハザードマップの配布を継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継 ・ごかって、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、
②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤求るごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ②ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	災害協定を結んでいる自治体への 受け入れを急頭に置きつつ、新たむ 自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難計画を反映した 洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設の避難計画の 作成及び避難訓練の実施	- H29年度 - H29年度 - H29年度 - H29年度 - H29年度 - R3年度 - R3年度	+R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定 ・実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 作成済み。適宜修正。 SNSを活用したマイタイムラインの周知 出前講座などの機会を活用し、マイタイムラインの作成を促進するよう	● 中小河川の浸水想定区域指い、ハザードマップ改定作業 △ ・実施に向けた取り組みを継 △ 実施に向けた取り組みを継 ● 作成済み。適宜修正。 SNSを活用したマイタイムラー 防災訓練や出前講座の実施 イタイムライン様式を配布 ・地区単位の出前講座にて実	定に伴 Ο Δ Δ (ンの) 時にマ • 施(ー •	・実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 作成済み。適宜修正。 作成済み。適宜修正。 防災教室、出前講座等で実施	Δ Δ	を策定する 想定最大規模降雨における洪水を 対象に、広域避難計画を反映した 洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、整備 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の中に水害も対象 として位置づけ、避難訓練等を支援 する	•H29年度 •H29年度 •H28年度	R7年度 -R7年度 -R7年度	・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・調を強った。 ・震ケ浦、恋瀬川に対応したタイム・インを策定済み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 Ф Д Д	・防災ハザードマップの配布を継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・西ケ浦、恋瀬川に対応したタイムラインを策定済み ・HPや広報紙にてマイ・タイムラインの作成の促進を実施	Δ Δ	・防災ハザードマップの配布を継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継 ・武が浦、恋瀬川に対応したタイムインを策定済み ・HPや広報紙にてマイ・タイムライの作成の促進を実施 ・出前講座等で作成講習を実施がみ ・出水期前に霞ヶ浦及び恋瀬川流域における浸水想定区域を有する
②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤妻配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ②ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ②避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ③ 『マイ・タイムライン』作成講習の実施	災害協定を結んでいる自治体への 受け入れを急頭に置きつつ、新たな 自治体との協定締結を検討する ・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難計画を反映した 洪水ハザードマップを策定する ・洗水浸水総地図の公表後、設置 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設の避難計画の 作成及び避難訓練の実施 ・作成済み ・マイ・タイムラインの作成の促進 ・マイ・タイムラインの作成の促進 ・水防訓練と併せて実施するよう検 討	- H29年度 - H29年度 - H29年度 - H29年度 - R3年度 - R3年度	+R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	中小河川の浸水想定区域が指定され次第、ハザードマップ改定予定 ・実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 作成済み。適宜修正。 SNSを活用したマイタイムラインの周知 出前講座などの機会を活用し、マイタイムラインの作成を促進するような取り組みの実施を検討	● 中小河川の浸水想定区域指い、ハザードマップ改定作業 △ ・実施に向けた取り組みを継 △ 実施に向けた取り組みを継 ◇ 実施に向けた取り組みを継 「大阪済み。適宜修正。 SNSを活用したマイタイムラー 防災訓練や出前講座の実施 イタイムライン様式を配布 地区単位の出前講座にて実 部地区) 出水期前に実施予定であった 煮天のため中止	定に伴 Ο Δ Δ (ンの) 時にマ • 施(ー •	ハザードマップを改定 ・実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 実施に向けた取り組みを継続 作成済み。適宜修正。 作成済み。適宜修正。 防災教室、出前講座等で実施 市水防訓練と同時開催。引続き、実	Δ Δ	を策定する 想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難計画を反映した 洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、整備 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の中に水害も対象 として位置づけ、避難訓練等を支援 する ・タイムラインの策定を行う ・マイ・タイムラインの作成の促進	•H29年度 •H29年度 •H28年度 •R3年度	R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	・防災ハザードマップを作成し、住民に配布した。 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・調練実施に向けた取り組みを継続 ・調を策定済み ・HPや広報紙にてマイ・タイムラインの作成の促進を実施 ・出前講座や総合防災訓練にて講習を実施した。	 Ф Д Д	・防災ハザードマップの配布を継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・設ヶ浦、恋瀬川に対応したタイムラインを策定済み ・HPや広報紙にてマイ・タイムラインの作成の促進を実施 ・出前講座等で作成講習を実施済み	Δ Δ	・防災ハザードマップの配布を継続 ・実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継続 ・訓練実施に向けた取り組みを継が ・調練実施に向けた取り組みを継が ・選ヶ浦、恋瀬川に対応したタイムインを策定済み ・HPや広報紙にてマイ・タイムライの作成の促進を実施 ・出前講座等で作成講習を実施済み ・出水期前に霞ヶ浦及び恋瀬川流 ・出水期前に霞ヶ浦及び恋瀬川流 ・出水期前に西ヶ浦及び恋瀬川流 ・出水期前に西ヶ浦及び恋瀬川流

水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	問い合わせ窓口を設置する	·H28年度	•R7年度	平時は防災危機管理課, 発災時は 市民班の所掌業務として災害総合 相談窓口の開設・運営に関すること を行う	平時は防災危機管理課, 発災時は 市民班の所掌業務として災害総合 相談窓口の開設・運営に関すること を行う	平時は防災危機管理課, 発災時は 市民班の所掌業務として災害総合 相談窓口の開設・運営に関すること を行う	・ケース(地域)ごとの問い合わせ窓口を明確にする	·H28年度	•R7年度	・平時は、問い合わせ内容に応じて 担当課で対応。災害時は、防災危 機管理課を窓口として対応。		・平時は、問い合わせ内容に応じて担当課で対応。災害時は、防災危機管理課を窓口として対応。	・平時は、問い合わせ内容に応 ● 担当課で対応。災害時は、防災機管理課を窓口として対応。
K防災に関する説明会の開催・広報の変施	・防災講演会等での実施を検討する	・H28年度	•R7年度	水防災に関する出前講座、講演会 を実施 ●	水防災に関する出前講座、講演会 を実施	水防災に関する出前講座、講演会を実施	・地域防災訓練にで実施する	•H28年度	•R7年度	・自治会や自主防災組織での訓練 時,出前講座等で講話を実施	•	・自治会や自主防災組織での訓練 時,出前講座等で講話を実施	● ・自治会や自主防災組織での割時、出前講座等で講話を実施
(員を対象とした講習会の実施	・例年、防災講演会への教員の参加要請を行っている	•H30年度	•R7年度	R5.2月に防災講演会実施。教員の 出席あり。	R6.2月に防災講演会実施。教員の 出席あり。	● R7.2月に防災講演会実施。教員の 出席あり。	・浸水想定区域にある小学校を対象に講習会を実施する。	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	△・実施に向けた取り組みを継続
学生を対象とした防災教育の実施	・小・中学校の防災訓練等に併せて、防災士等に協力を要請し、防災 に対する講習等の実施を推進する	•H28年度	R7年度	小学校単位の防災訓練を実施●	小学校単位の防災訓練を実施 ほか、小学生を対象とした出前講座 実施	・ 小学生を対象とした、防災教室を実施	・市内小中高校を対象に出前講座 により実施する	·H28年度	•R7年度	・市内の小学生に向けて防災教育 を実施	•	・市内の小学生に向けて防災教育を実施	● ・市内の小学生に向けて防災業 を実施
前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度	依頼に基づき6件実施 ●	依頼に基づき15件程度実施	● 依頼により19件実施(R7. 2月末時 点)	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	·R7年度	・自治会や自主防災組織での訓練 時, 出前講座等で講話を実施	•	・自治会や自主防災組織での訓練 時、出前講座等で講話を実施	・自治会や自主防災組織での1 時、出前講座等で講話を実施
ジュ型の洪水予報等の情報発信	・広報誌等でのブッシュ型の洪水予報等の情報入手手段の周知を検討		R7年度	・市報等により、情報取得手段につ いて適宜、周知。	・市報等により、情報取得手段について適宜、周知。	市報や防災教室等により、情報取得手段について適宜、周知。	・情報の入手方法について啓発して いく。	·H28年度	-R7年度	・訓練や出前講座, 防災研修会なと で啓発	ć o	・訓練や出前講座、防災研修会など で啓発	○ ・訓練や出前講座、防災研修会 で啓発
位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・ホームページで川の防災情報等を リンク先で提供する	・H28年度	•R7年度	市HPに川の防災情報リンク先設定	市HPに川の防災情報リンク先設定	● 市HPに川の防災情報リンク先設定 ●	・市公式サイトにて、川の防災情報 (水位及びライブカメラ映像)をリン クして、情報を提供している	・H28年度	R7年度	・市公式サイトにて、川の防災情報 や水位情報、ライブカメラ等で情報 提供を行っている。	•	・市公式サイトにて、川の防災情報 や水位情報、ライブカメラ等で情報 提供を行っている。	・市公式サイトにて、川の防災情◆水位情報、ライブカメラ等で情 提供を行っている。
可工作物管理者への防災教育の実施	・実施に向けて検討をする	・H28年度	•R7年度	・実施に向け内部検討中	・実施に向け内部検討中	O・実施に向け内部検討中 C	・情報収集を図り、実施に向けて検 討する	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取組を継続	△ ・実施に向けた取組を継続
主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組 果的な水防活動の実施及び水防体制の強化			<u> </u>										
防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・水防訓練に併せ伝達訓練を実施	•H28年度	•R7年度	・実施済み 消防団兼任のため、普段から継続 実施	・実施済み 消防団兼任のため、普段から継続 実施	・実施済み 消防団兼任のため、普段から継続 実施	・消防団が、水防団を兼務しており、伝達の確認や実施については、 日頃の訓練や火災現場等で行っている	•H28年度	•R7年度	・日頃の訓練や火災現場等にて実施	0	・日頃の訓練や火災現場等にて実施	○ ・日頃の訓練や火災現場等にで施
防団同士の連絡体制の確保	・各水防団への無線機器の配備計 画策定中	・H28年度	•R7年度	・デジタル無線機及びトランシー バーを配備済み	デジタル無線機及びトランシー バーを配備済み	・デジタル無線機及びトランシー バーを配備済み	・連絡体制を確保する	•H28年度	•R7年度	・消防団として連絡体制確保済み	•	・消防団として連絡体制確保済み	● ・消防団として連絡体制確保済
防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・河川事務所が実施している重要水 防個所等の共同点検への参加	•H28年度	•R7年度	新型コロナウイルスの影響により中 止	霞ヶ浦(西浦)中岸にて実施	• -	・河川事務所が実施している重要水 防個所等の共同点検への参加	・H28年度	•R7年度	・霞ヶ浦中岸で共同点検を実施	•	・霞ヶ浦中岸で共同点検を実施	● ·霞ヶ浦中岸で共同点検を実施
保機関が連携した実働水防削線の実施	・毎年、消防本部主導の水防訓練 を実施	•H28年度	•R7年度	消防本部主導の水防訓練を実施。 救助訓練に関しては前日の雨によ る河川増水に伴い中止。	消防本部主導の水防訓練を実施予 定であったが、台風2号の影響によ り訓練中止	× 消防本部主催の水防訓練を実施	・実施の必要性を精査し検討する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続
防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・市のイベント等や各分団において 募集活動の実施チラシの配布のぼ り旗の作成	·H28年度	•R7年度	・市報等での募集の実施を検討	・市報等での募集の実施を検討	O 市報等での募集の実施を検討 C	-実施の必要性を精査し検討する	·H29年度	•R7年度	・消防団員が水防活動を兼務しており、消防団員の募集については広 報誌、団員による声かけやホーム ページ等で募集している。	0	・消防団員が水防活動を兼務しており、消防団員の募集については広報誌、団員による声かけやホームページ等で募集している。	・消防団員が水防活動を兼務しり、消防団員の募集については 報誌、団員による声かけやホーページ等で募集している。
也域の建設業者による水防支援体制の検討·構築	・建設業協会との災害協定締結済み	H29年度	•R7年度	茨城県建設業協会土浦支部土浦 分会と災害協定締結済み	茨城県建設業協会土浦支部土浦 分会と災害協定締結済み		・実施の必要性を精査し検討する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続
り水被害危険箇所の把握及び情報共有	・作成済みの内水ハザードマップを 共有	・H28年度	R7年度	内水ハザードマップ作成済み	内水ハザードマップ作成済み	● 内水ハザードマップ作成済み ●	・消防, 消防団, 警察等と共同で, 内水等の危険個所マップを作成し 共有する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続
重要水肪箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	各関係機関との水防箇所の点検を 実施	各関係機関との水防箇所の点検を 実施	● 各関係機関との水防箇所の点検を 実施	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	・重要水防箇所の点検を実施	•	・重要水防箇所の点検を実施	● ・重要水防箇所の点検を実施
K防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団貝の募集、目王防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度	水防団員確保のための広報を継続 実施	水防団員確保のための広報を継続 実施	↑ 水防団員確保のための広報を継続 実施	・水防団貝の募集、目王防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度	・	0	・	・消防団員が水防沽動を兼務し り、消防団員の募集については 報誌、団員による声かけやホー ページ等で募集している。
K防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	水防訓練を実施●	消防本部主導の水防訓練を実施予 定であったが、台風2号の影響によ り訓練中止	× R6.5に実施済	-実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	△・実施に向けた取り組みを継続
k防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	実施に向けた取り組みを継続	実施に向けた取り組みを継続	O 実施に向けた取り組みを継続 C	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続
D主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組 計画(案)の作成及び排水訓練の実施		1	1	<u> </u>					1				
ま水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・排水ポンプの設置個所の選定まで行った排水計画(案)の作成	・H28年度	•R7年度	・計画策定を検討中 O	・計画策定を検討中	O ・計画策定を検討中 C	・検討する	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続
‡水訓練の実施	水防訓練との同時実施を検討	•H29年度	•R7年度	·計画策定を検討中 O	・計画策定を検討中	〇 ·計画策定を検討中 C	・検討する	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ ・実施に向けた取り組みを継続
内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・排水ポンプ等の設置箇所の選定 まで行った排水計画(案)の作成	•H29年度	•R7年度	·計画策定を検討中 〇	・計画策定を検討中	○ ·計画策定を検討中 C	検討する	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	△ 実施に向けた取り組みを継続
非水設備の耐水化							・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	+ -	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続

** **					龍ケ崎市	i								鹿嶋市				
項目項	内容	実施内容	実) 着手	施期間 完了	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績 ****	状况	実施内容	実施期	間 完了	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	R6年	度実績
	対策の主な取組		/a J	1 76 1								/ <u> </u>]	76 3					
(1)	武水を河川内で安全に流す対策 ①優先的に実施する堤防整備																	
										+								
H	②優先的に実施する波浪対策																	
(-)	③危機管理型ハード対策																	
(2) £	避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 ①雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備																	
	○四里 小はすり利用 / アスケルハックれんと12座 は起するための参画の主題	・アナログからナンタルに切り替え予定	4							- B	防災行政無線はデジタル化へ改良済み			身体障害者手帳の交付を受けている		身体障害者手帳の交付を受けている		父付を受けている
	②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	(R2年度より実施・設計、R3~R4年度 工事(この期間は工事期間の為、アナ ログ無線とデジタル無線を同時並行で 稼動))。 ・防災ラジオについては防災無線のデ ジタル化の後に検討を行う	•R2年度	•R7年度	・R3年度に防災行政無線のデジタル化整備工事が終了した。	•	・R3年度に防災行政無線のデジタル化整備工事が終了した。	•	・防災行政無線テレフォンサービス の周知のため、市民にマグネット カード配布。	障の線	身体障害者手帳の交付を受けている聴覚 まがい者又は視覚障がい者の属する世帯	28年度 F	7年度	対体障音句子被の文物を受けている 事態覚障がい者又は視覚節がい者の属 する世帯の代表者に対し、引き続き音 声放送や防災行政無線の内容を見る ことができる、ディスプレイ機能がある 戸別受信機を無償で貸出を実施	0	対体呼音相子機の文化を変している 聴覚障がい者又は視覚障がいるの属 する世帯の代表者に対し、引き続き音 声放送や防災行政無線の内容を見る ことができる、ディスプレイ機能がある 戸別受信機を無償で貸出を実施	する世帯の代表者() 声放送や防災行政	スプレイ機能があるで貸出を実施し、2
ı	③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・稲敷広域消防本部と連携しながら 水防資機材等の配備を検討する	・H28年度	•R7年度	令和3年度にドローンを保有する会社と災害協定を結び、災害時に活用できる体制を整備した。	0	牛久沼(谷田川)の越水を踏まえ、 止水板34枚及び水のう6本の購入 について、内部提案を経て、令和6 年度の当初予算へ要求を行った。	0	・止水板34枚と水のう6本の購入。 ・水のう展開訓練の実施。 ・R7年度にドローン機器一式購入の ための予算要求。		水防団(消防団員)の安全を確保 「るための資機材の充実を図った	28年度 F	7年度	・水防団(消防団員)の安全を確保 するため、資機材等の充実を図る		・水防団(消防団員)の安全を確保 するため、資機材等の充実を図る	● ・水防団(消防団) するため、資機材	員)の安全を確保 対等の充実を図る
	④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・小貝川に簡易水位計設置を国土 交通省に要望している。 ・県管理河川に危機管理型水位計 設置を茨城県に要望する。	•H30年度 •H30年度	•R3年度	・国及び県が設置している既存の設備を活用出来るため、新たな設置は今のところ考えていない。	•	・国及び県が設置している既存の設備を活用出来るため、新たな設置は今のところ考えていない。	•	・国及び県が設置している既存の設備を活用出来るため、新たな設置は今のところ考えていない。	備	国及び県が設置している既存の設 情を活用出来るため、新たな設置 よ今のところ考えていない	28年度 -	R7年度		×		× 新たに25台の無	線機を整備
	⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・新庁舎における耐水対策として、 自家発電装置のかさ上げを実施	•H28年度	•H28年度	・H28.6.30に耐水対策として自家発電装置のかさ上げを行った本庁舎 附属棟を新設した。		・H28.6.30に耐水対策として自家発電装置のかさ上げを行った本庁舎 附属棟を新設した。	•	・国及び県が設置している既存の設備を活用出来るため、新たな設置は今のところ考えていない。	・「象	庁舎が浸水想定区域外であり対 ななし							
1	⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・排水ポンプの保守点検の実施、水中ポンプの準備 ・常総市八間堀川の内水氾濫(平成29年10 月台風1号)を教訓に既存のタイムライン の追加改訂検討中 ・佐賞駅周辺に内水氾濫防止用の貯留槽 の整備中		·R7年度	・排水ポンプの保守点検の実施	•	・排水ポンプの保守点検の実施	•	・排水ポンプの保守点検の実施	車ン消	内水被害が予想される地区へ、廃 正した消防車両のポンプを排水ポ プとして準備する。(H28年度) 消防団が内水被害個所の対応を実 にている	28年度 F	7年度	消防団による内水被害個所の点 検・パトロール等の実施		消防団による内水被害個所の点 検・パトロール等の実施	● 消防団による内水検・パトロール等の	
	⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施									- 1	重要施設の雨水排水整備の実施・日	3年度	R7年度		×		×	
	⑧河川防災ステーションの整備																	
ı	⑨庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の災害対策用備品や機 器の増強等	•R3年度	•R3年度	MCA無線更新の方針を検討。	0	旧学校給食センターを防災備蓄倉庫として改修する事業計画を提案し、令和6年度の当初予算へ要求を行った。	0	旧学校給食センターの防災備蓄倉 庫への改修工事が完了し、防災備 蓄品の搬入を完了させた。	· l	防災拠点の停電対策、災害対策 ・F 可通信機器の増強等	3年度 -	R7年度		×		×	
					龍ケ崎市	i								鹿嶋市				
項 事	内容	実施内容	実	施期間	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績 実施状	状況	実施内容	実施其 着手	間	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	R6年	度実績
2. ソフト対	策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組		相于	九月	J.	1						眉 于	元」					L
(1)瓜	L域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																	
	①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																	
	②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表																	
-	③広域避難計画の策定	・現在、小貝川・利根川洪水避難計画を策定中 ・鬼怒川・小貝川流域減災対策協議会の中で広域避難計画(案)を策	•H28年度 •H28年度	•R3年度	・R2年度に小貝川・利根川洪水避難計画と広域避難計画を策定済み。	•	・R2年度に小貝川・利根川洪水避 難計画と広域避難計画を策定済 み。	•	・R2年度に小貝川・利根川洪水避 難計画と広域避難計画を策定済 み。	·†	協議会の中で広域避難計画(案) ・対策定する	29年度 -	R7年度	実施に向けた取組みを継続	Δ	実施に向けた取組みを継続	△ 実施に向けた取糸	組みを継続
1	④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・関東地整において、大規模氾濫想 定区域見直し後、洪水ハザードマッ ブを策定		•R3年度	・市広報紙に、市が発行している防災の手引き(ハザードマップ)について掲載し、周知した。	•	・市広報紙に、市が発行している防災の手引き(ハザードマップ)について掲載し、周知した。	•	- 茨城県管理河川の洪水浸水想定 区域図を市公式HPで公開 - R7年度に県管理河川ハザードマッ ブ作成の予算要求。) を	想定最大規模降雨における洪水 ・対象に、広域避難計画を反映した・H ・サイン・サードマップの見直しをする	29年度 -	R7年度	・公民館、図書館、庁舎等、公共施設への配架し、市内全域を対象に配布した。		・公民館、図書館、庁舎等、公共施設への配架し、市内全域を対象に配布した。	・公民館、図書館 砂への配架し、市 配布した。	、庁舎等、公共施 万内全域を対象に
	⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	・地区防災計画策定に向け取り組み中 ・大規模氾濫区域見直し後、新潟県三 条市等のハザードマップを参考に拡充 予定		•R7年度	・市内の4地区(松葉地区、長山地区、馴柴地区、久保台地区)で地区防災計画の策定に向けて取組を行った。	0	・市内の2地区(松葉地区、長山地区)で地区防災計画の策定に向けて取組を行った。	0	・市内の1地区(松葉地区)で地区 防災計画の策定に向けて取組を 行った。 ・R7年度に電柱等への想定浸水深 表示版設置の予算要求) ;	洪水浸水総地図の公表後、整備 に向けた検討を行う	28年度 •	R7年度	今後県のモデル事業を取り入れ、 整備・拡充に努める。		今後県のモデル事業を取り入れ、 整備・拡充に努める。	〇 今後県のモデル 整備・拡充に努め	
ı	⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	·要配慮者施設において策定している避難計画の対象災害の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援・水防法改正を基に、介護施設、保育園、病院等に要配慮者支援施設避難計画作成を依頼。	-H28年度	·R7年度	・避難訓練の促進の取り組みを検討	0	・避難訓練の促進の取り組みを検 計	0	・避難訓練促進の取り組みを検討 〇	2	要配慮者利用施設において策定している避難計画の中に水害も対象・H にて位置づけ、避難訓練等を支援・F る	29年度 -	₹7年度	土砂災害、洪水ハザード内に位置 する要配慮者利用施設の避難確保 計画の作成完了	•	土砂災害、洪水ハザード内に位置 する要配慮者利用施設の避難確保 計画の作成完了	土砂災害, 洪水/ する要配盧者利月 計画の作成完了	用施設の避難確保
	⑦ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用																	
(2)退	壁難指示の発令に着目したタイムラインの作成																	
ı	①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・避難に着目した小貝川・利根川洪 水タイムラインを策定し、随時見直 しを図る。	•H28年度	•R3年度	・R3年度に災害対策基本法の一部 改正により、避難指示に一本化され たことを受け、タイムラインの見直し を行った。 ・H30年度にタイムラインの見直しを 行い、竜ケ崎工事事務所の枠を加 ラナ	•		×	×	等今	水害対応チェックリストにより避難 等の判断基準は作成済み。 合後、タイムラインについても策定 行なう	29年度 •	₹7年度	・洪水タイムライン(防災行動計画) 作成。 ・改正した地域防災計画を適宜修 正。		・洪水タイムライン(防災行動計画) 作成。 ・改正した地域防災計画を適宜修 正。	● ・洪水タイムライン 作成。 ・改正した地域防 正。	
	②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R3年度	・地域住民に対して馴柴コミュニティセンターにてマイ・タイムライン作成 講座を実施した。	•	・地域住民に対してマイ・タイムライン作成講座を実施した。	•	・市内防災士による、マイタイムライン作成講座を実施。		マイ・タイムラインの作成の促進・F	3年度 ・	R7年度	・鹿嶋市防災訓練にてマイ・タイムラインの作成方法の紹介 ・マイタイムラインに関するチラシを 行政委員配布実施	0	・鹿嶋市防災訓練にてマイ・タイムラインの作成方法の紹介・マイ・タイムラインに関するチラシを行政委員配布実施	○ ・鹿嶋市防災訓練インの作成方法の・マイ・タイムラインを行政委員配布写	ンに関するチラシ
	③「マイ・タイムライン」作成講習の実施				・地域住民に対して馴柴コミュニティセンターにてマイ・タイムライン作成 講座を実施した。	•	・地域住民に対してマイ・タイムライン作成講座を実施した。	•	・市内防災士による、マイタイムライン作成講座を実施。	_ [出前講座にて実施	0	出前講座にて実施	〇 出前講座にて実施	施
	④タイムラインに基づく実践的な訓練	・タイムラインに基づいた水防訓練 を6月5日に実施。7月5日に検討 会を実施。H28年度中に整理をし ていく ・H28年度に策定した小貝川・利根 川洪水避難計画の検証を行う。	•H28.6 •H30.2	·R3年度	R5年度に水害を想定した訓練の 実施案検討 ・小貝川・利根川洪水避難計画に基づいた図上型訓練を実施。(H30.2) ・大宮地区にて水害を想定した避難訓練を実施した。(警戒レベル4発表を想定)(R1.6) ・松葉地区にて水害発生時の避難 所にて阪学症を想定した影難難所設	•	践的な訓練を実施。(土嚢作成訓練・積み土のう訓練・水のう展張訓	•	- 小貝川市民運動公園にて龍ケ崎 市消防団(水防団)による水防訓練 を実施(R6.6月)。 - 浸水想定区域住民対象「洪水から の避難訓練」実施(R6.7)。	- 1	地区防災訓練にあわせ実施する・H	28年度 -	₹7年度	鹿嶋市防災訓練と合わせて実施	0	鹿嶋市防災訓練と合わせて実施	〇 鹿嶋市防災訓練	と合わせて実施
		i .	•		IPTICT 感染症を想定した避難所設	1											1	
	⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実																	
	(5)気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報線の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実 化・等の改善 (※)米・時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)																	

災教育や防災知識の普及				・水災害等に関する問い合わせ窓 口を設置している。(平時には市危	口を	災害等に関する問い合わせ窓 設置している。(平時には市危		水災害に関する問い合わせ窓口を 設置している。(平時には防災安全				主な行政窓口として、交通防災課、		Eな行政窓口として、交通防災課、	■ 主な行政窓口として、交通防災
D水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	·H28年度	•R3年度	機管理課で対応し、災害対応時には相談窓口班による対応としている)	は相 る)	理課で対応し、災害対応時に 談窓口班による対応としてい		設直している。(平時には防災安主 課で対応し、災害対応時には相談 窓口班による対応としている)	•	・問合せ窓口を設置している。 ・H28年度	•R7年度	道路建設課、施設管理課で対応。		首路建設課、施設管理課で対応。	● 道路建設課、施設管理課で対応
む水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・9/1~9/8下館河川事務所(鬼怒川・小月川下流域大規模氾濫に関する減災対策協議会と連携し常総市水害に関するバネルを展示予定・浸水想定域対象地区にてマイ・タイムライン作成講座を実施し、住民の自助意識を啓発する。	•H29.9 •H29年度	·R7年度	・	•		×		×	・実施に向けて検討する ・H28年度	•R7年度	・マイ・タイムラインの作成や地域の 危険箇所の再確認を行った。 ・地域からの要望を受けて、出前講 座の中で防災全般についての説明 を実施し、その中で水災害の内容を 取り入れる。	危 ・・・ 座 を	マイ・タイムラインの作成や地域の 危険箇所の再確認を行った。 地域からの要望を受けて、出前講 をの中で防災全般についての説明 実施し、その中で水災害の内容を なり入れる。	 ・マイ・タイムラインの作成や地 危険箇所の再確認を行った。 ・地域からの要望を受けて、出 を実施し、その中で水災害の内 取り入れる。
教員を対象とした講習会の実施	・。学校担当課と調整し、小中学生への 講習会を教員も含め検討・実施する。	•H28年度	•R3年度	機 8/200-8/271 ションピングサンター ・令和3年度に利根川下流河川事務所 と連携し、龍ケ崎西小学校で総合の時間に水害に対する防災授業を実施し た。	•		×		×	・浸水想定区域にある小学校を対 象に講習会を実施する ・H29年度	•R7年度	小学校からの要望によるものを中 心に、説明会を実施し、その中で水 災害の説明を行った		ハ学校からの要望によるものを中 いた、説明会を実施し、その中で水 後害の説明を行った	小学校からの要望によるものを △ 心に、説明会を実施し、その中 災害の説明を行った
)小学生を対象とした防災教育の実施	・平成28年6月5日市内合同防災訓練 において、水戸気象台の支援を受け て、防災教育を実施 ・市防災気象アドバイザー(委託)が市 内小中学生に向けて水防災教育を実 施	•H28年度 •H28年度	·R3年度	・市内小学校にて地域住民と共に合同防災訓練を実施した。令和3年度に利機川下流河川事務所と連携し、龍ケ崎西小学校で総合の時間に水害に対する防災授業を実施した。・大宮地区の小学生を対象にマイ・タイムライン作成講座を実施した。(R1.6)			×	洪水ハザード内の地区にある小学校で、地域住民を交えての防災訓練を実施(大宮小学校等)。〇×ケイズでは、水害に関する問題を多く出題し、楽しみながら学習できる機会を設けた。	0	・浸水想定区域にある小学校を対 象に実施する ・H28年度	•R7年度	浸水想定区域にある小学校を対象 に、洪水等に関する防災教室を実施		浸水想定区域にある小学校を対象 こ、洪水等に関する防災教室を実 極	浸水想定区域にある小学校を 〇 に、洪水等に関する防災教室を 施
出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度	・地域からの要望によるものを中心に、出前講座の中で防災全般についての説明会を実施し、その中で水災害の説明を行った。	に、!いて	域からの要望によるものを中心 出前講座の中で防災全般につ の説明会を実施し、その中で水 にの説明を行った。	•	・地域からの要望によるものを中心に、出前講座の中で防災全般についての説明会を実施し、その中で水災害の説明を行った。	•	・出前講座等を活用した講習会の 実施	•R7年度	波野地区まちづくり委員会(8/28) 中野西小学校(11/15) 鉢形地区を考える会(11/25) 豊郷小学校(12/15)	● ^高	是津地区(5/14) 高松地区(5/21) 中野西小学校(10/19) はまなす公民館(2/17)	豊津地区(5/12,9/7) 高松地区(5/19) 大野地区(7/20) 中野西地区(9/29) 大同西小学校(11/29) 中野東小学校(12/8) 中野西小学校(12/9)
ジプッシュ型の洪水予報等の情報発信	・広報車、防災行政無線、メール配信、エリアメールによって発信・音声一斉配信サービスを導入	•H28年度 •H29年度	•R3年度	・広報車、防災行政無線、メール配信、 エリアメールによって発信。 ・ル貝川・利根川にてブッシュ型メール 配信サービスを実施した。 ・音声一斉配信サービスを導入し、土 砂災害警戒に収域住民に電話で土砂災 害警戒情報を発表した。(H29.6~) ・防災アプリの導入 (R2.8)	● め、i LINE	砂災害の被害が予想されるた 防災行政無線、メール配信、 、防災アプリ、エリアメールに て避難所情報の発信等を行っ	•	・台風の被害が予想されるため、防 災行政無線、メール配信、LINE、防 災アプリ、エリアメールによって避難 所情報の発信等を行った。		・広報車、防災行政無線、メール配 信、ツイッター、フェイスブック等に よって配信。	•R7年度	・避難指示発令の際に 一人暮らし の高齢者へ直接避難を促す電話連 絡及び連絡が付かない家への訪問 を実施する。 ・広報車、防災行政無線、メール配 信、ソイッター、フェイスブック等に よって配信。	● の終を・・・ 信	避難指示発令の際に、一人暮らし D高齢者へ直接避難を促す電話連 各及び連絡が付かない家への訪問 実施する。 広報車、防災行政無線、メール配 言、X(旧ツイッター)、フェイスブック 野によって配信。	・避難指示勢令の際に、一人身の高齢者へ直接避難を促す電絡及び連絡が付かない家へのを実施する。 ・広報車、防災行政無線、メー信、X、フェイスブック等によって信。
冰位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・市公式サイトにて、川の防災情報 のリンクを付し、情報を提供している	・H28年度	·R3年度	 市公式サイトにて、川の防災情報のリンクを付し、情報提供を行った(R2年度) 		ミアプリで水位計やライブカメラ 等の情報提供を継続。		防災アプリで水位計やライブカメラ 映像等の情報提供を継続。	•	・市公式サイトにて、川の防災情報 (水位及びライブカメラ映像)をリン・H28年度 クして、情報を提供している	•R7年度	市公式サイトにて、川の防災情報	· 市	方公式サイトにて、川の防災情報 水位及びライブカメラ映像)をリンフし、随時情報提供を行う。	市公式サイトにて、川の防災作 ● (水位及びライブカメラ映像)を クレ、随時情報提供を行う。
許可工作物管理者への防災教育の実施	・霞ヶ浦では該当なし	•H28年度	•R3年度	・霞ヶ浦では該当なし	■ · 霞	ヶ浦では該当なし	•	・霞ヶ浦では該当なし	-	・国で行なう履行検査に合わせて実 施する。	•R7年度	許可工作物管理者への防災教育 の取組みについて、関係機関と協	か の の	キ可工作物管理者への防災教育 D取組みについて、関係機関と協	許可工作物管理者への防災す の取組みについて、関係機関
の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組 効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化												議を行った。	諸	養を行った。	議を行った。
水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・消防団が、水防団を兼務しており、伝達の確認や実施については、 日頃の訓練や火災現場等で行って	•H28年度	•R3年度	・消防団が、水防団を兼務しており、伝達の確認や実施については、 日頃の訓練や火災現場等で行って	<u> </u>	防団が、水防団を兼務してお 云達の確認や実施については、 値の訓練や火災現場等で行って	•	・消防団が、水防団を兼務しており、伝達の確認や実施については、 日頃の訓練や火災現場等で行って	•	・消防団が、水防団を兼務しており、伝達の確認や実施については、 日頃の訓練や火災現場等で行って いる	•R7年度	連絡体制の再確認を実施	O 連	重絡体制の再確認を実施	〇 連絡体制の再確認を実施
水防団同士の連絡体制の確保	・連絡体制を確保する	・H28年度	·R3年度	・各行動部長に携帯型無線機を配備した(R2年度)	● Af	行動部長に携帯型無線機を配 た(R2年度)	•	消防団は水防団を兼務しており、日 頃の訓練や出動事案の際に伝達確 認を実施している。	0	・連絡体制について確保する ・H28年度	•R7年度	各消防団に携帯型無線機を配布していることから随時対応。		各消防団に携帯型無線機を配布し こいることから随時対応。	● 各消防団に携帯型無線機を配 ていることから随時対応。
水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・毎年、河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加し	•H28年度	•R7年度	・例年, 河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加。		期前に河川重要箇所の共同点関係機関と実施(小貝川)。	•	出水期前に河川重要箇所の共同点 検を関係機関と実施(小貝川)。	•	・河川事務所が実施する重要水防 個所等の共同点検に参加する ・H28年度	•R7年度	北浦共同点検の実施。	• ^{‡l}	比浦共同点検の実施。	● 北浦共同点検の中止により未
)関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・各関係機関が連携し、タイムライン(小貝川・利根川対応)に基づいた避難行動実働型の水害対応訓練を実施した・ ・H28年度に策定した・小貝川・利根川洪水避難計画の検証を行う。・ ・国土交通省と連携してマイ・タイムライン検証訓練を行う	•H28. 6 •H30.2 •H30年度	·R3年度	・小貝川・利根川洪水避難計画に基 づいた図上型訓練を実施。(H30.2) ・要配慮者利用施設に指定している 介護福社施設と連携して避難訓練 を実施した。(R1.6)	原所 防な践的	主催の総合防災訓練として、川 地区住民を対象に高台の避難 実際に避難させ、消防署、消 1、警察署、ライフライン事業者 の防災関係機関と連携した実 な訓練を実施。(土嚢作成訓 積み土のう訓練・水のう展張訓	•	各関係機関と連携し、タイムライン に基づいた「洪水からの避難訓練」 を実施。		・現在、消防団員が水防活動を兼 務しており、消防団員の募集については広報誌、団員による声かけや 広報誌、ホームページ、コミニティー FM等で募集していく。	•R7年度	実働水防訓練については、新型コロナウイルス感染症の影響から中止。		実働水防訓練については、新型コ ナウイルス感染症の影響から中 上。	× 訓練方法等の内部検討
が防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・水防団入団の募集広報を実施	•H28年度	•R7年度		入促 広報 て行	防団を兼務する消防団員の加 登進を促すための募集広報を市 設誌やホームページ掲載におい った。	•	水防団を兼務する消防団員の加入 促進のための募集広報として、新し いチラシを作成・配布を行った。		・現在、消防団員が水防活動を兼 務しており、消防団員の募集につい ては広報誌、団員による声かけや コミニティーFMを利用した募集活動 を実施済み	•R7年度	・消防団員の募集に合わせて、広 報紙、団員による声かけやコミュニ ティを活用した募集活動を実施。	〇 報	消防団員の募集に合わせて, 広 最紙, 団員による声かけやコミュニ マを活用した募集活動を実施。	・消防団員の募集に合わせて ・消防団員の募集に合わせて ・報紙、団員による声かけやコミ ティを活用した募集活動を実施
地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・実施を検討する	•H28年度	•R3年度	・市建築業組合との間で、風水害等 の応急対策を含む災害協定を結ん でいる ・市建設業組合に小貝川・利根川洪	市内	B建設業組合との間で、災害協 結んでいる。	•	市内建設業組合との間で、災害協 定を結んでいる。	•	・体制について構築済み ・H28年度	•R7年度	引き続き維持する	• 3	出き続き維持する	● 引き続き維持する
内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・担当課により点検を実施する	・H28年度	•R7年度	・担当課により点検や側溝等の改修を行っており、また災害時や平時に関わらず、必要な際には危険箇所の共有を行う	修等	当課による点検や道路・側溝の改 の排水整備を行っている。危険箇 ついては、随時情報共有してい	0	・担当課による点検や道路・側溝の改修等の排水整備を行っている。危険箇所については、随時情報共有している。	0	・区長、消防署員や水防団(消防団 員)と情報共有、点検を実施済 ・H28年度	•R7年度	市役所窓口で内水氾濫ハザード マップの配布するとともに、ホーム ページで随時掲載する。	マ	市役所窓口で内水氾濫ハザード マップの配布するとともに、ホーム ページで随時掲載する。	● 市役所窓口で内水氾濫ハザーマップの配布するとともに、ホページで随時掲載する。
重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	・水防資機材(土のう袋)の適切な 管理を行っている。	止水につ	、沼(谷田川)の越水を踏まえ、 が成34枚及び水のう6本の購入 いて、内部提案を経て、令和6 で当初予算へ要求を行った。	0	・止水板34枚、水のう6本を購入・配備。8月には市職員・消防団員・消防署職員が参加して水のう展開訓練を実施。		・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R7年度		×		×
が水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団貝の募集、目王防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	·R3年度	・水防団員募集チラシを作成、全戸配布を実施(R2.11)	進を やホ	が団を兼務する消防団員の加入促促すための募集広報を市広報誌 一ムページ掲載において行った。	•	水防団を兼務する消防団員の加入 促進のための募集広報として、新し いチラシを作成・配布を行った。	•	・水防団貝の募集、目王防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施・R3年度	•R7年度	・消防団と兼ねていることから消防 団の加入促進を行っている。		消防団と兼ねていることから消防 団の加入促進を行っている。	・消防団と兼ねていることから 団の加入促進を行っている。
か水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	R3年度	•R7年度	市単独の水防訓練を実施した。	原代へ団ど的 践的	王惟の総合防災訓練として、川 地区住民を対象に高台の避難 実際に避難させ、消防署、消 1、警察署、ライフライン事業者 の防災関係機関と連携した実 な訓練を実施。(土養作成訓 積み土のう訓練・水のう展張訓	•	6月に龍ケ崎市消防団水防訓練を実施。稲敷広域消防本部の水防指導員のもと、消防団員141名が参加。土のうを作成し、水防工法4種類の訓練等を行った。	•	・実践的な水防訓練の検討、実施 -R3年度	•R7年度		×		×
〕水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実 施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	・定期的に水防に関する会議等に 出席し、広域的な情報共有を実施し た。		期的に水防に関する会議等に に、広域的な情報共有を実施し	•	・定期的に水防に関する会議等に 出席し、広域的な情報共有を実施した。 ・洪水情報伝達訓練に参加してい	•	・広域的、効率的な水防活動の実 施に向けた関係者との連携、協力	•R7年度		×		×
仮の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組 水計画(楽)の作成及び排水訓練の実施		<u> </u>			<u> </u>			IZ.							
)排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・排水ポンプの設置個所の選定まで行った排水計画(案)の作成	・H28年度	•R7年度	・大規模水害を想定した市のハザードマップを基に、令和3年度に耐水 化計画を策定した【下水道課】 ・排水ポンプの更新を計画的に実	ドマ: ・排z	規模水害を想定した市のハザー ップを基に、令和3年度に耐水 ・画を策定した【下水道課】 水ボンブの更新を計画的に実	•	・大規模水害を想定した市のハザードマップを基に、令和3年度に耐水化計画を策定した【下水道課】 ・排水ポンプの更新を計画的に実	•	・計画策定に向け関係機関と協議 中	•R7年度	排水機場の運転に関する協定を見直 し、平成29年5月に変更協定を締結し た。		非水機場の運転に関する協定を見直 、平成29年6月に変更協定を締結し こ。	排水機場の運転に関する協定を し、平成29年6月に変更協定を た。
)排水訓練の実施	・毎年、水防訓練と同様に各自治体 持ち回りで実施する	•H28年度	•R7年度	施している 排水訓練については各排水施設管 理者等が各々で操作確認等をして いる	排水	ている 訓練については各排水施設管 等が各々で操作確認等をして	0	施している 排水訓練については各排水施設管 理者等が各々で操作確認等をして いる。	0	・防災訓練と合同で実施している ・H28年度	•R7年度		×		×
の内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	-				1, 10					・計画策定に向け関係機関と協議 中	•R7年度	・計画策定に向け土地改良事務所などの関係機関から意見や要望の間き取りを行った。 ・関係機関において現場確認を実	な 聞	よどの関係機関から意見や要望の 引き取りを行った。	・計画策定に向け土地改良事などの関係機関から意見や要聞き取りを行った。・関係機関において現場確認
排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度	・令和3年度に、耐水化計画の策定	. 4	和3年度に、耐水化計画の策定		・令和3年度に、耐水化計画の策定		・排水設備の耐水化 ・R3年度	•R7年度	E PER MAINT - SOU COLON MEDICE X	-	- Constitution	1000円には100円である。 このもつの 日生日の

た 「大衆			L- 44000	潮来市							祖敷	市			
中 項	実施内容	<u>実</u> 着手	施期間 完了	R4年度実績	R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施内容	<u>実</u> 所 着手	班期間 完了	R4年度実績	実施状态	® R5年度実績	実施状况 R	86年度実績
ード対策の主な取組 1)洪水を河川内で安全に流す対策															
①優先的に実施する堤防整備															
②優先的に実施する波浪対策															
③危機管理型ハード対策															
2) 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備															
①雨量·水位等の観測データ及び淡水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備															
②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・防災無線の整備・改良を行う	•H28年度	R7年度	市内完全デジタル化の整備済 (戸別受信機が半導体不足に伴い 納品できない状況のため、引き続き 受信機整備を進める	市内完全デジタル化の整備済 ● 戸別受信機を難聴地域に設置中 (約20台)	•		・防災無線デジタル化に伴う実施!計・防災無線(デジタル化)	設 ◆H27年度	R7年度	・稲敷公式アプリを導入し、防災 政無線戸別受信機からの移行を 指す。	行 ē目 ●	・稲敷市公式アプリの機能拡張。 ・IP戸別受信端末の導入調整。	● ·稲敷市公式 ○ ·IP戸別受信	式アプリの機能拡張。 言端末の導入。
③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・水防団員の安全を確保するため の資機材の充実を図る	・H29年度	•R7年度	市内11ヶ所に土のうステーションの 整備、耐候性土のうの推進	○ 市内11ヶ所に土のうステーション 整備、耐候性土のうの推進	o 0		・水防団員の安全を確保するため の資機材の充実を図る	-H30年度	•R7年度		0		0	
④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・水位計や量水標、カメラの設置	·H29年度	•R7年度	・POTEKA、ウェザーニュース等の導入検討を実施	·POTEKA、ウェサ [・] ーニュース等の導 <i>入</i> 計中	入検		-POTEKAの設置	•H28年度	R7年度		•		•	
⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・庁舎が浸水想定区域外であり対 象なし							・自家発電装置の耐水化を図る ・庁舎が浸水想定区域外であり対 象なし	·H29年度	•R7年度		•		•	
⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・水中ポンプの準備	•H28年度	•R7年度	建設業組合との応援協定	・建設業組合との応援協定において、6/2の大雨時、市内1箇所に 水ボンプの設置を実施			・重要危険個所については共同点 検等を計画予定 ・水防訓練等で水防工法実施	i ·H28年度	R7年度		0		0	
⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施	・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度	管財サイドとの排水設備を確認	○ 施設管理担当との排水設備を確	認の		・重要施設の雨水排水整備の実施	拒 •R3年度	•R7年度		Δ		Δ	
8河川防災ステーションの整備	The state of the s	1	1	A STATE OF THE STA	THE TANK AND THE CHE										
⑤庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度		0	0		・防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	·R3年度	•R7年度		Δ		Δ	
-	<u> </u>			潮来市							稲敷	市			
事 項	実施内容	実施	施期間	R4年度実績	_{実施状況} R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況 実施内容	実施 美子	三 ラフ	R4年度実績	実施状态	R5年度実績	実施状况 R	6年度実績
		<i>7</i> 8 J													
7ト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組				•	•				1 相于	1 761	_				
1)広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等															
1)広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表									A T						
1)広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・協議会の中で広域避難計画(案) を策定する	•H28年度	•R7年度	・平成29年2月に神栖、稲敷、香取、潮来の4市による「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難所(計7ヶ所)の設定、初動マニュアルの作成実施	平成29年2月に神栖、稲敷、香 潮来の4市による「大規模水害时 おける広域避難の連携に関する 定」を締結し広域避難所(計7ヶ戸 の設定、初動マニュアルの作成3 施	寺に b協 昕)		・協議会の中で広域避難計画(案 を策定する) ·H28年度	R7年度		Δ		Δ	
1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ① 想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ② 想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表	・協議会の中で広域避難計画(案) を策定する ・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難を反映した洪水 ハザードマップを策定する	·1120+12	•R7年度	取、潮来の4市による「大規模水害 時における広域避難の連携に関す る協定」を締結し広域避難所(計7か 所)の設定、初動マニュアルの作成 実施 広域避難を考慮したハザードマップ を含む「潮末市総合防災マップデジ タル版」を作成。令和4年3月ホーム	潮来の4市による「大規模水害時 おける広域避難の連携に関する 定」を締結し広域避難所(計7ヶ月	寺に 協 (協 所) 実 ジ デ ジ ム 34 保		・協議会の中で広域避難計画(案を策定する ・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪ハザードマップを策定する	1120+19	R7年度		Δ		Δ	
1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定	を策定する ・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難を反映した洪水	K ·H29年度		取、潮来の4市による「大規模水害 時における広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難所(計7ヶ所)の設定、初動マニュアルの作成 実施 広域避難を考慮したハザードマップ を含む「潮来市総合防災マップデジ タル版」を作成。令和4年3月ホーム ページにアップ系、令和4年度「B4 冊子版 潮来市総合防災マップ保 存版」を作成、全户配布、市関連	潮来の4市による「大規模水害時 おける広域避難の連携に関する 定に発輸給し広域避難の連携に関する の設定、初動マニュアルの作成3 施 広域避難を考慮したハザードマッ を含む「潮来市総合防災マップラ タル版」を作成。令和4年3月ホー ページにアップ系。今和4年度に 冊子版 潮来市総合防災マップ 存版」を作成し、全戸配布、市関 施設等へ配布済	特に 協所) 東 ジデジム → 34保連		を策定する ・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難を反映した洪	: : : : : : : : : : : : : : : : : : :			Δ Δ	・市内100カ所(電柱100カ所)に浸水 深想定看板を追加設置	Δ Δ	
1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域遊難を反映した洪水 ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に 水害も対象として位置づけ、避難訓	K ·H29年度 -H29年度	R7年度	取、潮来の4市による「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難の連携所(計7分所)の設定、初動マニュアルの作成実施 広域避難を考慮したハザードマップジタル版」を作成。令和4年3月ホームページにアップ湾。令和4年8[日4冊子版、潮来市総合防災マップ保存版を作成し、全戸配布、市関連施設等へ配布済	潮来の4市による「大規模水害時 おける広域避難の連携に関する 定」を締結し広域避難の連携に関する の設定、初動マニュアルの作成3 施 広域避難を考慮したハザードマッ を含む「潮来市総合防災マップテ タル版」を作成。令和4年2月ホー ページにアップラ。令和4年度日 冊子版 潮来市総合防災マップ 存版と作成し、全戸配布、市関 施設等へ配布済	特に協所実 プジム 4 ● プジム 4 ●		・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪ハザードマップを策定する ・洪水浸水能地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定ている選批計画のの策定計画の中水害も対象として位置づけ、超難	· N · H29年度	R7年度		Δ Δ	・市内100ヵ所(電柱100ヵ所)に浸水深想定看板を追加設置	Δ	
1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	を策定する ・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に	K ·H29年度 -H29年度	R7年度 -R7年度	取、測来の4市による「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難の連携所(計7分所)の設定、初動マニュアルの作成実施 広域避難を考慮したハザードマップを含む「潮来市総合防災マップデジタル版」を作成。令和4年3月ホームページにアップ済。令和4年度「B4冊子版」海来市総合防災マップ保存版を作成し、全戸配布、市関連施設等へ配布済 令和4年度、電柱公告10箇所設置済(累計53箇所)	潮来の4市による「大規模水害時 おける広域避難の連携に関する 定定を締結し広域避難所(計7ヶ月 の設定、初動マニュアルの作成。 施 広域避難を考慮したハザードマッ を含む「潮来市総合防災マップラ タル版」を作成。令和4年3月ホー ページにアップ済。令和4年8月ホー ページにアップ済。令和4年度「E 冊子版」を作成し、全戸配布、市関 施設等へ配布済	特に協所)実 ジデンム4 ● 品保連 に股 ●		を策定する ・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定ている避難計画の策定計画の中に	· N · H29年度	R7年度 -R7年度		Δ Δ	・市内100カ所(電柱100カ所)に浸水 深想定看板を追加設置	Δ	
1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域遊難を反映した洪水 ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に 水害も対象として位置づけ、避難訓	K ·H29年度 -H29年度	R7年度 -R7年度	取、潮来の4市による「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難の連携所(計すが)の設定、初動マニュアルの作成実施 広域避難を考慮したハザードマップを含む「潮来市総合防災マップデジタル版」を作成。令和4年度「B4冊子版」潮来市総合防災マップ保存版と作成し、全戸配布、市関連施設等へ配布済 令和4年度、電柱公告10箇所設置済(累計53箇所)	潮来の4市による「大規模水害時 おける広域避難の連携に関する 定定を締結し広域避難の連携に関する の設定、初動マニュアルの作成3 施 広域避難を考慮したハザードマッ を含む「潮来市総合防災マップラ タル版」を作成。令和4年3月ホ ペーシにアップ系。令和4年度「 冊子版 潮来市総合防災マップ 存版」を作成し、全戸配布、市関 施設等へ配布済 の 防災無線BOXを活用し18箇所に 置	特に協所所実 リプジム ● 日本		・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪ハザードマップを策定する ・洪水浸水能地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定ている選批計画のの策定計画の中水害も対象として位置づけ、超難	· N · H29年度	R7年度 -R7年度		Δ Δ	・市内100カ所(電柱100カ所)に浸水 深想定看板を追加設置	Δ Ο Δ	
1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ⑦ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域遊難を反映した洪水 ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置 に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に 水害も対象として位置づけ、避難訓	K ·H29年度 -H29年度	R7年度 -R7年度	取、溯来の4市による「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難の連携所(計すみ所)の設定、初動マニュアルの作成実施 広域避難を考慮したハザードマップを含む「瀬来市総合防災マップデジタル版」を作成。今和4年3月ホームページにアップ湾。令和4年度「B4冊子版「瀬来市総合防災マップ保存版」を作成し、全戸配布、市関連施設等へ配布済令和4年度、電柱公告10箇所設置済(累計53箇所) 令和4年度、電柱公告10箇所設置済(累計53箇所)	潮来の4市による「大規模水害時 おける広域避難の連携に関する 定定を締結し広域避難所(計7ットの の設定、初動マニュアルの作成3 施 広域避難を考慮したハザードマッを含む「潮来市総合防災マップラ タル版」を作成。令和4年8月ホーページにアツブ湾。令和4年度「E 冊子版 潮来市総合防災マップ 存版」を作成し、全戸配布、市関施設等へ配布済 防災無線BOXを活用し18箇所に 置	特に協所実 プデンー34 ● ○ ○		・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪ハザードマップを策定する ・洪水浸水能地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定ている選批計画のの策定計画の中水害も対象として位置づけ、超難	· N · H29年度	R7年度 -R7年度		Δ Δ Δ	- 市内100カ所(電柱100カ所)に浸水 深想定看板を追加設置	△ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	タイムラインを全戸配布 等での作成会実施
1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ②ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する	H29年度 -H29年度 -H30年度 -H29年度	R7年度 •R7年度 •R7年度	取、溯来の4市による「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難所の計7分所)の設定、初動マニュアルの作成実施 広域避難を考慮したハザードマップ を含む「潮来市総合防災マップデジタル版」を作成。令和4年8月4年度「84年度、電社公告10箇所設置 令和4年度「8年公司を介護を介配布済令和4年度、電社公告10箇所設置済(累計53箇所)	潮来の4市による「大規模水害時 おける広域避難の連携に関する 定定を締結し広域避難の連携に関する の設定、初動マニュアルの作成3 施 広域避難を考慮したハザードマッ を含む「潮来市総合防災マップ・タル版」を作成。令和4年8月ホーページにアップ系。令和4年8月ホーページにアップ、今和4年度に冊子版 潮来市総合防災マップ 存版」を作成し、全戸配布、市関施設等へ配布済 防災無線BOXを活用し18箇所に置 ・令和5年度同様、7割の策定	特に協引実 ツブジム4保連 - 設 - 係来ン マ の 単 - の - の - の - の - の - の - の - の - の		を策定する ・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定ている避難計画の策定計画の中水害も対象として位置づけ、避難は練等を支援する	・H29年度 - H29年度 - H29年度 - H29年度	R7年度 -R7年度 -R7年度			・市内100カ所(電柱100カ所)に浸水深想定看板を追加設置	△ · 我が家の5 · 出前講座等	タイムラインを全戸配式 等での作成会実施 タイムラインを全戸配式 等での作成会実施
1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③広域避難計画の策定 ④広域避難を考慮したハザードマップ整備・拡充 ⑤束るごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ②ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ① 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に、水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する	·H29年度 ·H29年度 ·H30年度 ·H30年度 ·H30年度	R7年度 •R7年度 •R7年度	取、潮来の4市による「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難の連携に同する協定」を締結し広域避難を考慮したハザードマップシタル版を作成。今和4年3月ホームページにアップ湾。令和4年3月ホームページにアップ湾。令和6世界でありなマップ保存版を作成し、全戸配布、市関連施設等へ配布済令和4年度、電柱公告10箇所設置済(累計53箇所) 令和4年度同様、7割の策定 令和4年度同様、7割の策定 令和4年度同様、7割の策定 令和4年度同様、7割の策定 令和4年度同様、7割の策定	潮来の4市による「大規模水害時 おける広域避難の連携に関する 定定を締結し広域避難の連携に関する の設定、初動マニュアルの作成3 施 広域避難を考慮したハザードマッ を含む「潮来市総合防災マップ タル版」を作成。令和4年3月ホーページにアップ系。今和4年度に 冊子版 潮来市総合防災マップ 存版」を作成し、全戸配布、市関 施設等へ配布済 の が災無線BOXを活用し18箇所に 置 ・令和5年度同様、7割の策定 ・令和5年度剛来市防災訓練での イ・タイムライン作成ブース設置。 令和6年度潮来市防災訓練での イ・タイムライン作成ブース設置。 ・令和6年度潮来市防災訓練での イ・タイムライン作成ブース設置。	特に協所実 ップジム4 ・		・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定ている避難計画の策定計画の中水害も対象として位置づけ、避難は練等を支援する	・H29年度 - H29年度 - H29年度 - H29年度	R7年度 -R7年度 -R7年度			·市内100カ所(電柱100カ所)に浸水 深想定看板を追加設置	△ · 我が家の今 · 出前講座等 △ · 我が家の今 · 出前講座等	等での作成会実施 タイムラインを全戸配布
1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ① 想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ② 想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③ 広域避難計画の策定 ④ 広域避難計画の策定 ⑤ まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ② ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ① 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ② 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する ・タイムラインの策定を行う ・マイ・タイムラインの作成の促進	H29年度 -H29年度 -H30年度 -H30年度 -R3年度 -R3年度	R7年度 •R7年度 R7年度 R7年度	取、潮来の4市による「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難が、計分所の設定、初動マニュアルの作成実施 広域避難を考慮したハザードマップ、今地の大学を含む「潮来市総合防災マップデンタル版」を作成。今和4年8月4年8日4日 一日本版、潮来市総合防災マップ保存版と作成し、全戸配布、市関連施設等へ配布済令和4年度「電柱公告10箇所設置済(累計53箇所) 令和4年度同様、7割の策定 令和4年度間様、7割の策定 令和4年度間様、7割の策定 令和4年度間様、7割の策定 令和4年度間様、7割の策定 令和4年度間様、7割の策定 令和4年度間様、7割の策定 令和4年度間等、7割の策定 令和4年度間等、7割の策定 令和4年度間等、7割の策定 令和4年度間等、7割の策定 令和4年度間等、7割の策定 令和4年度間等、7割の策定 本本事務所との3種のタイムライン 作成済 令和4年度潮来市防災訓練でのマイ・タイムライン作成プース設置、湖来市投所部・課長を対象としたマイ・タイムライン作成プース設置、湖来市役所部・課長を対象としたマイ・タイムライン・作成プース設置、湖来市役所部・課長を対象としたマイ・タイムライン・解する場合で、第二、第二、第二、第二、第二、第二、第二、第二、第二、第二、第二、第二、第二、	潮来の4市による「大規模水害時 おける広域避難の連携に関する 定 定を締結し広域避難の連携に関する の設定、初動マニュアルの作成。 施 広域避難を考慮したハザードマッ を含む「潮来市総合防災マップ 存版しを作成。令和4年8月ホーページにアップ系。今和4年度に冊子版 潮来市総合防災マップ 存版しを作成し、全戸配布、市関 施設等へ配布済 の 令和5年度同様、7割の策定 ● へ和5年度同様、7割の策定 ● へ和5年度同様、7割の策定 ● へ和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様の中で、マイ・ムライン作成プース設置 ・ 令和5年度別来市防災訓練でのイ・タイムライン作成 ・ 令和5年度別来市防災監査 ・ 令和5年度別来市防災訓練でのイ・タイムライン作成 ・ 令和5年度別来市防災訓練でのイ・タイムライン作成プース設置 ・ 令和5年度別来市防災訓練でのイ・タイムライン作成プース設置 ・ 令和5年度別来市防災訓練でのイ・タイムライン作成プース設置 ・ 令和5年度別来市防災訓練でのイ・タイムライン作成プース設置	特に協引来 ソプジム4 保連 - 設 -		・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定ている避難計画の策定計画の中水害も対象として位置づけ、避難は練等を支援する	・H29年度 - H29年度 - H29年度 - H29年度	R7年度 -R7年度 -R7年度			・市内100カ所(電柱100カ所)に浸水 深想定看板を追加設置	 △ ○ ・我が家の今・出前講座等 ○ ・我が家の今・出前講座等 	等での作成会実施 タイムラインを全戸配れ 等での作成会実施 タイムラインを全戸配れ
1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ① 想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表 ② 想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ③ 広域避難計画の策定 ④ 広域避難計画の策定 ⑤ まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ⑦ アハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ① 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ② 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ② 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ③ 『マイ・タイムライン』	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定にている避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する ・タイムラインの策定を行う ・マイ・タイムラインの作成の促進 ・マイ・タイムラインの作成の促進 ・ロールプレイング等の実践的な訓練の実施する	+H29年度 -H29年度 -H30年度 -H30年度 -R3年度 -R3年度	R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	取、潮来の4市による「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難を考慮したハザードマップが多い版」を作成。令和4年度「B4年成・令和4年度「B4年成」を育成。を作成し、全戸配布、市関連施設等へ配布済の利4年度「電柱公告10箇所設置を和4年度同様、7割の策定や和4年度同様、7割の策定や和4年度同様、7割の策定や和4年度同様、7割の策定や和4年度同様、7割の策定や和4年度制率市防災訓練でのマップ・タイムライン作成済の中ではブース設置、東市役所部・課長を対象としたマイクイムライン作成プース設置、潮来市役所部・課長を対象としたマイクイムライン作成プース設置、潮来市役所部・課長を対象としたマイクイムライン作成プース設置、潮来市役所部・課長を対象としたマイクイムライン作成講習会での作成や和4年度潮来市防災訓練でのマイタイムライン作成講習会での作成の中では、第14年の日に対し、前別が記述する想定でからな場合に対し、前別が記述する想定で、14年の日に対していませていませていませていませていませていませていませていませていませていませ	潮来の4市による「大規模水害時 おける広域避難の連携に関する 定に季締結し広域避難所(計)すりの設定、初動マニュアルの作成3 施 広域避難を考慮したハザードマック タル版 浸作成。令和4年8月ホーページにアップ湾・今和4年度1円冊子版 潮来市総合防災マップイ存版 達作成し、全戸配布、市関施設等へ配布済 防災無線BOXを活用し18箇所に置 ・令和5年度同様、7割の策定 ・令和5年度同様、7割の策定 ・令和5年度同様、7割の策定 ・令和5年度同様、7割の策定 ・令和5年度同様、7割の策定 ・令和5年度耐速がある4ムライ作成第一年の5年度潮来市防災訓練でのイ・タイムライン作成プース設置。 ・令和5年度月に、減少で、マイ・ムライン作成プース設置。 ・令和5年度利来市防災訓練でのイ・タイムライン作成プースを1時で、マイ・ムライン作成プースと関係を会の中で、マイ・ムライン作成プースと関係を会ので、マイ・ムライン作成プースと関係を会ので、マイ・ムライン作成プースと関係を会ので、マイ・ムライン作成プースと関係を会ので、マイ・ムライン作成プースと関係を会ので、マイ・ムライン作成プースを表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	特に協引来 ソプジム4 保連 - 設 -		を策定する ・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定でいる避難計画の策定計画の中水害も対象として位置づけ、避難に練等を支援する ・タイムラインの策定を行う ・マイ・タイムラインの作成の促進	*************************************	R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度			・市内100カ所(電柱100カ所)に浸水深想定看板を追加設置	 △ ○ ・我が家の今・出前講座等 ○ ・我が家の今・出前講座等 	等での作成会実施 タイムラインを全戸配名 等での作成会実施 タイムラインを全戸配名 等での作成会実施
1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 ②恋な嫌避難計画の策定 ③広域避難計画の策定 ⑤志るごとまちごとハザードマップの作成・周知等 ⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ②ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ①避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ②避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ③影響指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成 ③ぶ「マイ・タイムライン」作成講習の実施 ⑥タタムラインに基づく実践的な訓練 ⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実	・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪水ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定にている避難計画の策定計画の中に水害も対象として位置づけ、避難訓練等を支援する ・タイムラインの策定を行う ・マイ・タイムラインの作成の促進 ・マイ・タイムラインの作成の促進 ・ロールプレイング等の実践的な訓練の実施する	+H29年度 -H29年度 -H30年度 -H30年度 -R3年度 -R3年度	R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度	取、潮来の4市による「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難の連携に関する協定」を締結し広域避難を考慮したハザードマップが多い版」を作成。令和4年度「B4年成・令和4年度「B4年成」を育成。を作成し、全戸配布、市関連施設等へ配布済の利4年度「電柱公告10箇所設置を和4年度同様、7割の策定や和4年度同様、7割の策定や和4年度同様、7割の策定や和4年度同様、7割の策定や和4年度同様、7割の策定や和4年度制率市防災訓練でのマップ・タイムライン作成済の中ではブース設置、東市役所部・課長を対象としたマイクイムライン作成プース設置、潮来市役所部・課長を対象としたマイクイムライン作成プース設置、潮来市役所部・課長を対象としたマイクイムライン作成プース設置、潮来市役所部・課長を対象としたマイクイムライン作成講習会での作成や和4年度潮来市防災訓練でのマイタイムライン作成講習会での作成の中では、第14年の日に対し、前別が記述する想定でからな場合に対し、前別が記述する想定で、14年の日に対していませていませていませていませていませていませていませていませていませていませ	潮来の4市による「大規模水害時 おける広域避難の連携に関する 定 定を締結し広域避難の連携に関する の設定、初動マニュアルの作成。 施 広域避難を考慮したハザードマッ を含む「潮来市総合防災マップ 存版しを作成。令和4年8月ホーページにアップ系。今和4年度に冊子版 潮来市総合防災マップ 存版しを作成し、全戸配布、市関 施設等へ配布済 の 令和5年度同様、7割の策定 ● へ和5年度同様、7割の策定 ● へ和5年度同様、7割の策定 ● へ和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様、7割の策定 ・ 令和5年度同様の中で、マイ・ムライン作成プース設置 ・ 令和5年度別来市防災訓練でのイ・タイムライン作成 ・ 令和5年度別来市防災監査 ・ 令和5年度別来市防災訓練でのイ・タイムライン作成 ・ 令和5年度別来市防災訓練でのイ・タイムライン作成プース設置 ・ 令和5年度別来市防災訓練でのイ・タイムライン作成プース設置 ・ 令和5年度別来市防災訓練でのイ・タイムライン作成プース設置 ・ 令和5年度別来市防災訓練でのイ・タイムライン作成プース設置	特に協引来 ソプジム4 保連 - 設 -		を策定する ・想定最大規模降雨における洪水を対象に、広域避難を反映した洪ハザードマップを策定する ・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う ・要配慮者利用施設において策定でいる避難計画の策定計画の中水害も対象として位置づけ、避難に練等を支援する ・タイムラインの策定を行う ・マイ・タイムラインの作成の促進	*************************************	R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度			·市内100カ所(電柱100カ所)に浸水深想定看板を追加設置	 △ ○ ・我が家の今・出前講座等 ○ ・我が家の今・出前講座等 	等での作成会実施 タイムラインを全戸配名 等での作成会実施 タイムラインを全戸配名 等での作成会実施

●:実施済み、○:実施中(検討中を含む)、 Δ:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外

①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を設置する	·H28年度	R7年度	市役所総務課に設置	•	市役所総務課に設置	•	・設置を検討中。	•H28年度	R7年度		Δ	Δ	
②水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・実施について検討する	•H29年度	•R7年度	令和4年9月、潮来市議会議員に対し、市内水位観測所、防災倉庫等の視察、総合防災マップ勉強会を実施	0	令和5年10月、潮来市議会議員に 対し、前川排水機場(水門を閉める フロー)説明・見学	. 0	・実施について検討する	•H29年度	R7年度		Δ	Δ ,	・出前講座、HP、アプリを利用した 啓発活動
③教員を対象とした講習会の実施	・浸水想定区域にある小中学校を対象に講習会を実施する	·H29年度	·R7年度	・平成30年度の小学生を対象とした防災教育が契機となり、教員間で情報共有。勉強会の検討	ē 0	平成30年度に小学生対象の防災 教育により、教員間で情報共有。勉 強会検討	1 0	・浸水想定区域にある小学校を対象に講習会を実施する	•H29年度	R7年度	・小学校独自で実施した	•	•	
③小学生を対象とした防災教育の実施	・実施について検討する	·H29年度	•R7年度	令和元年度から市内小学校におい て各2回、計10回実施。	, 0	令和元年度から市内小学校におい て各2回、計10回実施。	0	・浸水想定区域にある小学校を対象に、実施について検討する	・H29年度	R7年度	・小学校独自で実施した	•	•	
⑤出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度	実施に向けた取組を継続	Δ	令和5年9月28日に、潮来市高齢者 クラブ(悠々塾)において、潮来市の 防災について講習会を開催しまし		・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度	・小学校独自で実施した	•	•	
⑥ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	・実施に向けて検討する	•H29年度	R7年度	・各地区区長、民生委員児童委員、 消防(水防)団員、市職員を対象とし 防災に特化したメール等配信サー ビスを整備	•	75。 区長、民生・児童委員、消防(水防) 団、市職員を対象とし、防災に特化 したメール等配信サービスを整備	•	・実施に向けて検討をする	•H29年度	R7年度		Δ	Δ	
⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・実施に向けて検討する	・H28年度	•R7年度	・市ホームページに川の防災情報 等をリンクして市民に提供	•	市ホームページに川の防災情報等 をリンクして市民に提供	•	・ホームページで川の防災情報等 リンク先で提供する	を ・H28年度	R7年度		Δ		・市HP、市公式アプリに各種防災 報のリンク添付
⑧許可工作物管理者への防災教育の実施	・実施に向けて検討する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取組を継続	Δ	実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けて検討をする	·H29年度	•R2年度		Δ	Δ	
1 対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組 より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化		1								 				
①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・これまでにも水防訓練に併せ伝達 訓練を実施している	•H28年度	•R7年度	・IP無線を活用し伝達訓練実施。また、6月の情報伝達訓練に於いて防災に特化したメールの一斉配信実施	0	防災訓練の際、消防団員によるIP 無線を活用し情報伝達訓練を実施		・これまでにも水防訓練等で伝達 練を実施している	·H28年度	R7年度		•	•	
②水防団同士の連絡体制の確保	・連絡体制を確保する	·H28年度	R7年度	・消防系統で確保済み	•	消防系統で確保済	•	・連絡体制は確保済	•H28年度	R7年度		•	•	
③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・河川事務所が実施する重要水防 箇所等の共同点検に参加する	・H28年度	•R7年度	令和4年6月河川事務所の共同点 検及び潮来土事務所の出水前点検 (水防団出席無)を実施	ĝ О	令和5年6月河川事務所の共同点 検及び潮来土事務所の出水前点検 (水防団出席無)を実施	ĝ О	・河川事務所が実施する重要水間 箇所等の共同点検に参加する	i -H28年度	•R7年度		Δ	Δ	
③関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・利根川水系連合水防演習に参加 する ・広域水防訓練の実施	·H29年度	•R7年度	・実施に向けた取組を継続	Δ	実施に向けた取り組みを継続	Δ	・利根川水系連合水防演習に参加 する ・広域水防訓練の実施] •H29年度	R7年度		Δ	•	
⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	・広報誌やホームページ等で募集し ていく	´・H30年度	•R7年度	・実施に向けた取組を継続	Δ	実施に向けた取り組みを継続	Δ	・広報誌・ホームページ等で募集していく	´・H29 年度	R7年度		Δ	Δ	
⑤地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・実施を検討する	・H28年度	•R7年度	災害応援協定で対応	•	災害応援協定で対応	•	・実施を検討する	·H29年度	R7年度		Δ	Δ	
⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・水防団等と情報共有、点検を行う	•H29年度	•R7年度	令和4年7月に水防訓練実施と情 報共有	0	令和5年7月に水防訓練実施と情 報共有	0	・水防団等と情報共有、点検を行	5 ·H29年度	R7年度		Δ	0	
⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	令和4年7月の水防訓練実施ととも に外浪逆浦周辺堤防の確認	, 0	令和5年7月の水防訓練実施ととも に外浪逆浦周辺堤防の確認	, 0	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度		Δ	Δ	
③水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団員の募集、自主防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度	・継続的な水防団員の募集を実施	0	継続的な水防団(消防団)員の募集 を実施	0	・水防団員の募集、自主防災組織 企業等の参画を促すための広報 検討、実施	P -R3年度	•R7年度		Δ	Δ	
③水防削線の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	水防用土のうステーションの整備の ため土のう作製を実施	0	「水防用 土のうステーション」用の土のう作製訓練を実施	0	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度		Δ	Δ	
①水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取組を継続	Δ	実施に向けた取り組みを継続	Δ	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力		•R7年度		Δ	Δ	
」 対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組 排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施						-					-			
①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水審を想定した排水計画(案)の作	・排水ポンプの設置箇所の選定まで行った排水計画(案)を作成する。	•H29年度	•R7年度	市職員向けマニュアル「台風・大雨 に備えた事前行動計画」に排水機 場、樋門、水門等の一覧を盛り込み 確認		市職員向けマニュアル「台風・大雨 に備えた事前行動計画」に排水機 場、樋門、水門等の一覧を盛り込み 確認		・検討する	•H29年度	•R7年度		Δ	Δ	
②排水訓練の実施	・防災訓練と合同で実施する検討を 行う	·H29年度	•R7年度	防災訓練に於いて担当課による操 作訓練の実施	0	防災訓練での担当部局による操作 訓練実施	0	・防災訓練と合同で実施する	·H29年度	R7年度		Δ	Δ	
③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・排水ポンプ等の設置箇所の選定 まで行った排水計画(案)の作成	•H29年度	•R7年度	・排水ポンプの設置箇所(2箇所)及 び過去の浸水箇所の一覧図を「台 風・大雨に備えた事前行動計画」を 改訂し掲載		排水ポンプ設置箇所及び過去の浸水箇所一覧図を「台風・大雨に備えた事前行動計画」に改訂	. 0	・検討する	•H29年度	•R7年度		Δ	Δ	
④排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	•R3年度	·R7年度	・実施に向けた取組を継続	Δ	実施に向けた取り組みを継続	Δ	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度		Δ	Δ	
⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取組を継続	^	実施に向けた取り組みを継続	_	・作成に必要な情報の提供	•R3年度	•R7年度		Δ	Δ	-

			- 4 088	かすみがうら市						±#	- U O 88	神栖市			,	
内容	実施内容	善 美所 着手	西期間 完了	R4年度実績 ******	R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	実施内容	美 是 一	期間 完了	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績
- ド対策の主な取組 1)洪水を河川内で安全に流す対策														_		
①優先的に実施する堤防整備																
②優先的に実施する波浪対策																
③危機管理型ハード対策																
2)避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																
①雨量·水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握·伝達するための基盤の整備 ②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・霞ヶ浦地区の防災行政無線デジタ ル化(H28年度~R3年度) を進め、 令和4年度には市内全域の防災行 政無線をデジタル化する	· ·H28年度	•R7年度	市防災行政無線整備事業5か年計 画完了による市内全域のデジタル 化完了	市防災行政無線整備事業5か年計 画完了による市内全域のデジタル 化完了	•	継続中	•]	市内全域に防災行政無線屋外拡 ^{塩子局を整備済} 防災ラジオを有償配布中	·H28年度	R7年度	・防災ラジオを有償配布中 無償配布要件に該当する方につい ては、無償配布要件。 (無償配布要件) 〇生活保護受給者 〇神極市ひとり暮らし高齢者等緊 急通報システム事業利用者 〇市が作成する避難行動要支援者 名簿に登録されている者と同一の 世帯に属する者	•	・防災ラジオを有償配布中 無償配布要件に該当する方につい ては、無償配布要件を実施 「無償配布要件」 〇生活保護受給者 〇神栖市ひとり暮らし高齢者等緊 急通報システム事業利用者 〇市が作成する避難行動要支援者 七簿に登録されている者と同一の 世帯に属する者	•	・防災ラジオを有償配布中 無償配布要件に該当する方につい ては無償配布要件に該当する方につい ては無償配布要件 の生活保護受給者 の神極市ひとり暮らし高齢者等緊 急通報システム事業利用者 〇市が作成する避難行動要支援者 名簿に登録されている者と同一の 世帯に属する者
③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機材等の配備	・より効果的な資機材の配備を検討する	•H28年度	•R7年度	・資機材等の配備(水のう・土のう製作器・水難ボックスウォール)	新資機材配備はなし	×	新資機材配備はなし	×	新技術を活用した水防資機材等 D配備	•H30年度	R7年度					
④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・県の設置状況を考慮しつつ必要で あれば市でも設置を検討する	・H28年度	R7年度	·H29年度POTEKA設置(市内4力 所)	•H29年度POTEKA設置(市内4力 所)	•	•H29年度POTEKA設置(市内4力所)	•	水位計や量水標、カメラの整備	・H29年度	R7年度	・(㈱ウェザニューズへ水防対策支援 業務を委託しており、その中で水位 予測情報等の情報提供を受けてい	•	・(株)ウェザニューズへ水防対策支援 業務を委託しており、その中で水位 予測情報等の情報提供を受けてい z		・㈱ウェザニューズへ水防対策支援 業務を委託しており、その中で水位 予測情報等の情報提供を受けてい
⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・庁舎が浸水想定区域外であり対象外								庁舎が浸水想定区域外であり対 象外			·••] W 0		' 90
⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・関係課とともに対策を検討する	•H28年度	R7年度	・田伏地先に内水排水ポンプ設置 済み	・田伏地先に内水排水ポンプ設置 済み ・R6年度排水ポンプ車予算要求	0	・田伏地先に内水排水ポンプ設置 済 ・排水ポンプ車予算要求	0	排水ポンプの整備	•H29年度	R7年度	・内水被害に備え水中ポンプ用ホースを購入し、備蓄倉庫に配備した。	•	・内水被害に備え水中ポンプ用ホースを購入し、備蓄倉庫に配備した。	•	・内水被害に備え水中ポンプ用ホースを購入し、備蓄倉庫に配備した。
⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など重要施設の雨水排水整備の実施	・ 重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度	×		×		×	重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度	・重要施設の雨水排水整備の実施	•	・重要施設の雨水排水整備の実施	•	・重要施設の雨水排水整備の実施
⑧河川防災ステーションの整備																
⑨庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度	非常用電源の確保	非常用電源の確保 (中央庁舎)	Δ	非常用電源の確保 (中央庁舎)	Δ	防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度	非常用電源の整備・改修	•	非常用電源の整備・改修	•	非常用電源の整備・改修
				かすみがうら市								神栖市				
事 項 	実施内容	実所 着手	施期間 ニュニュニュ	- R4年度実績 *****	R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	実施内容	実施 着手		R4年度実績	実施状況	® R5年度実績	実施状況	R6年度実績
ト対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組		1 /B J	1 76 1							/B J	1 /6 1				•	
1) 広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ① 想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																
②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表																
③広域避難計画の策定	・協議会の中で広域避難計画を策 定するなど今後策定を検討する	·H29年度	•R7年度	・広域避難計画(案)を検討 ・R1.9.27、隣接の石岡市と「大規模	・R1.9.27、隣接の石岡市と「大規模 水害時における広域避難の連携に		・引き続き「大規模水害時における 広域避難連携」の実施に向けた取 り組みを継続	Δ	広域避難計画の策定	·H28年度	R7年度	・H29.2に締結した水郷4市(潮来市、稲敷市、神栖市、香取市)「大規模水害時における広域避難の連		*H29.2に締結した水郷4市(潮来市、稲敷市、神栖市、香取市)「大規模水害時における広域歴史の連携に関する協定」について水郷4市で協議を重ね、避難場所の設定及	•	・H29.2に締結した水郷4市(潮来市、稲敷市、神栖市、香取市)「大規模水害時における広域避難の連携に関する協定」について水郷4市で協議を重ね、避難場所の設定及び、初動マニュアル等を作成した。
				水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。	関する協定」を締結した。 ・そのほか、実施に向けた取り組み を継続	Δ	フルロットと、神色がし					携に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及 び、初動マニュアル等を作成した。		び、初動マニュアル等を作成した。		
④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・洪水浸水想定区域見直し後、市の ハザードマップの作成の際に併せ て検討) ·H29年度	•R7年度	水害時における広域避難の連携に	そのほか、実施に向けた取り組み	Δ	・総合防災マップ(修正版)を作成し 周知予定。 ・総合防災マップ改定版を予算要 末。	Δ :	広域避難を考慮したハザードマッ プの策定	•H29年度	R7年度	携に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及	•	い、初動マニュアル等を作成した。 ・最大規模の漫水想定区域に対応した洗水ハザードマップを令和4年度に改定。行政区を通じて全戸配布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪水ハザードマップ内に示している。	•	・最大規模の浸水想定区域に対応 した決水ハザードマップを令和4年 度に改定。行政区を通じて全戸配 布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避 費を決水ハザードマップ内に示し ている。
④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	ハザードマップの作成の際に併せ	•H29年度 •H29年度	•R7年度 •R7年度	水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。	・そのほか、実施に向けた取り組みを継続 ・総合防災マップ(修正版)を令和6年3月に作成、5月に周知予定。 ・R7年度総合防災マップ改定版を	Δ	・総合防災マップ(修正版)を作成し 周知予定。		ナスプレナナ プレハゼ パラルデ教	•H29年度 •H29年度	R7年度 -R7年度	携に関する協定 Jについて水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及 び、初動マニュアル等を作成した。 ・最大規模の浸水想定区域に対応 した洪水ハザードマップを平成29年 度に作成。H3O、4月より行政区を 通じて全戸配布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避 難先を洪水ハザードマップ内に示し	•	び、初動マニュアル等を作成した。 ・最大規模の浸水想定区域に対応した洗水ハザードマップを令和4年度に改定。行政区を通じて全戸配布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洗水ハザードマップ内に示し	•	した洪水ハザードマップを令和4年度に改定。行政区を通じて全戸配布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪水ハザードマップ内に示し
	ハザードマップの作成の際に併せ て検討 ・洪水浸水想定区域図の公表後、	•H29年度		水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。	・そのほか、実施に向けた取り組みを継続 ・総合防災マップ(修正版)を令和6年3月に作成、5月に周知予定。・R7年度総合防災マップ改定版を予算要求。	Δ	・総合防災マップ(修正版)を作成し 周知予定。 ・総合防災マップ改定版を予算要 求。	0	まるごとまちごとハザードマップ整備			携に関する協定」について水郷4市 で協議を重ね、避難場所の設定及 び、初動マニュアル等を作成した。 ・最大規模の浸水想定区域に対応 した洪水ハザードマップを平成29年 度に作成。H3O、4月より行政区を 通じて全戸配布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避 難先を洪水ハザードマップ内に示し ている。 避難場所がどの自然災害に対応し	•	び、初動マニュアル等を作成した。 ・最大規模の浸水想定区域に対応した洗水ハザードマップを令和4年度に改定。行政区を通じて全戸配布を実施。 ・実書協定に基づく、広域避難の避難先を洗水ハザードマップ内に示している。 ・ 避難場所がどの自然災害に対応し	•	した洪水ハザードマップを令和4年 度に改定。行政区を通じて全戸配 布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避 難先を洪水ハザードマップ内に示し ている。 R5年度に引き続き表示看板を整備 予定であったが、予算削減のため
⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	ハザードマップの作成の際に併せて検討 ・洗水浸水想定区域図の公表後、設置に向けた検討を行う	•H29年度		水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。	・そのほか、実施に向けた取り組みを継続 ・総合防災マップ(修正版)を令和6年3月に作成、5月に周知予定。・R7年度総合防災マップ改定版を予算要求。	Δ	・総合防災マップ(修正版)を作成し 周知予定。 ・総合防災マップ改定版を予算要 求。	0	まるごとまちごとハザードマップ整備	•H29年度	•R7年度	携に関する協定 II こついて水郷4市で協議を重ね、避難場所の設定及び、初助マニュアル等を作成した。 -最大規模の浸水想定区域に対応した浅氷ハザードマップを平成29年度に作成。H30、4月より行政区を通じて全戸配布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪氷ハザードマップ内に示している。 避難場所がどの自然災害に対応、避難場所がどの自然災害に対応しているかを記載した表示看板を整備中 洪水浸水想定区域内の要配慮者、利用施設の管理者に対し、市の水	•	び、初動マニュアル等を作成した。 ・最大規模の浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップを令和4年度に改定。行政区を通じて全戸配布を実施。・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪水ハザードマップ内に示しているかを記載た表示看板を整備中 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の管理者に対し、市の水	•	した洪水ハザードマップを令和4年 度に改定。行政区を通じて全戸配 布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避 難先を洪水ハザードマップ内に示し ている。 R5年度に引き続き表示看板を整備 予定であったが、予算削減のため 先送りした(R7年度実施予定)。 洪水浸水想定区域内の要配慮者 利用施設の管理者に対し、市の水
⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	ハザードマップの作成の際に併せて検討 ・洗水浸水想定区域図の公表後、設置に向けた検討を行う	•H29年度		水害時における広域避難の連携に 関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。	・そのほか、実施に向けた取り組みを継続 ・総合防災マップ(修正版)を令和6年3月に作成、5月に周知予定。・R7年度総合防災マップ改定版を予算要求。	Δ	・総合防災マップ(修正版)を作成し 周知予定。 ・総合防災マップ改定版を予算要 求。	0	まるごとまちごとハザードマップ整備	•H29年度	•R7年度	携に関する協定 II こついて水郷4市で協議を重ね、避難場所の設定及び、初助マニュアル等を作成した。 -最大規模の浸水想定区域に対応した浅氷ハザードマップを平成29年度に作成。H30、4月より行政区を通じて全戸配布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪氷ハザードマップ内に示している。 避難場所がどの自然災害に対応、避難場所がどの自然災害に対応しているかを記載した表示看板を整備中 洪水浸水想定区域内の要配慮者、利用施設の管理者に対し、市の水	•	び、初動マニュアル等を作成した。 ・最大規模の浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップを令和4年度に改定。行政区を通じて全戸配布を実施。・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪水ハザードマップ内に示しているかを記載た表示看板を整備中 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の管理者に対し、市の水	•	した洪水ハザードマップを令和4年度に改定。行政区を通じて全戸配布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪水ハザードマップ内に示している。 R5年度に引き続き表示看板を整備予定であったが、予算削減のため先送りした(R7年度実施予定)。 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施股の管理者に対し、市の水
⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ⑦ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用	ハザードマップの作成の際に併せて検討 ・洗水浸水想定区域図の公表後、設置に向けた検討を行う	•H29年度		水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。 ・予算化に向けた内部検討	・そのほか、実施に向けた取り組みを継続 ・総合防災マップ(修正版)を令和6年3月に作成、5月に周知予定。・R7年度総合防災マップ改定版を予算要求。	Δ Ο	・総合防災マップ(修正版)を作成し 周知予定。 ・総合防災マップ改定版を予算要 求。	0	まるごとまちごとハザードマップ整備	•H29年度	•R7年度	携に関する協定 II こついて水郷4市で協議を重ね、避難場所の設定及び、初助マニュアル等を作成した。 -最大規模の浸水想定区域に対応した浅氷ハザードマップを平成29年度に作成。H30、4月より行政区を通じて全戸配布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪氷ハザードマップ内に示している。 避難場所がどの自然災害に対応、避難場所がどの自然災害に対応しているかを記載した表示看板を整備中 洪水浸水想定区域内の要配慮者、利用施設の管理者に対し、市の水	•	び、初動マニュアル等を作成した。 ・最大規模の浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップを令和4年度に改定。行政区を通じて全戸配布を実施。・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪水ハザードマップ内に示しているかを記載た表示看板を整備中 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の管理者に対し、市の水	•	した洪水ハザードマップを令和4年度に改定。行政区を通じて全戸配布を実施。・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪水ハザードマップ内に示している。 R5年度に引き続き表示看板を整備予定であったが、予算削減のため先送りした(R7年度実施予定)。 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の管理者に対し、市の水
⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 ⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ②ハザードマップボータルサイトを活用した順知サポート、地図情報の活用 2) 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	ハザードマップの作成の際に併せて検討 ・洪水浸水想定区域図の公表後、設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設なし	-H29年度 -H29年度	-R7年度	水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。 ・予算化に向けた内部検討 ・H28年度霞ヶ浦の洪水対策タイム	・そのほか、実施に向けた取り組みを継続・・総合防災マップ(修正版)を令和6年3月に作成、5月に周知予定。・R7年度総合防災マップ改定版を予算要求。 ・予算化に向けた内部検討 作成済み。適宜修正	ΔΘ	・総合防災マップ(修正版)を作成し 周知予定。 ・総合防災マップ改定版を予算要 求。 ・予算化に向けた内部検討	• :	まるごとまちごとハザードマップ整	•H29年度 •H29年度	•R7年度	携に関する協定』について水郷4市で協議を重ね、避難場所の設定及び、初動マニュアル等を作成した。 ・最大規模の浸水想定区域に対応した洗水ハザードマップを平成29年度に作成。H30、4月より行政区を通じて全戸配布を実施。・災害協に基づく、広域避難の避難先を洪水ハザードマップ内に示している。 避難場所がどの自然災害に対応しているかを記載した表示看板を整備中 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の管理者に対し、市の水的施策と避難確保計画の作成を依頼。	•	び、初動マニュアル等を作成した。 ・最大規模の浸水想定区域に対応した洪水ハザードマップを令和4年度に改定。行政区を通じて全戸配布を実施。・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪水ハザードマップ内に示している。 避難場所がどの自然災害に対応しているかを記載した表示看板を整備中 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の管理者に対し、市の水防能を必避難確保計画の作成を依頼。	•	した洪水ハザードマップを令和4年 度に改定。行政区を通じて全戸配 布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避 競先を洪水ハザードマップ内に示し ている。 R5年度に引き続き表示看板を整備 予定であったが、予算削減のため 先送りした(R7年度実施予定)。 洪水浸水想定区域内の要配慮者 利用施設の管理者に対し、市の水 防施策と避難確保計画の作成を依 頼。
(5)まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 (6)要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 (プハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 2)避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 (1)避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	ハザードマップの作成の際に併せて検討 ・洪水浸水想定区域図の公表後、設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設なし ・タイムラインの策定を行う	-H29年度 -H29年度 -H28年度	·R7年度	水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。 ・予算化に向けた内部検討 ・H28年度霞ヶ浦の洪水対策タイム ライン作成	・そのほか、実施に向けた取り組みを継続・・総合防災マップ(修正版)を令和6年3月に作成、5月に周知予定。・R7年度総合防災マップ改定版を予算要求。 ・予算化に向けた内部検討 作成済み。適宜修正	ΔΘ	・総合防災マップ(修正版)を作成し 周知予定。 ・総合防災マップ改定版を予算要 束。 ・予算化に向けた内部検討 作成済み。適宜修正	• :	まるごとまちごとハザードマップ整	·H29年度 ·H29年度 ·H29年度	•R7年度 R7年度	携に関する協定川について水郷4市で協議を重ね、避難場所の設定及び、初動マニュアル等を作成した。 ・最大規模の浸水想定区域に対応した洗水ハザードマップを平成29年度に作成。H30.4月より行政区を通じて全戸配布を実施。・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪水ハザードマップ内に示している。 避難場所がどの自然災害に対応に表しているかを記載した表示看板を整備中 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の管理者に対し、市の水防施策と避難確保計画の作成を依頼。	•	び、初動マニュアル等を作成した。 ・最大規模の浸水想定区域に対応した洗水ハザードマップを令和4年度に改定。行政区を通じて全戸配布を実施。・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洗水ハザードマップ内に示している。 避難場所がどの自然災害に対応しているかを記載した表示看板を整備中 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の管理者に対し、市の水防施策と避難確保計画の作成を依頼。 ・H29年度タイムラインを作成。	•	した洪水ハザードマップを令和4年度に改定。行政区を通じて全戸配布を実施。・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪水ハザードマップ内に示している。 R5年度に引き続き表示看板を整備予定であったが、予算削減のため先送りした(R7年度実施予定)。 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の管理者に対し、市の水防施策と避難確保計画の作成を依頼。 ・H29年度タイムラインを作成。 マイ・タイムラインについて広報誌に
(5)まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 (6)要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 (7)ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 2)避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 (7)避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 (2)避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成	ハザードマップの作成の際に併せて検討 ・洪水浸水想定区域図の公表後、設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設なし ・タイムラインの策定を行う	-H29年度 -H29年度 -H28年度	·R7年度	水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。 ・予算化に向けた内部検討 ・・予算化に向けた内部検討 ・・予算化に向けた内部検討 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・そのほか、実施に向けた取り組みを継続・・総合防災マップ(修正版)を令和6年3月に作成、5月に周知予定。・R7年度総合防災マップ改定版を予算要求。 ・予算化に向けた内部検討 作成済み。適宜修正	ΔΘ	・総合防災マップ(修正版)を作成し 周知予定。 ・総合防災マップ改定版を予算要 束。 ・予算化に向けた内部検討 作成済み。適宜修正	• ;	まるごとまちごとハザードマップ整	·H29年度 ·H29年度 ·H29年度	•R7年度 R7年度	携に関する協定 について水郷4市で協議を重ね、避難場所の設定及び、初動マニュアル等を作成した。 - 最大規模の浸水想定区域に対応した洗水ハザードマップを平成29年度に作成。H30.4月より行政区を通じて全戸配布を実施。・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洗水ハザードマップ内に示している。 避難場所がどの自然災害に対応しているかを記載した表示看板を整備中 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の管理者に対し、市の水防施策と避難確保計画の作成を依頼。	•	び、初動マニュアル等を作成した。 ・最大規模の漫水想定区域に対応した洪水ハザードマップを令和4年度に改定。行政区を通じて全戸配布を実施。・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪水ハザードマップ内に示しているかを記載した表示看板を整備中 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の管理者に対し、市の水防施策と避難確保計画の作成を依頼。 ・H29年度タイムラインを作成。 マイ・タイムラインについて広報誌に掲載 市民向けのマイ・タイムライン講座実施	•	した洪水ハザードマップを令和4年度に改定。行政区を通じて全戸配布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪水ハザードマップ内に示している。 R5年度に引き続き表示看板を整備予定であったが、予算削減のため先送りした(R7年度実施予定)。 対用施設の管理者に対し、市の水防施策と避難確保計画の作成を依頼。 ・H29年度タイムラインを作成。 マイ・タイムラインについて広報誌に掲載 市主催のイベントで市民向けのマイ・タイムライン講座実施 法水 選継訓練において、マイタム
(5)まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充 (6)要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 (7)ハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 2)避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 (7)避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 (2)避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成 (3)「マイ・タイムライン」作成講習の実施	ハザードマップの作成の際に併せて検討 ・洗水浸水想定区域図の公表後、設置に向けた検討を行う ・浸水想定区域内に該当施設なし ・タイムラインの策定を行う ・マイ・タイムラインの作成の促進 実践的な訓練を実施する	-H29年度 -H29年度 -H28年度 -R3年度	-R7年度 R7年度 -R7年度	水害時における広域避難の連携に関する協定」を締結した。 ・平成31年4月、市内全戸に配布した総合防災マップを引き続き活用している。 ・予算化に向けた内部検討 ・予算化に向けた内部検討 ・予算化に向けた内部検討 ・ 予算化に向けた内部検討 ・ 予算化に向けた内部検討 ・ 予算化に向けた内部検討	・そのほか、実施に向けた取り組みを継続 ・総合防災マップ(修正版)を令和6年3月に作成、5月に周知予定。・R7年度総合防災マップ改定版を予算要求。 ・予算化に向けた内部検討 作成済み。適宜修正 マイタイムラインを作成しようをホームページにて周知	ΔΘ	・総合防災マップ(修正版)を作成し 周知予定。 ・総合防災マップ改定版を予算要 末。 ・予算化に向けた内部検討 作成済み。適宜修正 マイタイムラインを作成しようをホームページにて周知	• ;	まるごとまちごとハザードマップ整備 要配慮者利用施設の避難計画の 作成及び避難訓練の実施 避難勧告の発令に着目したタイム ラインの策定 マイ・タイムラインの作成の促進	·H29年度 ·H29年度 ·H29年度	•R7年度 R7年度 R7年度	携に関する協定 について水郷4市で協議を重ね、避難場所の設定及び、初動マニュアル等を作成した。 - 最大規模の浸水想定区域に対応した洗水ハザードマップを平成29年度に作成。H30.4月より行政区を通じて全戸配布を実施。・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洗水ハザードマップ内に示している。 避難場所がどの自然災害に対応しているかを記載した表示看板を整備中 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の管理者に対し、市の水防施策と避難確保計画の作成を依頼。	•	び、初動マニュアル等を作成した。 ・最大規模の漫水想定区域に対応した洪水ハザードマップを令和4年度に改定。行政区を通じて全戸配布を実施。・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪水ハザードマップ内に示しているかを記載した表示看板を整備中 洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設の管理者に対し、市の水防施策と避難確保計画の作成を依頼。 ・H29年度タイムラインを作成。 マイ・タイムラインについて広報誌に掲載 市民向けのマイ・タイムライン講座実施	•	した洪水ハザードマップを令和4年度に改定。行政区を通じて全戸配布を実施。 ・災害協定に基づく、広域避難の避難先を洪水ハザードマップ内に示している。 R5年度に引き続き表示看板を整備予定であったが、予算削減のため先送りした(R7年度実施予定)。 対用施設の管理者に対し、市の水防施策と避難確保計画の作成を依頼。 ・H29年度タイムラインを作成。 マイ・タイムラインについて広報誌に掲載 市主催のイベントで市民向けのマイ・タイムライン講座実施 法水 選継訓練において、マイタム

					. 巫時は、関合社中家にはピテヤツ		・亚味は 明春井市家に広じて担ツ					・平時は、問い合わせ内容に応じ			\sqcap	・平時は、問い合わせ内容に応じ
①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・設置を検討する	·H29年度	•R7年度	・設置について内部検討中	・平時は、問合せ内容に応じて担当 課で対応。災害時は、危機管理課 を窓口として対応。		・平時は、問合せ内容に応じて担当 課で対応。災害時は、危機管理課 を窓口として対応。		窓口の設置	•H28年度	R7年度	・平時は、同い合わせ内容に応して、担当課で対応。災害時は、防災安全課を窓口として対応。	•			・平時は、同い合わせ内容に応じて、担当課で対応。災害時は、『 安全課を窓口として対応。
)水防災に関する説明会の開催・広報の実施	常陸川水門現地見学会に参加	•H28年度	R7年度	令和4年度以降も継続して実施予 定	・総合防災訓練や自治会への自主防災組織の組織化説明会にて広報	•	・総合防災訓練や自治会への自主 防災組織の組織化説明会にて広報	● ・国, 県による	出前講座等の開催	•H28年度	R7年度					
教員を対象とした講習会の実施	・実施に向けて検討する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・国, 県による	出前講座等の開催	•H29年度	R7年度					
)小学生を対象とした防災教育の実施	・実施に向けて検討する	•H29年度	R7年度	・風水害を対象とした市総合防災訓 練への参加呼びかけ	・総合防災訓練への参加を呼び掛けたが日程調整ができず未実施となった。		・総合防災訓練への参加を呼び掛けたが日程調整ができず未実施となった。	× •国, 県による	出前講座等の開催	•H29年度	R7年度					
)出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度	新たな地域での住民避難力強化事 業の実施を検討予定	・令和6年度、実施予定の「水害から 命を守るための避難訓練」に係る訓 練内容の事前説明会を実施。	•	・実施予定の「水害から命を守るための避難訓練」に係る訓練内容の 事前説明会を実施。	● ·出前講座等を実施	活用した講習会の	H28年度	•R7年度					
ジ ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	・メール、ツイッター等による周知や その他の方法を検討	·H29年度	R7年度	・防災無線親局の発令判断システム(音声合成装置)整備に伴い、メール、市アプリ、ツイッターへ避難情報を発信可能となる。	・防災無線親局の発令判断システム(音声合成装置)整備に伴い、 メール、市プリ、ソイッターへ選難 情報を発信可能となる。 ・総合防災マップや市広報紙等にお にお にお にお にお にお にお にお にお にお	0	・防災無線親局の発令判断システム(音声合成装置)整備に伴い、 メール、市プリ、ツイッターへ避難 情報を発信可能となる。 ・総合防災マップや市広報紙等において情報取得手段について、適宜、 周知。 ・防災アプリを整備予定。	・プッシュ型の 手手段の周知	洪水予報等の情報入	·H28年度	R7年度	・エリアメール/緊急速報メールを利用し、避難情報と併せて洪水予報を発信している。		・エリアメール/緊急速報メールを利用し、避難情報と併せて洪水予報を発信している。	•	・エリアメール/緊急速報メール 用し、避難情報と併せて洪水予! 発信している。
⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・ホームページで川の防災情報等を リンク先で提供する	•H28年度	R7年度	市HPへ霞ヶ浦減災対策協議会や 川の防災情報をリンク。区長会総会 や自主防災組織をつうろう研修会 で各種防災情報を取得するアブリ 等を継続して周知していく。	市HPへ霞ヶ浦減災対策協議会や 川の防災情報をリンク。区長会総会 や自主防災組織をつうろう研修会 で各種防災情報を取得するアブリ 等を継続して周知していく。	•	市HPへ霞ヶ浦滅災対策協議会や 川の防災情報をリンク。区長会総会 や自主防災組織をつうろう研修会 で各種防災情報を取得するアプリ 等を継続して周知していく。	・ホームページ レビなどに水位 情報をリアルタ		•H29年度	R7年度	市ホームページに「川の防災情報」 へのリンクを設定している	•	市ホームページに「川の防災情報」 へのリンクを設定している	•	市ホームページに「川の防災情! へのリンクを設定している
②許可工作物管理者への防災教育の実施	・実施に向けて検討する	·H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	・操作規則の制 ・履行検査にお		•H28年度 •H28年度	•R7年度	・策定に向け内部検討中	0	・策定に向け内部検討中	0	・策定に向け内部検討中
表の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組 J効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化				•										•	\rightarrow	
①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・水防訓練に併せ伝達訓練を実施 していく	・H29年度	R7年度	・実施済み 消防団兼任のため, 普段から継続 実施	・実施済み 消防団兼任のため, 普段から継続 実施		・実施済み 消防団兼任のため、普段から継続 実施	・水防団等へのと伝達訓練の	D連絡体制の再確認 実施	・H28年度	R7年度	・消防団への連絡手段として、無線 機やメールを整備している。	•	・消防団への連絡手段として、無線 機やメールを整備している。		・消防団への連絡手段として、第 機やメールを整備している。
氷防団同士の連絡体制の確保	・連絡体制を確保する	・H29年度	R7年度	・無線機と簡易無線機を分団各部 に配備済み	・無線機と簡易無線機を分団各部に配備済み		・無線機と簡易無線機を分団各部に配備済み	● ・水防団同士の	D連絡体制の確保	•H28年度	R7年度	・小型無線機を各分団へ配備済み	•	・小型無線機を各分団へ配備済み	•	・小型無線機を各分団へ配備深
)水筋団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い区間の共同点検	・河川事務所が実施する重要水防 箇所等の共同訓練に参加する	•H28年度	•R7年度	令和4年6月共同訓練実施	令和5年6月共同訓練実施	0	令和6年6月共同訓練実施	箇所等の共同	点検に参加	•H28年度	R7年度	・河川事務所の共同点検に参加	•	・河川事務所の共同点検に参加	•	・河川事務所の共同点検に参加
)関係機関が連携した実働水防訓練の実施	毎年、消防本部主導の水防訓練を 実施	•H28年度	•R7年度	令和4年度以降も消防水防訓練を 実施予定	6月の水防訓練、11月の総合防災 訓練にて実施	•	6月の水防訓練、11月の総合防災 訓練にて実施	加	重合水防演習への参	•H29年度	R7年度					
が防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を促進	広報誌やホームページ等で募集していく	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 △	11月の総合防災訓練にて団員募 集実施	•	・実施に向けた取り組みを継続	・広報紙やホー協力団体を募	-ムページ等で水防 集	•H28年度	R7年度	・水災害時には、消防団が管轄区 域内の内水被害の対応をしてい る。消防団の募集については、経常 的に実施しているが、水防協力団 体の募集については実施していな い、	•	・水災害時には、消防団が管轄区 域内の内水被害の対応をしてい る。消防団の募集については、経常 的に実施しているが、水防協力団 体の募集については実施していな い、	•	・水災害時には、消防団が管轄 域内の内水被害の対応をしてしる。消防団の募集については、 がいま施しているが、水防協力 体の募集については実施してい
ら 地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	実施を検討する	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 △	地元の建設業協会と災害時の協力 体制を協議		地元の建設業協会と災害時の協力 体制を協議	● ・建設業者と災 旧に関する協	(害時における応急復 定の締結済	•H23年度	R7年度	・H23年度に建設業組合と災害時に おける応急復旧に関する協定を締 結している。	•	・H23年度に建設業組合と災害時に おける応急復旧に関する協定を締 結している。	•	・H23年度に建設業組合と災害における応急復旧に関する協定を おける応急復旧に関する協定を 結している。
7)内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・水防団等と情報共有、点検を行う	•H28年度	R7年度	上記の共同訓練の際、地元水防団 に参加をいただき、情報共有を図っ ている。	6月の台風2号を受けて、被害箇所 の把握、庁内で情報共有を図った。	•	上記の共同訓練の際、地元水防団 に参加をいただき、情報共有を図っ ている。		環検を実施し、内水被 把握及び情報共有	•H28年度	•R7年度	・過去の台風等風水害災害時の被害状況を蓄積し、経験的に内水被害危険箇所が把握できるように、データベースを作成している。	0	・過去の台風等風水害災害時の被害状況を蓄積し、経験的に内水被害危険箇所が把握できるように、データベースを作成している。	0	・過去の台風等風水害災害時の 害状況を蓄積し、経験的に内水 害危険箇所が把握できるように データベースを作成している。
3重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを検討して ム	重要水防箇所の点検を実施	•	重要水防箇所の点検を実施	● ・重要水防箇所 共同点検を実	所・水防資機材等の 施。	•R3年度	•R7年度	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。		・重要水防箇所・水防資機材等 共同点検を実施。
が水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団員の募集、自主防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを検討して しく	・実施に向けた取り組みを検討して	Δ	・実施に向けた取り組みを検討して		事集、自主防災組織、 を促すための広報の	•R3年度	•R7年度	・水防団員の募集、自主防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施		・水防団員の募集、自主防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施		・水防団員の募集、自主防災組 企業等の参画を促すための広報 検討、実施
が 水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	·R7年度	多くの団員に水防訓練を経験させ る。	・R6年度水防訓練では、水防団員に加え、一般の避難者にも参加を促していく。	Δ	・水防訓練では、水防団員に加え、 一般の避難者にも参加を促してい く。	△・実践的な水阪	方訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	・実践的な水防訓練の検討、実施	•	・実践的な水防訓練の検討、実施	•	・実践的な水防訓練の検討、実
)水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実 施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 △	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・広域的、効率 施に向けた関	終的な水防活動の実 係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	・広域的、効率的な水防活動の実 施に向けた関係者との連携、協力	•	・広域的、効率的な水防活動の実 施に向けた関係者との連携、協力	$oxedsymbol{ullet}$	・広域的、効率的な水防活動の 施に向けた関係者との連携、協
族の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組 水計画(業)の作成及び排水訓練の実施												T.		T.		
) 決水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・計画策定の検討を行う	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 △	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・排水ポンプの 排水計画(案))設置箇所を選定した の作成	・H28年度	•R7年度	・計画策定までは至っていないが、 災害時には、関係各課と連携して、 水中ボンブの設置等の対応を行っ ている。	0	・計画策定までは至っていないが、 災害時には、関係各課と連携して、 水中ポンプの設置等の対応を行っ ている。	0	・計画策定までは至っていない。 災害時には、関係各課と連携し 水中ポンプの設置等の対応を行 ている。
!挟水訓練の実施	・計画に基づく排水訓練の実施を検 討	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 △	・令和6年度排水ポンプ車操作訓練を実施予定	Δ	・排水ポンプ車操作訓練を実施予定	△・防災訓練と合	行同で実施	•H30年度	•R7年度					
内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・計画策定の検討を行う	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 △	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・排水ポンプの 排水計画(案))設置箇所を選定した の作成	-H28年度	•R7年度	・作成に向け内部検討中	0	・作成に向け内部検討中	0	・作成に向け内部検討中
D排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを検討して ム	・実施に向けた取り組みを検討していく	Δ	・実施に向けた取り組みを検討していく	△・排水設備の耐	讨水化	•R3年度	•R7年度					
影排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを検討して	・実施に向けた取り組みを検討して	^	・実施に向けた取り組みを検討して	△・作成に必要な	はおり担併	•R3年度	•R7年度		1/			

(1)洪水(内容		H ‡															
(1)洪水(実施内容		<u>斯間</u> 完了	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	実施内容	実於 着手	<u>期間</u> 完了	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績 **
	乗の主な取組 Κを河川内で安全に流す対策																	
(2)侵	優先的に実施する堤防整備																	
ـُـلِك	優先的に実施する波浪対策																	
	危機管理型ハード対策																	
	推行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備 雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・																	
伝達	達するための基盤の整備	叶巛無値の併せ無理を掛合せて	1100年中		・防災行政無線、メルマカ、エリアテ	0	・防災行政無線、メルマカ、エリアテ	0	・防災行政無線、メルマガ、エリアテ									
② 	防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・防災無線の維持管理を徹底する ・防災対応型エリア放送の開始	•H28年度 •H28年度	•R7年度	レビ等の情報伝達方法の利便性を 向上,聞き逃し対策にフリーダイヤルの 周知 ・難視エリアの改善		レビ等の情報伝達方法の利便性を 向上間き逃し対策にフリーダイヤルの 周知 ・雑視エリアの改善		レビ等の情報伝達方法の利便性を 向上聞き逃し対策にフリーダイヤルの 周知 ・難視エリアの改善	•	・防災行政無線のデジタル化	・H29年度	•R4年度	・防災行政無線のデジタル化 ・戸別受信機の配布		・防災行政無線のデジタル化 ・戸別受信機の配布		・防災行政無線のデジタル化 ・戸別受信機の配布
③ 材 ^等	水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機 等の配備	・非常用電源車の検討 ・消防団の装備の基準改正に伴い 資機材の拡充を図る	•H29年度 •H29年度	R7年度	・計13台に1500W以上の給電機能公用車13整備済・装備を拡充	•	・計13台に1500W以上の給電機能 公用車13整備済 ・装備を拡充	•	・計13台に1500W以上の給電機能 公用車13整備済 ・装備を拡充	•	・水防団員の安全を確保するため の資機材の充実を図る	•H28年度	•R7年度	・デジタル簡易無線機を配備 ・自然水利を管理する分団に対し、 ライフジャケット(5枚)配布	•	・デジタル簡易無線機を配備 ・自然水利を管理する分団に対し、 ライフジャケット(5枚)配布	•	・デジタル簡易無線機を配備 ・自然水利を管理する分団に対し、 ライフジャケット(5枚)配布
4 #	簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・国や県が設置している既存の設備 を活用する	H29年度	R7年度							・POTEKAの設置・国や県が設置している既存の設備を活用する	H29年度	R7年度	・超高密度気象観測POTEKAを市内4カ所に設置	•	・超高密度気象観測POTEKAを市 内4カ所に設置	•	・超高密度気象観測POTEKAを市 内4カ所に設置
⑤河 備 Z	浸水時においても災害対応を継続するための施設の整 及び自家発電装置等の耐水化	・各庁舎は浸水想定区域外									・庁舎が浸水想定区域外であり対 象なし							
©#	内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	・資機材リース会社との災害応援協 定による対応	•H28年度	•R7年度	・台風接近時の溢水想定箇所に仮 設排水ポンプ設置を継続	0	・台風接近時の溢水想定箇所に仮 設排水ポンプ設置を継続	0	*日風度処時の温水芯足面所に収 設排水ポンプ設置を継続	0	・既設排水ポンプの点検及び新規 整備箇所の検討	•H28年度	•R7年度	・内部危険箇所の点検を実施	0	・内部危険箇所の点検を実施	0	・内部危険箇所の点検を実施
⑦重 重要	重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など 要施設の雨水排水整備の実施	・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度	・取組を継続	Δ	・取組を継続	Δ	・取組を継続	Δ	・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度	・要配慮者利用施設周辺の排水整備を検討する	Δ	・要配慮者利用施設周辺の排水整備を検討する	Δ	要配慮者利用施設周辺の排水整備を検討する
(8)	河川防災ステーションの整備																	
911	庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度	・統合庁舎建設の検討・協議	Δ	・統合庁舎建設の検討・協議	Δ	・統合庁舎建設の検討・協議	Δ	・防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	·R7年度	・機能性を有した防災拠点となる新庁舎建設の検討	Δ	・機能性を有した防災拠点となる新庁舎建設の検討	Δ	・機能性を有した防災拠点となる新庁舎建設の検討
事項	内容	実施内容	実施 	<u> </u>	行方市 R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	実施内容	実施 実施	<u> </u>	鉾田市 R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績 *
	の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な 成避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	避難行動のための取組																
	想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																	
	想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表 広域避難計画の策定	・協議会の中で広域避難計画(案)を検討する	・H29年度	R7年度	・広域避難は要しない	•	・広域避難は要しない	•	・広域避難は要しない	•	・協議会の中で広域避難計画(案) を策定する	・H29年度	R7年度	市内の避難施設で収容可能なため、広域避難は要しない。	•	市内の避難施設で収容可能なため、広域避難は要しない。	•	市内の避難施設で収容可能なため、広域避難は要しない。
4) II	広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難を反映した洪水 ハザードマップを策定する	•H29年度	R7年度	・広域避難なしのハザードマップの改定を実施	•	・広域避難なしのハザードマップの 改定を実施		・広域避難なしのハザードマップの 改定を実施	•	・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難を反映した洪水 ハザードマップを策定する	・H29年度	R7年度	・ハザードマップの更新準備 ※広域避難はなし ※令和5年度更新予定	0	・ハザードマップを改訂した ※広域避難はなし	•	・ハザードマップを改訂済。適宜修正。※広域避難はなし
\$	まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う	•H29年度	•R7年度	•取組を継続	Δ	・取組を継続	Δ	・取組を継続	Δ	・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う	・H29年度	•R4年度	要配慮者利用施設周辺の電柱に想定浸水深の標識を設置	•	要配慮者利用施設周辺の電柱に想 定浸水深の標識を設置		亜和南名利田佐弘田刀の南社に相
69	要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に 水害も対象として位置づけ、避難訓	•H29年度	R7年度	・R4年12月市内100%作成完了,今後は訓練支援を継続。 (浸水想定区域内対象18施設)	•	・避難計画は100%作成完了・継続的に訓練を支援	•	・避難計画は100%作成完了・継続的に訓練を支援	•	・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に 水害も対象として位置づけ、情報提	-H29年度	R7年度	避難確保計画は全施設策定済み (14施設)避難確保計画の随時改訂及び避	•	・避難確保計画は全施設策定済み (14施設) ・避難確保計画の随時改訂及び避	•	(14施設) ・避難確保計画の随時改訂及び避
⑦/地界	ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、 図情報の活用	練等を支援する					(浸水想定区域内対象18施設)		(浸水想定区域内対象18施設)		供及び避難訓練等を支援する			難訓練報告書提出の徹底を図る		難訓練報告書提出の徹底を図る		難訓練報告書提出の徹底を図る
(2) 避難	#指示の発令に着目したタイムラインの作成																	
	避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・策定済み	•H27年度	R7年度	・H27年度に完了、その後避難勧告 等の伝達基準変更に伴う改訂等を 実施。		・H27年度に完了, その後避難勧告 等の伝達基準変更に伴う改訂等を 実施。	•	・H27年度に完了、その後避難勧告 等の伝達基準変更に伴う改訂等を 実施。	•	・タイムラインの策定を行う	・H29年度	R7年度	作成済み。適宜修正。	•	作成済み。適宜修正。	•	作成済み。適宜修正。
	避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラ レの作成	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度	・防災アプリ・デジタルマイタイムラ インの周知	•	・防災アプリ・デジタルマイタイムラ インの周知		・防災アプリ・デジタルマイタイムラ インの周知	•	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度	・浸水想定区域内の地区に対し、地区回覧にてマイタイムラインのチラシを配布・防災アプリの周知を図る		・浸水想定区域内の地区に対し、地区回覧にてマイタイムラインのチラシを配布・防災アプリの周知を図る	•	
③ Ⅰ.	「マイ・タイムライン」作成講習の実施	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度	・自主防災組織役員・要配慮者利 用施設職員を対象としたマイタイム ライン作成講習会の実施。	•	・自主防災組織役員・要配慮者利 用施設職員を対象としたマイタイム ライン作成講習会の実施。		・R6.7月に自主防災組織役員・要配 慮者・消防団などを対象にマイタイ ムラインの講習会を実施。	•				・浸水想定区域内の区長を参集し、 マイタイムライン作成説明会を開催 する	0	・浸水想定区域内の区長を参集し、 マイタイムライン作成説明会を開催 する	0	- Pt ※ 到休味につてカフナニノン・ル
4 9	タイムラインに基づく実践的な訓練	・実践的な訓練を実施する	・H29年度	•R7年度	・想定訓練を検討	0	・想定訓練を検討	0	・想定訓練を検討	0	・ロールプレイング等の実践的な訓 練の実施する	・H29年度	•R7年度	・訓練内容等の検討 ※令和5年度実施予定	0	·訓練内容等の検討 ※令和6年度実施予定	0	・訓練内容等の検討
現象	気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の 象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実 」等の改善																	
イン	洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットランの構築)																	
	総教育や防災知識の普及水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・問い合わせ窓口を検討	•H28年度	R7年度	・建設部や関係各課と連絡を執って窓口を設置 ・HPの拡充(関係機関の情報をリンク)		・建設部や関係合味と建裕を執って窓口を設置・・HPの拡充(関係機関の情報をリンケン	•	・建設部や関係合味と建格を執って 窓口を設置 ・HPの拡充(関係機関の情報をリン	•	・問い合わせ窓口を設置する	•H28年度	R7年度	・総務課危機管理室を窓口とした。	•	・危機管理課を窓口とした。	•	・危機管理課を窓口とした。
(2) 1	水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・実施について検討	•H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを検討	0	・実施に向けた取り組みを検討	0	・実施に向けた取り組みを検討	0	・実施について検討する	・H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続 (H28常陸川水門現地見学会に参加) ・洪水浸水想定区域内の区長を対 かに野生ない。即14777706~4年数	Δ 0	・実施に向けた取り組みを継続 (H28常陸川水門現地見学会に参加) ・洪水浸水想定区域内の区長を対象に個別訪問を行い、防災に関す	0	・実施に向けた取り組みを継続 (H28常陸川水門現地見学会に参加) ・洪水浸水想定区域内の区長を対象に個別訪問を行い、防災に関す
3#	教員を対象とした講習会の実施	講習会等を検討	•H29年度	•R7年度	・講習会を検討	0	・講習会を検討	0	・講習会を検討	0	・実施について検討する	・H29年度	•R7年度	象に防災に関する研修会を実施 ・教員等へ講習会を検討	0	表取組み内容の説明を実施・教員等へ講習会を検討		る取組み内容の説明を実施 ・教員等へ講習会を検討
4 /J	小学生を対象とした防災教育の実施	・実施について検討	•H29年度	•R7年度	・学校単位の防災訓練を継続実施	0	・学校単位の防災訓練を継続実施	0	・11/19北浦小4年生を対象に防災 教室の実施。	0	・実施について検討する	·H29年度	·R7年度	・茨城県防災・危機管理課職員によるマイタイムライン講習会を市小学校にて実施する	0	・茨城県防災・危機管理課職員によるマイタイムライン講習会を市小学校にて実施する		・小学生を対象とした防災体験学習を実施する
⑤ 出	出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度							・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度	・茨城県の人形ロボット「ペッパー」 を活用した防災講座を市内小学校 にて実施する	0	・茨城県の人形ロボット「ペッパー」 を活用した防災講座を市内小学校 にて実施する	0	・茨城県のVRゴーグルを活用した 疑似災害体験を市内小学校にて実施する
⑥ ブ	ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	・情報入手方法などの周知	•H28年度	R7年度	・市報やチラシで実施	•	・市報やチラシで実施	•	・市報やチラシで実施	•	・情報入手方法などの周知	•H29年度	R7年度	・緊急速報メールを活用	•	・緊急速報メールを活用	•	・緊急速報メールを活用
7 7	水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・市HPの防災情報内で河川事務 所、川の防災情報等のリンクを作成	•H28年度	R7年度	・川の防災情報等のリンクを作成	•	・川の防災情報等のリンクを作成	•	・川の防災情報等のリンクを作成	•	・関係機関のリンクを貼るなど、ホームページなどに水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供する		R7年度	・川の防災情報等のリンクを作成	•	・川の防災情報等のリンクを作成	•	・川の防災情報等のリンクを作成
-	許可工作物管理者への防災教育の実施	・実施について検討	・H29年度	·R7年度	・河川管理者(国交省)との共同点検 等を利用し実施を検討	0	・河川管理者(国交省)との共同点検 等を利用し実施を検討		・河川管理者(国交省)との共同点検 等を利用し実施を検討	0	・国、県と連携し支援をする	•H28年度	•R7年度	・実施方法等について内部検討	0	・実施方法等について内部検討	0	・実施方法等について内部検討

				行方市								鉾田市				
内容	実施内容	実於 着手	施期間 完了	R4年度実績	R5年度実績	実施状態	R6年度実績	実施状	実施内容		短期間 完了	R4年度実績	実施状況	R5年度実績 **	R6年度実績	in a
対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間	の確保のための水防活動の取組			•								•			•	
より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化		1	1		I I		1	_	1	ı	1	ー*** カロ 笠 日 毎 v自 i 株 マ / ニ ' 夫 引 v 生 ナ		-*** カロ 燃 日 無 via + 後 マ / * ' 大利 via ナ	ずが有り毎日無倉機不足	- ' - - -
①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・これまでも伝達訓練を実施してい	・H28年度	•R7年度	・災害時優先携帯等を用い訓練を	・災害時優先携帯等を用い訓練を	0	・災害時優先携帯等を用い訓練を	0	・水防訓練に併せ伝達訓練を実施	・H29年度	•R7年度	・デジタル簡易無線機で伝達訓練を実施	0	・デジタル簡易無線機で伝達訓練を 実施	、 美施	
	ර	1120 172		実施	実施	-	実施		する	1120 1 12		・消防団が兼務しており、分団長と は日常からメール配信を実施	0	・消防団が兼務しており、分団長と 、 は日常からメール配信を実施	・消防団が兼務しており、 は日常からメール配信を	
	加土内泽后撒土和供口 マー・マ			・簡易無線機を各部に配備し、要領	・簡易無線機を各部に配備し、要領		・簡易無線機を各部に配備し、要領	Į								
②水防団同士の連絡体制の確保	·双方向通信機を配備し、マニュア ル作成済み	・H28年度	R7年度	を作成、配布済み ・LINEアプリによる情報伝達体制の	● を作成、配布済み ・LINEアプリによる情報伝達体制の	•	を作成、配布済み ・LINEアプリによる情報伝達体制の	, •	・連絡体制を確保する	•H28年度	R7年度	・デジタル簡易無線機を配備	•	・デジタル簡易無線機を配備	デジタル簡易無線機を	.2備
				整備	整備		整備									
1	・河川事務所が実施する重要水防			・水防訓練のほか、出水期前に水	・水防訓練のほか、出水期前に水		・水防訓練のほか、出水期前に水									
③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い	一河川争務所が美施9 る里姜水防 箇所等の共同点検に参加。【H28年	·H28年度	R7年度	防重点箇所の共同点検において, 行政区民,消防団員が参加(今年	防重点箇所の共同点検において, 行政区民,消防団員が参加(今年	•	防重点箇所の共同点検において, 行政区民,消防団員が参加(今年	•	・河川事務所が実施する重要水防	•H28年度	•R7年度	・河川事務所が実施する共同点検	•	・河川事務所が実施する共同点検	・河川事務所が実施する	
区間の共同点検	度~】			度は新型コロナウイルス感染症対	度は新型コロナウイルス感染症対		度は新型コロナウイルス感染症対		箇所等の共同点検に参加する			に地元区長及び消防団が参加		に地元区長及び消防団が参加	に地元区長及び消防団か	小参加
				策によりなし。)	策によりなし。)		策によりなし。)									
	・利根川水系連合水防演習に参加	·H29年度		・実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・利根川水系連合水防演習に参加							
④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	する ・水防訓練の実施	·H29年度	•R7年度	消防夏季訓練の際に水防訓練を	・消防夏季訓練の際に水防訓練を		消防夏季訓練の際に水防訓練を		する	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	・実施に向けた取り組みを	上継続
	バ (の) 回順本の 大 (地	1120年及		実施	実施	\perp	実施									
⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を	・募集を検討	·H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	実施に向けた取り組みを継続	0	・実施に向けた取り組みを継続	0	・広報誌やホームページ等で募集し	·H29年度	•R7年度	・広報誌やホームページ等で募集	0		・広報誌やホームページ	等で募
促進	27.77			・広報誌やHPなどによる募集	・広報誌やHPなどによる募集		・広報誌やHPなどによる募集		ていく			・消防団員による勧誘	0	・消防団員による勧誘	・消防団員による勧誘	
⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・実施を検討	·H28年度	R7年度	・災害時における資機材のリース協	・災害時における資機材のリース†	勃	・災害時における資機材のリース協	3	災害協定締結済み	•H19年度	R7年度	災害協定締結済み		・災害協定締結済み (災害協定締結済み	
②地域の建設未省による小削又放件可の検討・特末	大心で快到	- 1120年及	八千及	定や市内建設業者と連携済み	定や市内建設業者と連携済み	•	定や市内建設業者と連携済み		- 火日 励足师相冯07	-1194及	八十及	火 日 励 足 柳 柏 冯 07	•	- 火台励足标和冯07	- 火台 励足师帕冯仍	
	Water 1 1 to 11 to 12 to								・水防団等と情報共有、点検に努め			・河川事務所が実施する共同点検		・河川事務所が実施する共同点検	河川事務所が実施する	井同島
⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・消防団と情報共有、点検を行う	•H28年度	•R7年度	・台風まえに消防団等と点検を実施	○ ・台風まえに消防団等と点検を実力	色 〇	・台風まえに消防団等と点検を実施	ē O	8	•H28年度	R7年度	に地元区長及び消防団が参加	•	に地元区長及び消防団が参加	に地元区長及び消防団か	
												・新庁舎建設に併せ、水防資機材を		・新庁舎建設に併せ、水防資機材を	・新庁舎建設に併せ、水阪	坊資根
⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	重要水防箇所・水防資機材等の	•R3年度	•R7年度	・水防資機材の配備・更新を実施す	・水防資機材の配備・更新を実施・	* o	・水防資機材の配備・更新を実施す	0	・重要水防箇所・水防資機材等の	•R3年度	•R7年度	集約できる倉庫建設を検討	Δ	集約できる倉庫建設を検討 "	集約できる倉庫建設を検	
	共同点検を実施。			්	్ ఫం	-	ీ		共同点検を実施。	, , , , ,		・先進事例を参考に水防資機材の 配備を検討する	Δ	・先進事例を参考に水防資機材の 配備を検討する	・先進事例を参考に水防配備を検討する	負機和
	・水防団貝の募集、目土防災組織、 企業等の参画を促すための広報の			・広報誌やHPなどによる消防団員	・広報誌やHPなどによる消防団員		・広報誌やHPなどによる消防団員		・水防団貝の募集、目土防災組織、 企業等の参画を促すための広報の			・広報誌やホームページ等で募集	_	・広報誌やホームページ等で募集) ・広報誌やホームページ等	生っさ
⑨水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	検討、実施	•R3年度	•R7年度	の募集	の募集	0	の募集	0	世来等の多画を促りための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度	・消防団員による勧誘	0) ・消防団員による勧誘	年で多
					A	- ^		. ^								
⑩水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	・消防団で実施している水防訓練の 内容検討	→ 当時団で実施している水防訓練の 内容検討	ח –	・消防団で実施している水防訓練の内容検討	7	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	・訓練方法等の内部検討	Δ	・訓練方法等の内部検討	訓練方法等の内部検討	į.
			+	771 (24)	772 (20)		7.0 (20)							ル	加州明マ中ヤナムフ列が	± =#
	文材的 杂布的人小叶江畔 の中								大好处 范密处约业财还联办 中			小米目で中女と4.7割は「井四人		・他機関で実施される訓練、講習会 等に参加し、連携強化を図る) ・他機関で実施される訓練 等に参加し、連携強化を	
⑪水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	・実施内容の検討	△・実施内容の検討	Δ	・実施内容の検討	Δ	・広域的、効率的な水防活動の実 施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	・他機関で実施される訓練、講習会等に参加し、連携強化を図る	0	・他機関等が所有する特殊車両を	・他機関等が所有する特別	
														用いた支援体制の明確化及び強化 ` を図る	プロスタイプ 用いた支援体制の明確化 を図る	.及ひ
策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活	動の回復を可能とするための排水活動の取組		•	•	•		•		•	•	•				•	_
非水計画(案)の作成及び排水訓練の実施	・建設部や関係機関と協議し排水ポ	ı	1	・建設部や消防団と協議し、排水ポ	・建設部や消防団と協議し、排水が	LO .	建設部や消防団と協議し、排水ボ	2			1					
①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検 討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成		・H28年度	•R7年度	ンプ設置箇所を選定済み。排水計	〇 ンプ設置箇所を選定済み。排水計		ンプ設置箇所を選定済み。排水計	` o	・排水ポンプの設置箇所の選定ま で行った排水計画(案)を作成する	・H29年度	•R7年度	・機場管理者との情報共有、排水計画の検討	0	・機場管理者との情報共有、排水計 画の検討	機場管理者との情報共享画の検討	有、排
nと 10 ℃ 人の表示 日と心足した所が 1 回 (未/の) F/の	排水計画(案)を作成			画(案)の作成に向けた検討を実施	画(案)の作成に向けた検討を実施	t.	画(案)の作成に向けた検討を実施	i	C1Jつに排水計画(来/をTF成9つ			回の検討		回の検討	回の検討	
②排水訓練の実施	・防災訓練等で実施	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	・実施に向けた取り組みを継続	_	・実施に向けた取り組みを継続		・防災訓練と合同で実施する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取組を継続	^	・実施に向けた取組を継続	・実施に向けた取組を継ん	維
\&/37/1\\@\ 市本マノ大郎	例次副継守で大肥	1123十段	八十段		<u> </u>				例次訓練とロ回じ大肥する	1123十茂	八十段	大川町 三円丁 / / 二八八八八十八十八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八		大川田1年月1月1日4以下日で 単色利に	大心に明けた収組を軽視	л
	・建設部や関係機関と協議し排水ポ			県河川管理者と協議の上、排水計	・県河川管理者と協議の上、排水		・県河川管理者と協議の上、排水部		・排水ポンプ等の設置箇所の選定							
③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	ンプ設置箇所の選定までを行った	・H28年度	•R7年度	画の検討を実施	○ 画の検討を実施	0	画の検討を実施	0	まで行った排水計画(案)の作成	·H29年度	•R7年度	・排水計画(案)について内部検討	0	・排水計画(案)について内部検討 (・排水計画(案)について内]部検
	排水計画(案)を作成			・土地改良区と連携継続	・土地改良区と連携継続	-	・土地改良区と連携継続	+			1					
④排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度	・段階的な耐水化対策を検討する	Δ	・段階的な耐水化対策を検討する	・段階的な耐水化対策を	倹討す
**************************************	たさに立事が持むの担供	D0/F #	D2/F #	・実施に向けた取り組みを継続	・実施に向けた取り組みを継続	1	実施に向けた取り組みを継続	_	たさに公布を持むの担告	D0/F #	D7.F.F.	ツ亜もはおの数理		シ 亜 5 棒 和 5 整 理	ツ亜な緑和の軟型	
⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	•R3年度	•R7年度		Δ	Δ			・作成に必要な情報の提供	•R3年度	•R7年度	・必要な情報の整理	Δ	・必要な情報の整理	△ ・必要な情報の整理	

					小美玉市						1			美浦村					
項事項	内容	実施内容		施期間 完了	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	奥施状况	R6年度実績	実施状況	実施内容		期間 完了	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状
	策の主な取組 水を河川内で安全に流す対策																		
(1)	一般																		
				-															
	②優先的に実施する波浪対策																		
1 I L	③危機管理型ハード対策 難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																		
] 雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・ 伝達するための基盤の整備																		
1 1	4年 7 のにのの公面の正明																		
	②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・防災行政無線のデジタル放送への移行・戸別受信機全戸配布済み	•H29年度 •H28年度	•R7年度	・機器のデジタル対応完了・転入者への設置		機器のデジタル対応完了転入者への設置		・機器のデジタル対応完了・転入者への設置	0	・H30年度以降を目標に防災行政無線(同報系)の設置を検討している	・H30年度	·R7年度	防災行政無線の管理運用	•	防災行政無線の更新を行った	•	防災行政無線の管理運用	•
(の水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機 才等の配備	・資機材の充実の検討	•H28年度	•R7年度	・消防団にライフジャケットを配備 (H28)		消防団にライフジャケットを配備 (H28)	0	・消防団にライフジャケットを配備 (H28)	0	・水防団員の安全を確保するため の資機材の充実を検討する	•H28年度	R7年度	・水防団資機材の管理運用	•	・水防団資機材の管理運用	•	・水防団資機材の管理運用	•
	D簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・カメラを設置する	・H29年度	•R7年度	・国や県が設置している既存の設備を活用する	• ·	・国や県が設置している既存の設備 を活用する	•	・国や県が設置している既存の設備 を活用する	•	・用水路(高橋川)が氾濫し、浸水する地域に監視カメラを設置する	・H28年度	R7年度	・監視カメラの管理運用	•	・監視カメラの管理運用	•	・監視カメラの管理運用	•
1	5)浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・庁舎が浸水想定区域外のため対 象無し									・庁舎が浸水想定区域外								
	の内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	県警と協力しマップ作成中	・H28年度	•R7年度	・災害協定に基づき、内水氾濫時に 必要に応じ排水ポンプの提供を依	● ½	災害協定に基づき、内水氾濫時に 必要に応じ排水ポンプの提供を依	•	・災害協定に基づき、内水氾濫時に 必要に応じ排水ポンプの提供を依	•	・用水路(高橋川)が氾濫し、浸水す る地域の対策を検討	・H28年度	R7年度	・設置済みの土のうステーションの 点検及び交換を実施	•	・設置済みの土のうステーションの 点検及び交換を実施	•	・設置済みの土のうステーションの 点検及び交換を実施	•
(①重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など 直要施設の雨水排水整備の実施	重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度	頼する。 ・市役所庁舎の雨水排水整備対応 ※		順する。 市役所庁舎の雨水排水整備対応 **		頼する。	•	・重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度	・役場庁舎等重要施設の雨水排水整備の実施に向けた取り組みを継	Δ	・役場庁舎等重要施設の雨水排水整備の実施に向けた取り組みを継		・役場庁舎等重要施設の雨水排水整備の実施に向けた取り組みを継	Δ
	③河川防災ステーションの整備				<i>/</i> /		^		<i>7</i> 7					続		続		続	
	3河川防災ステーションの金嶋	. 叶巛加上の原示社等 巛宝社等			. 白壳及垂乳准 無傾乳准五式体		白宝及贡引进 無領訊供及び条		. 白宝&電訊供 無領訊供取び係		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			・防災拠点の停電対策、災害対策		・防災拠点の停電対策、災害対策		防災拠点の停電対策、災害対策	
(の庁舎等の防災拠点の強化	・防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度	・自家発電設備、無線設備及び衛 星電話整備済		· 自家発電設備、無線設備及び衛星電話整備済	•	・自家発電設備、無線設備及び衛 星電話整備済	•	・防災拠点の停電対策、災害対策 用通信機器の増強等	•R3年度	•R7年度	用通信機器の増強等に向けた取り 組みを継続	Δ	用通信機器の増強等に向けた取り 組みを継続	Δ	用通信機器の増強等に向けた取り 組みを継続	Δ
項事				E-+0.88	小美玉市		1						### BB	美浦村		1			
目項	内容	実施内容	美质 着手	<u>色期間</u> ┃ 完了	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	美施状况	R6年度実績	実施状況	実施内容		<u>期间</u> 完了	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状态
	策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な		, <u>, , , , , , , , , , , , , , , , , , </u>		•		_	,			•		70.	•					
(1)12	域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等)想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																		
	②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表																		
	③広域避難計画の策定	・協議会の中で広域避難計画(案) を策定する	•H28年度	•R7年度	・市内の避難施設で収容可能なた め、広域避難は要しない。	• 8	市内の避難施設で収容可能なため、広域避難は要しない。	•	・市内の避難施設で収容可能なた め、広域避難は要しない。	•	・協議会の中で広域避難計画(案) を策定する	•H28年度	·R7年度	・稲敷広域消防本部圏内市町村広 域避難計画(個別計画)の策定に向 け内部検討	0	 ・稲敷広域消防本部圏内市町村広域避難計画(個別計画)の策定に向け内部検討 		・稲敷広域消防本部圏内市町村広 域避難計画(個別計画)の策定に向 け内部検討	0
(①広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難を反映した洪水 ハザードマップを策定する	•H28年度	•R7年度	・霞ヶ浦の想定最大規模降雨における洪水を対象に、洪水ハザードマップの策定した(広域避難は考慮した)	_ (:	霞ヶ浦の想定最大規模降雨にお ける洪水を対象に、洪水ハザード マップの策定した(広域避難は考慮 ない)	_	・霞ヶ浦の想定最大規模降雨における洪水を対象に、洪水ハザードマップの策定した(広域避難は考慮しない)	•	・想定最大規模降雨における洪水 を対象に、広域避難を反映した洪水 ハザードマップを策定する	·H30年度	•R7年度	・策定に向けて内部検討	0	・策定に向けて内部検討	0	・策定に向けて内部検討	0
	りまるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う。	•H28年度	•R7年度	・実施に向けた取組を継続	Δ.	実施に向けた取組を継続	Δ	・実施に向けた取組を継続	Δ	・洪水浸水総地図の公表後、設置に向けた検討を行う。	•H30年度	•R7年度	- 設置に向けて内部検討	0	- 設置に向けて内部検討	0	・設置に向けて内部検討	0
		・要配慮者利用施設において策定している避難計画の策定計画の中に 水害も対象として位置づけ、情報提供及び避難訓練等を支援する。	•H29年度	•R7年度	・水害ハザードマップ内の要配慮者施設の避難計画作成済・避難訓練等の実施支援	h	他設の避難計画作成済	•	・水害ハザードマップ内の要配慮者施設の避難計画作成済・避難訓練等の実施支援	•	・要配慮者利用施設が浸水想定区 域外。								
	シハザードマップボータルサイトを活用した周知サポート、 包図情報の活用	【H29年度~】																	
L	難指示の発令に着目したタイムラインの作成																		
l																			$\overline{}$
	D避難指示の発令に着目したタイムラインの作成	・タイムラインの策定を行う	•H29年度	•R7年度	・タイムラインを策定	•	タイムラインを策定	•	・タイムラインを策定	•	・タイムラインの策定を行う	•H28年度	•R7年度	・策定に向けて内部検討	0	・策定に向けて内部検討	0	・策定に向けて内部検討	0
	②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムランの作成	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度	・広報誌にマイ・タイムラインの広告 を掲載した。		広報誌にマイ・タイムラインの広告 を掲載した。	•	・広報誌にマイ・タイムラインの広告 を掲載した。	•	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度	村のホームページや広報紙にマイ・ タイムラインに関する情報を掲載	•	村のホームページや広報紙にマイ・ タイムラインに関する情報を掲載	•	マイタイムラインの全戸配布を実施	•
	8)「マイ・タイムライン」作成講習の実施	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R4年度	•R7年度	・小学校における防災講習内にて 実施	● i.	小学校における防災講習内にて 実施	•	・洪水ハザード地区を対象とした避 難訓練内にて実施	•	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度	・実施方法について内部検討	0	・実施方法について内部検討	0	浸水想定避難訓練時に実施	•
(Dタイムラインに基づく実践的な訓練	・ロールプレイング等の実践的な訓練の実施する	・H29年度	•R7年度	・訓練方法について内部検討	0 .	訓練方法について内部検討	0	・訓練方法について内部検討	0	・ロールプレイング等の実践的な訓 練の検討	・H28年度	•R7年度	・訓練方法について内部検討	0	・訓練方法について内部検討	0	避難訓練等での実施を検討中	0
	う気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の 見象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実 と」等の改善																		
	が 送洗水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラ (ンの構築)																		
(3)防	災教育や防災知識の普及	1		T		 	T								1				_
)水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・設置について検討する	•H28年度	•R7年度	・窓口を一本化している	•	窓口を一本化している	•	・窓口を一本化している	•	・設置について検討する	·H29年度	•R7年度	・窓口を一本化している	•	・窓口を一本化している	•	・窓口を一本化している	•
(②水防災に関する説明会の開催・広報の実施	・水防訓練を五月に実施	•H28年度	•R7年度	・浸水想定域のある行政区の区長 と水位警報装置の点検を実施した。	٠.	浸水想定域のある行政区の区長 と水位警報装置の点検を実施した。	•	・浸水想定域のある行政区の区長 と水位警報装置の点検を実施した。	•	・実施について検討する	•H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ
		・毎年実施する総合防災訓練時に教育	1100年度	D7/F #F	・教育委員会と実施について検討す	0 -	教育委員会と実施について検討す	0	・教育委員会と実施について検討す	_	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								
	3教員を対象とした講習会の実施	施設を避難場所に指定し、実施を検討		•R7年度	る・防災備蓄啓発のためのチラシを配	િં	る 防災備蓄啓発のためのチラシを配	0	る・防災備蓄啓発のためのチラシを配	-	・小中学校が浸水想定区域外								
		毎年実施する総合防災訓練時に 教育施設を避難場所に指定し、実 施を検討	•H28年度	•R7年度	布した。 ・小学性の一部において防災講習 を実施	4	新した。	•	布した。 ・小学校の一部において防災講習 を実施	•	・実施について検討する	・H29年度	R7年度	・新型コロナ感染拡大により未実施	0	村内小学校にて防災学習を実施	0	村内小学校にて防災授業を実施	•
	の出前講座等を活用した講習会の実施	・出前講座等を活用した講習会の実施	•H28年度	•R7年度	・実施について内部で検討した。		実施について内部で検討した。		・実施について内部で検討した。	•	・出前講座等を活用した講習会の実施	H28年度	•R7年度	・講習会実施に向けて内部検討	0	・講習会実施に向けて内部検討		・講習会実施に向けて内部検討	0
	⑤ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	•検討中	•H28年度	•R7年度	・防災行政無線、エリアメールのほかに ヤフ一株式会社と災害協定を締結し、 プッシュ型情報発信の強化を図った	• +	防災行政無線、エリアメールのほかにヤフー株式会社と災害協定を締結し、 プッシュ型情報発信の強化を図った	•	・防災行政無線、エリアメールのほかに ヤフー株式会社と災害協定を締結し、 プッシュ型情報発信の強化を図った	•	・情報入手方法などの周知を検討 する	・H28年度	•R7年度	・防災行政無線、防災メール、ツイッター、ホームページ等による情報発信	•	・防災行政無線、防災メール、ツイッター、ホームページ等による情報発信	•	・防災行政無線、防災メール、各種 SNS、ホームページ等による情報発信	•
	の水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供	・関係機関などのリンクをホーム ページに記載する	•H28年度	•R7年度	・川の防災情報・水位情報等へのリンクを作成		・川の防災情報・水位情報等へのリ ンクを作成	•	・川の防災情報・水位情報等へのリンクを作成	•	・村の防災Webにて、川の防災情報 等のリンクを付し、情報提供を行う	•H28年度	R7年度	・村の防災Webにて、川の防災情報 等のリンクを付し、情報提供を行った		・村の防災Webにて、川の防災情報 等のリンクを付し、情報提供を行った	•	・村の防災Webにて、川の防災情報等のリンクを付し、情報提供を行った た・ライブカメラによる河川状況のリア	•
1 -	②許可工作物管理者への防災教育の実施	検討する	-H28年度	•R7年度	・実施内容について内部検討	0.	実施内容について内部検討	0	・実施内容について内部検討	0	検討する	·H29年度	-R7年度	・実施方法等について内部検討	0	・実施方法等について内部検討	0	ルタイム配信を実施 ・実施方法等について内部検討	0

大田の中の大田の中の大田の中の大田の中の大田の中の大田の中の大田の中の大田の中	*				小美玉市									美浦村				
	Д			ミ施期間 完了	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	実施内容	<u>実施</u> 着手	期間 完了	R4年度実績	^{実施状況} R5年度実績 ^{実施}	i状况	R6年度実績	実施状況
1985年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の		間(_		
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日		・水防訓練時に実施	・H28年度	•R7年度	・連絡体制の再確認を実施	0	・連絡体制の再確認を実施	0	・連絡体制の再確認を実施	0	・既に、村の防災訓練に併せ伝達 訓練を実施している	・H28年度	•R7年度	・新型コロナ感染拡大により未実施				•
	②水防団同士の連絡体制の確保	・検討する	•H28年度	R7年度	連絡体制は確保されている	•	連絡体制は確保されている	•	連絡体制は確保されている	•	・連絡体制確保の検討	・H28年度	R7年度		● ・消防車両に無線機及び小型無線 機を配備	・消防 機を配	;車両に無線機及び小型無線 記備	•
「日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	③水筋団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い 区間の共同点検	・河川事務所が実施する共同点検 に消防団等とともに参加	•H28年度	•R7年度	・消防、消防団と自主点検を実施した。	•	・消防、消防団と自主点検を実施した。	•	・消防、消防団と自主点検を実施した。	•	・河川事務所が実施する重要水防 箇所等の共同点検に参加する	•H28年度	•R7年度			つ ・河川に参加	事務所が実施する合同点検 加	•
日本の日本語の大型を表現しました。	④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・水防訓練を5月に実施	•H28年度	•R7年度	・消防、消防団と共同で実施した。	•	・消防、消防団と共同で実施した。	•	・消防、消防団と共同で実施した。	•		•H28年度	•R7年度		・稲敷市、阿見町、美浦村の3市町 村で合同の水防訓練を実施	・稲敷村で合	ででは、 では、阿見町、美浦村の3市町 合同の水防訓練を実施	•
1.0 1.	⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を 促進	・自主防災組織の活動促進	•H28年度	•R7年度	・広報誌やホームページで水防団を 兼務する消防団員の募集を行った	•	・広報誌やホームページで水防団を 兼務する消防団員の募集を行った	•	・ホームページで水防団を兼務する 消防団員の募集を行った	•	・広報誌やホームページ等で募集を 検討する	・H29年度	•R7年度					С
	⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・検討する	•H28年度	•R7年度	・建設業協会と災害協定を締結している	•	・建設業協会と災害協定を締結している	•	・建設業協会と災害協定を締結している	•	・実施を検討する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた内部検討	〇・実施に向けた内部検討 () ・実施	に向けた内部検討	C
大川 大川 大川 大川 大川 大川 大川 大川	⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・水防団等と情報共有、点検に努める	・H28年度	•R7年度		•		•		•	·水防団等と情報共有及び点検等 の検討	・H28年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	○ ・実施に向けた取り組みを継続 ○	·実施	iに向けた取り組みを継続	(
京本的に関する店舗の実実 (水の母園を関すための広報の 投出車度 小口母	⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	・消防、消防団と自主点検を実施した。	•	・消防、消防団と自主点検を実施した。	•		•		•R3年度	•R7年度	・実施に向けて内部検討	〇・実施に向けて内部検討 () ・実施	に向けて内部検討	С
小水筋原体色質での連集、協力に関する検針 小水角度 ・水角度 ・水角	⑤水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	企業等の参画を促すための広報の	•R3年度	•R7年度			・広報誌やホームページで水防団を 兼務する消防団員の募集を行った	•	・ホームページで水防団を兼務する 消防団員の募集を行った	•	企業等の参画を促すための広報の	•R3年度	•R7年度	・実施に向けて内部検討	〇・実施に向けて内部検討 (つ ・実施	に向けて内部検討	C
旅に向けた関係者との連携、協力 R3年度 R7年度 R	⑩水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	・実施内容について内部検討中	0	・実施内容について内部検討中	0	・実施内容について内部検討中	0	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	・実施に向けて内部検討	〇 ・実施に向けて内部検討) ・実施	』に向けて内部検討	C
排水機場等の所在地の確認、管理者の調査を実施した。	①水防関係者間での連携、協力に関する検討		•R3年度	•R7年度	・実施内容について内部検討中	0	・実施内容について内部検討中	0	・実施内容について内部検討中	0		•R3年度	•R7年度	・実施に向けて内部検討	〇 ・実施に向けて内部検討) ・実施	ぶ向けて内部検討	С
対象を表にした。	- ト対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活 1)排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施	動						1				I	L					_
③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成 ・検討する ・H28年度 ・R7年度 ・計画策定を検討中 ○ ・計画策定を検討中 ○ ・計画策定を検討中 ○ ・計画策定を検討中 ○ ・計画作成に向けた取り組みを継続 △ ・計画作成に向けた取り組みを継続 △ ・計画作成に向けた取り組みを継続 △ ・計画作成に向けた取り組みを継続 △ ・計画作成に向けた取り組みを継続 △ ・計画作成に向けた取り組みを継続 △ ・ 実施に向けた取り組みを継続 ○ ・ 実施に向けた取り組みを継続 </td <td></td> <td>・関係機関との排水施設の情報共 有</td> <td>•H28年度</td> <td>•R7年度</td> <td></td> <td>0</td> <td>・排水機場等の所在地の確認、管理者の調査を実施した。</td> <td>0</td> <td></td> <td>0</td> <td>・排水施設等が無いが、検討する</td> <td>・H30年度</td> <td>•R7年度</td> <td>・計画作成に向けた取り組みを継続</td> <td>△ ・計画作成に向けた取り組みを継続 ∠</td> <td>△ ・計画</td> <td>-]作成に向けた取り組みを継続</td> <td></td>		・関係機関との排水施設の情報共 有	•H28年度	•R7年度		0	・排水機場等の所在地の確認、管理者の調査を実施した。	0		0	・排水施設等が無いが、検討する	・H30年度	•R7年度	・計画作成に向けた取り組みを継続	△ ・計画作成に向けた取り組みを継続 ∠	△ ・計画	-]作成に向けた取り組みを継続	
②排水設備の耐水化 ・排水設備の耐水化 ・R3年度 ・R7年度 ・検討中 ○ ・検討中 ○ ・排水設備の耐水化 ・R3年度 ・R7年度 ・実施に向けた取り組みを継続 △ ・実施に向けた取り組みを継続 △ ・実施に向けた取り組みを継続	②排水訓練の実施	・防災訓練での実施を検討	•H28年度	•R7年度	・実施に向けた取組を継続	Δ	・実施に向けた取組を継続	Δ	・実施に向けた取組を継続	Δ	・村の防災訓練と合同で実施するよう検討する	・H30年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△ -実施に向けた取り組みを継続 ∠	△ ・実施	ごに向けた取り組みを継続	Δ
	③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	検討する	•H28年度	•R7年度	・計画策定を検討中	0	・ 計画策定を検討中	0	・計画策定を検討中	0	- ・検討する	・H30年度	•R7年度	・計画作成に向けた取り組みを継続	△ ・計画作成に向けた取り組みを継続 ∠	直信・ と]作成に向けた取り組みを継続	_
⑤排水準備計画の作成 ・作成に必要な情報の提供 ・R3年度 ・R7年度 ・検討中 ○ ・実施に向けた取り組みを継続 ○ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	④排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度	•検討中	0	•検討中	0	•検討中	0	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続 ∠	△・実施	言に向けた取り組みを継続	Δ
	⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	•R3年度	•R7年度	•検討中	0	•検討中	0	•検討中	0	・作成に必要な情報の提供	·R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	△ ・実施に向けた取り組みを継続 ∠	△ ・実施	に向けた取り組みを継続	Δ

The production of the product of	** 特になし メラー基、簡易水位計一基 ○ 監視カメラー基、簡易水化設置 **:L × 特になし **:L × 特になし
日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	が、
日本の主意の主張の表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表	が、
전문	が、
日本語の中央に関する場合のできます。	が、
### 1995年1997年1998年2日	が、
##25. 報意でからからでは ##25. 報意ですりからでは ##25. 報意ですりからですりからでは ##25. 報意ですりからですりからでは ##25. 報意ですりからですりからでは ##25. 報意ですりからですりからですりからですりからですりからですりからですりからですりから	が、
100mm	が、
2000年の日本の日本の大学の中である。	が、
### 15	メラー基、簡易水位計一基 ○ 監視カメラー基、簡易水化 設置 にし × 特になし にし × 特になし
### 100mm	U × 特になし × 特になし
会外系書表書題所の呼吸、発表しつの重要 会外の表書を使用の原文、発表しつの音楽を表現の を対しているの意味を表現を表現している事業所の を対しているの意味を表現を表現している事業所の を対しているの意味を表現を表現している事業所の を対しているの意味を表現を表現している事業所の を対しているの意味を表現を表現している事業所の ので、実施内容を表現している事業所の ので、実施内容を表現している。 では、おおしているの意味を表現している。 では、おおしているの意味を表現している。 では、おおしているの意味を表現している。 では、おおしているの意味を表現している。 では、おおしているの意味を表現している。 では、おおしているの意味を表現している。 では、おおしているの意味を表現している。 では、おおしているの意味を表現している。 では、おおしているの意味を表現している。 では、おおしている。 では、おもしている。 では、いるでは、まましている。 では、いるでも、ままとでき、ままとでき、ままとでいる。 では、いるでも、ままとでいる。 では、いるでは、これでいる。 では、これでも、ままとでいる。 では、いるでは、ままとでいる。 では、いるでは、これでいる。 では、これでは、ままとでいる。 では、いるでは、ままとでいる。 では、いるでは、ままとでいる。 では、いるでは、ままとでいる。 では、いるでは、これでいる。 では、いるでは、これでいる。 では、いるでは、これでいる。 では、いるでは、これでいる。 では、いるでは、これでいる。 では、いるでは、これでいる。 では、いるでは、これでいる。 では、いるでは、これでいる。 では、いるでは、これでいる。 では、いるでは、これでいる。 では、いるでは、これでいる。 では、いるでは、これでいる。 では、いるでは、これでいる。 では、いるでは、これでいる。 では、いるでは、いるでは、これでいる。 では、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いるでは、いる	ン × 特になし
## 100 1	ン × 特になし
参照的意文子・シンの音樂	
おきゅうの大変を介着したいかードックプの行政・大統領を対しています。	☆ 内部検討中
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
項目を実施内容 実施内容 実施内容 実施内容 実施別間 R4年度実績 sazs R5年度実績 sazs R6年度実績 sazs R6年度実績 sazs R6年度実績 sazs R6年度実績 sazs R6年度実績 sazs 実施内容 実施内容 実施内容 実施内容 実施内容 実施内容 また R4年度実績 sazs R6年度実績 sazs R6	
大型の主点数値 当年数本で印に向けた過去物・物質と繋射性物のための薄色 大型の主点数値 129年度	
① 近年度時後の流水が中下マップの作成 原知等 ② ② ② ② ② ② ② ② ②	R5年度実績 R6年度実績
②応度避妊娠時期によら氾濫シュミュレーションの含素 「位置会の中で、広域避難計画の策定 「位置会の中で、広域避難計画で変換、広域避難 「共28年度 「R7年度 「広域避難計画策定像、広域避難 「成域避難計画策定像、広域避難 「成域避難計画策定像、広域避難 を考慮したハザードマップの作成・周知等 「検討する」 「洪水浸水憩定区域が掲載されて しる防災ハンドブックを作成、配布 京	
・協議会の中で、広域避難計画 (紫)を策定する ・R7年度 ・応域避難は要しない ■ ・広域避難は要しない ■ ・広域避難は要しない ■ ・「成域避難は要しない ■ ・「開接市町村との協定締結 ・H28年度 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
3広域避難計画の策定 (業)を策定する 128年度 177年度 177	
おっぱ 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	●締結済
⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充	・ドマップ・防災ガイドマップの よび配布済み ・バザードマップ・防災ガイ 作成及び配布済み
施 施	f
地図情報の活用	の避難確保計画を改正。 △ 洪水時の避難確保計画を
① 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成 ・タイムラインを策定する ・H28年度 R7年度 ・タイムラインを策定する ○ ・タイムラインを策定する ○ ・タイムラインを策定する ○ ・タイムラインを策定する ○ ・タイムラインを策定する ○ ・チェックリストの作成 ・H28年度 R2年度 ・チェックリスト作成済み ● 作成済み	l I
	fみ 作成済み
②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成の促進 ・R3年度 ・R7年度 ・マイ・タイムラインの作成の促進 ・R3年度 ・R7年度 ・マイ・タイムラインの作成の促進 ・R3年度 ・R7年度 広報にて周知 ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	成タイムラインを各戸配布・ イドブックに掲載あり・県作成タイムラインを各 防災ガイドブックに掲載あ
プロ記載ページの9 プロ記載ページの9	生、自主防災組織での講習 ・小学生、自主防災組織
一大人のアンド語 大人のアンド語 アンド語 大人のアンド語 大人の子のアンド語 大人のアンド語 大人	「総合防災訓練(広域避難)を (住民参加型) ● 河内町総合防災訓練(広 実施。(住民参加型)
⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の 現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実 化」等の改善	
⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラインの構築)	
(3) 防災教育や防災知識の普及 ①水災害に事前準備に関する間い合わせ窓口の設置 ・設置について検討する ・ H28年度 R7年度 ・ 設置について検討する Δ ・ 設置について検討する ・ H31年度 R2年度 総務課で対応している Φ 対応窓口設	《口設置済 → 対応窓口設置済
②水防災に関する説明会の開催・広報の実施 ・実施について検討する ・H28年度 ・R7年度 ・実施について検討する Δ・実施について検討する Δ・実施について検討する Δ・実施について検討する Δ・実施について検討する Δ・関催について検討する ・H28年度 ・R7年度 実施に向けた取り組みを継続 Δ ・自主防、小施。	防、小学生に出前講座を実 ・自主防、小学生に出前 施。
3数員を対象とした講習会の実施 ・教育委員会と連携して検討してい	計中 △ 内部検討中
3山前講座等を活用した講習会の実施	生に防災講話、マイタイムラ ・小学生に防災講話、マイ 作成を実施。 ・小学生に防災講話、マイ
ムノインJ下R、網白云で夫地 ・町総合防災	作成を実施。 インの作成を実施。 オンの作成を実施。 井座、マイタイムライン作成講 ・出前講座、マイタイムラ
⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供 ・HPで川の情報のリンクを付し、情報提供を行う ・H28年度 R7年度 ・HPで川の情報のリンクを付し、情報提供を行う ム・HPで川の情報のリンクを付し、情報提供を行う ム・HPで川の情報のリンクを付し、情報提供を行う ム・HPで川の情報のリンクを付し、情報提供を行う ム・HPで川の情報のリンクを付し、情報を関する。 R7年度 ポームページ掲載に向けた内部検 は、内部検討中	作成を実施。
8許可工作物管理者への防災教育の実施 ・検討する ・H28年度 R7年度 ・検討する Δ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	作成を実施。

				阿見町									河内町				
内容	実施内容		施期間 一一完了	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状态	実施内容		<u>期間</u> 完了	R4年度実績	実施状況	R5年度実績 ***	R6年度	実績 *
対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間	の確保のための水防活動の取組	,,,,	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	•					•		.н.	, ,,,,			1	1	
り効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・水防団の連絡体制の確認を行う	•H28年度	•R7年度	・水防団の連絡体制の確認を行う (水防団=消防団のため、分団長 メーリングリストで情報共有)	•	・水防団の連絡体制の確認を行っ (水防団=消防団のため、分団長メーリングリスト、グループLINEで情報共	•	・水防団の連絡体制の確認を行う (水防団=消防団のため、分団長メー リングリスト、グループLINEで情報共 ち)	•	・伝達訓練の実施	•H28年度	R2年度	令和3年度は総合防災訓練未実施	×	・総合防災訓練(広域避難)を実施 し無線による伝達・水防活動後の広 域避難を訓練した。	・総合防災訓練(広域) し無線による伝達・水域避難を訓練した。	
②水防団同士の連絡体制の確保	・連絡体制を確保する	•H28年度	•R7年度	・連絡体制を確保する	0	・連絡体制を確保する	0	・連絡体制を確保する	0	・連絡体制は確保済	•H28年度	R2年度	令和3年度は総合防災訓練未実施	×	・無線機による隊の統制。	無線機による隊の約	充制 。
③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い 区間の共同点検	・河川事務所が実施する重要水防 箇所等の共同点検に参加する	・H28年度	•R7年度	河川事務所が実施する重要水防 箇所等の共同点検に参加する	•	・河川事務所が実施する重要水防 箇所等の共同点検に参加する	•	河川事務所が実施する重要水防 箇所等の共同点検に参加する	•	・共同点検への参加	•H28年度	R2年度	・利根川下流管内での共同点検に 参加	•	・利根川下流管内での共同点検に 参加	・利根川下流管内での 参加	の共同点検に
④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・既に美浦村、稲敷市、阿見町3市町村で合同の水防訓練を実施している	•H28年度	•R7年度	・既に美浦村、稲敷市、阿見町3市 町村で合同の水防訓練を実施して いる	×	・既に美浦村、稲敷市、阿見町3市 町村で合同の水防訓練を実施して いる	•	・既に美浦村、稲敷市、阿見町3市町村で合同の水防訓練を実施している	•	・実施について検討する。	•H28年度	R2年度	令和3年度は合同水防訓練未実施	×	・総合防災訓練、利根川の洪水対 応訓練(広域避難)を実施した。	・総合防災訓練、利林 応訓練(広域避難)を	別の洪水対 実施した。
⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を 促進	・消防団が水防活動を兼務している。消防団員募集は、広報誌、HP 等で実施している	•H28年度	•R7年度	・消防団が水防活動を兼務している。消防団員募集は、広報誌、HP 等で実施している		・消防団が水防活動を兼務している。消防団員募集は、広報誌、HP 等で実施している	•	・消防団が水防活動を兼務している。消防団員募集は、広報誌、HP 等で実施している	•	・募集・指定の促進について検討する	•H31年度	R2年度	ポスターの掲示及び地区ごとの呼 びかけを実施している	•	ポスターの掲示及び地区ごとの呼 びかけを実施している	ポスターの掲示及びびかけを実施している	地区ごとの呼 5
⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・建設業組合等との災害協定締結	•H19年度 •H22年度	R7年度	・建設業組合等との災害協定締結	•	・建設業組合等との災害協定締結	•	・建設業組合等との災害協定締結	•	・水防支援体制について検討する。	・H31年度	•R7年度	・実施に向けた内部検討	0	•内部検討中 (・町建設業者と災害接体制を確立している	
⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有	・水防団等と情報を共有し点検を行う	•H29年度	•R7年度	・特になし	×	特になし	×	特になし	×		H28年度	•R7年度	特になし	×	・危険個所の巡回、排水溝の状況 調査	・危険個所の巡回、 調査	ᆙ水溝の状況
⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	Δ	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	Δ	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	Δ	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	水防箇所の点検を実施	•	水防箇所の点検を実施。品年度未実施。	水防箇所の点検を実実施。	施。品年度未
⑨水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団貝の券集、目土防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度	・水防団貝の募集、目土防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	0	・水防団貝の募集、目主防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	0	・水防団貝の募集、目土防災組織 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	0	・水防団貝の募集、目主防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度	毎年募集している	0	毎年募集している	毎年募集している	
⑩水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	・実践的な水防訓練の検討、実施	×	・実践的な水防訓練の検討、実施	•	・実践的な水防訓練の検討、実施	•	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	令和3年度は合同水防訓練未実施	×	総合防災訓練時、水防団は土のう 積み訓練を実施。	総合防災訓練時、水積み訓練を実施。	防団は土のう
⑪水防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	・広域的、効率的な水防活動の実 施に向けた関係者との連携、協力	0	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	0	・広域的、効率的な水防活動の実 施に向けた関係者との連携、協力	0	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	特になし	×	特になし	特になし	
対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動 非水計画(案)の作成及び排水訓練の実施	動の回復を可能とするための排水活動の取組																
①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成	・関係機関と情報を共有して検討していく	•H29年度	•R7年度	・関係機関と情報を共有して検討していく	Δ	・関係機関と情報を共有して検討していく	Δ	・関係機関と情報を共有して検討していく	Δ		H28年度	•R7年度	未実施	×	未実施	未実施	
②排水訓練の実施	・水防訓練時での実施を検討していく	・H29年度	•R7年度	・水防訓練時での実施を検討してしく	Δ	・水防訓練時での実施を検討していく	Δ	・水防訓練時での実施を検討していく	`		H28年度	•R7年度	未実施	×	未実施	未実施	
③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・関係機関と情報を共有して検討していく	•H29年度	•R7年度	・関係機関と情報を共有して検討していく	Δ	・関係機関と情報を共有して検討していく	Δ	・関係機関と情報を共有して検討していく	Δ		H28年度	•R7年度	未実施	×	未実施	未実施	
④排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度	・排水設備の耐水化	Δ	・排水設備の耐水化	Δ	・排水設備の耐水化	Δ	・排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度	未実施	×	未実施	未実施	
⑤排水準備計画の作成	・作成に必要な情報の提供	•R3年度	•R7年度	・作成に必要な情報の提供	Δ	・作成に必要な情報の提供	Δ	・作成に必要な情報の提供	Δ	・作成に必要な情報の提供	·R3年度	•R7年度	未実施	×	未実施	未実施	

\top					利根町													
目事項	内容	実施内容		短期間 一一完了	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	実施内容		期間 完了	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績
	対策の主な取組 ・水を河川内で安全に流す対策									•			, - ·				•	
	①優先的に実施する堤防整備																	
(2優先的に実施する波浪対策																	
(③危機管理型ハード対策																	
L																		
(2)姓	難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																	
	①雨量·水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・ 伝達するための基盤の整備																	
-		時が無値(日根で)のデジャルル			print pr		・実施設計完了		・実施設計完了									
		・防災無線(同報系)のデジタル化 実施設計(H28年度)	•H28年度		・実施設計完了	•	・防災無線(同報系)デジタル化工 事(H29年度〜H30年度)	•	・防災無線(同報系)デジタル化工事 (H29年度~H30年度)	•	・防災無線が聴き取りずらい世帯に			防災行政無線のデジタル化に向		・防災行政無線デジタル化に向けた		・防災行政無線デジタル化に向け
Ç	②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布	・防災無線(同報系)デジタル化工 事	•H29年度	H30年度	・防災無線(同報系)デジタル化工 事(H29年度~H30年度)	•	防災行政無線情報連携配信サーバー改修。	•	・防災行政無線情報連携配信サーバー 改修。	•	対し戸別受信機の貸与を進める	•H28年度	•R7年度	け実施設計業務を実施	0	更新工事入札執行済。3月本契約 締結予定。	0	更新工事完了し、希望者に対して 防災ラジオの貸与を実施。
							固定電話と連動したテレホンサービ スを実施		固定電話と連動したテレホンサービス を実施。									
	③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資機		・H29年度	•R7年度	・水防団(消防団)の安全を確保す		今年度については特に実施してい	0	今年度については特に実施してい	0	・新技術を活用したものではない が、基本的な水防資機材は配備し	•H28年度	R7年度	新技術を活用したものではない	•	新技術を活用したものではない		新技術を活用したものではない
木	材等の配備	充実 ————————————————————————————————————	1120 172	1/2	るための資機材を整備	Ŭ	ない。	Ŭ	ない。	Ŭ	ている	1120 172		が、基本的な水防資機材は配備済		が、基本的な水防資機材は配備済	Ļ	が、基本的な水防資機材は配備液
(④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	水位や雨量に関するデータを提供	•H30年度	H30年度	・町で作成した防災の手引きに、国 土交通省が提供する河川情報サイ						・利根川以北が対象となる事から、 横利根川の水位データを市のホー	·H28年度	R7年度	川の防災情報へのリンク済	•	川の防災情報へのリンク済	•	川の防災情報へのリンク済
		するサイトの情報を周知			トへのリンクを掲載する。						ムページにリンク貼り付けをする ・利根川以北の地形特性上、氾濫						-	
	⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の整 備及び自家発電装置等の耐水化	・庁舎は浸水想定区域外で自家発電装置有り									水が貯留される事から避難誘導を優先する	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	実施に向けた取り組みを継続
ŀ		内水被害危険箇所の対策、排水	1100年本	D2/F #	内水被害危険箇所の対策、排水	_	内水被害危険箇所の対策、排水	_	内水被害危険箇所の対策、排水	_	12217 30	1100/5	D7/F #	※字はの※担と中 体		火中はのツォナウ 状		※字吐のツタナウセ
Œ.	⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備	ポンプの準備	•H28年度	R7年度	ポンプの準備	Δ	ポンプの準備	Δ	ポンプの準備	Δ	・浸水実績図の作成を行う	・H28年度	•R7年度	・災害時の巡視を実施		・災害時の巡視を実施	_	・災害時の巡視を実施
C	⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など 重要施設の雨水排水整備の実施	重要施設の雨水排水整備の実施	•R3年度	•R7年度	重要施設の雨水排水整備の実施		重要施設の雨水排水整備の実施	Δ	重要施設の雨水排水整備の実施	Δ								
3	王女応収 V 附 小 併 小 全 順 U 夫 胞	200	-		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,													
¢	⑧河川防災ステーションの整備																	
		防災拠点の災害対策用備蓄品の			・押付地区水防センター等の備蓄		・押付地区水防センター等の備蓄		・押付地区水防センター等の備蓄									
(?		・防災拠点の災害対策用偏番品の整備等	•R3年度	•R7年度	・押付地区水防センター寺の偏畜 品の補充。	0	・押付地区水防センダー寺の偏審 品の補充。	0	・押付地区水防センター等の偏音 品の補充。	0								
$\overline{}$				•	∓((+H)0~	, ,								· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
事項	内容	実施内容	実施	· 期間	利根町 R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況	実施内容	実施	期間		実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績
フト対	策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な	×161.14.	着手	完了	八十八人人根	200	110十及天順	X.0201.00	八〇十及天順	5005100	Z/MEP 14	着手	完了	八十八人人员	2400 0100	10个及关照	X.029.00	八〇十八人八段
	域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																	
Ć	①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																	
¢	2.想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表																	
	③広域避難計画の策定	・稲敷広域組合構成市町村で検討	•H28年度	R2年度	・稲敷広域組合構成市町村により 災害時相互応援協定(広域避難含		・稲敷広域組合構成市町村により 災害時相互応援協定(広域避難含	•	・稲敷広域組合構成市町村により 災害時相互応援協定(広域避難含	•	・隣接自治体との協定締結など事 前の調整を図った上で、広域避難	·H28年度	•R7年度	 市町村災害対応統合システム(IDR4M)の実務 訓練を通じた、情報共有要領及び連携要領につ 		市町村災害対応統合システム(IDR4M)を活用		市町村災害対応統合システム(IDR4M)を浸
ľ		開始	1120 1 12		む)を締結		む)を締結	Ľ	む)を締結	Ľ	計画を策定する	1120 172	12	いて確認	Ŭ	し、避難情報等の配信に向け参考として活用	Ŭ	し、避難情報等の配信に向け参考として活用
		・想定最大規模降雨における洪水			防災の手引き及びハザードマップ を作成し、防災の手引きの中には		防災の手引き及びハザードマップ を作成し、防災の手引きの中にはマ		防災の手引き及びハザードマップ を作成し、防災の手引きの中にはマ		・想定最大規模降雨における洪水		D = 4 = 4 =	 3回の説明会を実施。回数が少ないのは、コロ 		ハザードマップの策定完了し、各戸配布済。市民		・ハザードマップ策定が完了し、各戸配布済。市
(4	④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等	を対象に、広域避難を反映した洪水 ハザードマップを策定する	•H30年度	H30年度	イタイムラインを掲載し、各戸配布により周知を図る		イタイムラインを掲載し、各戸配布 により周知を図る	•	イタイムラインを掲載し、各戸配布 により周知を図る		を対象に、新たな洪水ハザードマップを策定する	•H28年度	•R7年度	ナ禍のため、開催ができないため	0	へ周知するため、出前講座等の要望に対し、積極 的に対応。	0	へ周知するため、出前講座等の要望に対し、積 的に対応。
-					・H30年度に指定避難所の案内看	1	想定浸水深表示看板設置につい		浸水深表示看板設置について、令		・避難所等の施設に、避難経路に							
C	⑤まるごとまちごとハザードマップ整備·拡充	・洪水浸水総地図の公表後、設置 に向けた検討を行う	•H29年度	•R7年度	板を設置する ・浸水想定深の表示看板について	\sim	て, 令和5年度に町内25箇所設	0	和6年度に新たに町内25箇所設	0	関する案内表示板等の設置を検討	•H29年度	•R7年度	・ 見直しを検討中	0	・ 見直しを検討中	0	・ 見直しを検討中
-					は, 今後検討		ш.		旦。		9 0							要配慮者利用施設の避難確保計
C	⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進	・避難訓練等を支援する	•H29年度	·R7年度	・要配慮者利用施設の避難計画の 作成及び訓練実施を促進する		・要配慮者利用施設の避難計画の 作成及び訓練実施を促進する	0	・要配慮者利用施設の避難計画の 作成及び訓練実施を促進する	0	・作成に必要な情報の提供及び策 定を支援	・H28年度	•R7年度	 94/99(94%)が避難計画を作成を確認 	0	要配慮者利用施設の避難確保計 画策定率は100%を達成した。	0	画策定率は100%を達成した。引 続き、施設の訓練報告を進めてい
H					TFIXX O MINX 大池とに延りる		TFIXXO 副称文池と民選する		TF/%次で動物体失過と促進する		~ C ~ IX			C HE DIA		日来た平1810070と足次のた。	-	る。
	⑦ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポート、 地図情報の活用																	
(2)避	難指示の発令に着目したタイムラインの作成	W## - # D. 1 74D 1 D. 101			Tallan i Bou-ti-ti-ti-ti-ti-ti-						1				1		1	
(・H28年度	R元年度	・利根川・小貝川に対応したタイム・ インを作成済み。(令和元年8月更		・利根川・小貝川に対応したタイムラ インを作成済み。(令和4年1月更		・利根川・小貝川に対応したタイムラインを作成済み。(令和4年1月更		・タイムラインの策定;見直しを行う	·H28年度	•R7年度	・作成中、広域避難協定市との調整 を今後更に行う		・作成中、広域避難協定市との調整 を今後更に行う	0	・作成中、広域避難協定市との調 を今後更に行う
=		しを図る。			新) ・町のホームページや, 町で作成し		新)		新)					とう反文にログ			-	
	②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイムラインの作成	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度	た防災の手引きに、マイ・タイムラインに関する情報を掲載	1 0	広報紙等にマイ・タイムラインに関 する情報を掲載	0	広報紙等にマイ・タイムラインに関 する情報を掲載	0	・マイ・タイムラインの作成の促進	•R3年度	•R7年度	・R4.3.23 マイタイムライン講習会を実施	0	マイ・タイムラインの作成を出前講座に追加。	0	マイ・タイムラインの作成を出前 座で実施
ŀ	\$F= 1				ノ に対する 旧和で物料		茨城県と合同で各地区の代表者及		地区の代表者及び防災士、受講希	1_						マイ・タイムラインの作成を出前講	1_	マイ・タイムラインの作成を出前。
G	③「マイ・タイムライン」作成講習の実施						び防災士の方向けにマイ・タイムラ インの講習会を行った。	•	望の住民向けにマイ・タイムライン の講習会を行った。	•					L	座に追加。	\perp°	座で実施
,	④タイムラインに基づく実践的な訓練	・実践的な訓練について検討する	・H29年度	•R7年度	・実践的な訓練の実施を検討する	0	地震災害を想定した訓練ではあるか3 6地区の内26地区が参加し、「共助」	0	・実践的な訓練の実施を検討する	0	・震災に対する訓練のみであったため、隔年で水災害対象の訓練を実	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・ 実施に向けた取り組みを継続	٨	実施に向けた取り組みを継続
L		- CIXELL O	1.0		- 13000 5 British 17 XXIII C 1X B1 7 10	Į J	の意識向上に対し、大きな一歩を踏み 出せた	Ĭ			施するなど検討する	1.2		2	Ë	Sauce / / Cha / har / C manyt	L	- CASE - STATE OF THE PROPERTY CHEST
¥	5)気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級の 現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実 LL)等の改善																	
	化」等の改善 ⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホットラ																	
	インの構築)																	
L	5災教育や防災知識の普及				P+《《 左 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		P+ (((Az. 14)		P+《《在···································		・水災害に関連する担当課が連携			라 (무) 대명 (무구 기가 제 기사 보기 기가	1			ルウルョナフロルニョバー
(3)防	交換目で則欠組織の目及	业似中1-82-783-1-1-		1	・防災危機管理課担当課において	•	・防災危機管理課担当課において 問合せに対応	•	・防災危機管理課担当課において 問合せに対応	•	を執って、問い合わせ窓口を設置している	·H28年度	R7年度	・水害に関連する担当課が連携を 執って、問い合わせ窓口を設置済。	•	・水害に関連する担当課が連携を 執って、問い合わせ窓口を設置済。	•	・水害に関連する担当課が連携 執って、問い合わせ窓口を設置
Π	↑水災室に東前準備に関する関い合わせ窓口の設置	・水災害に関する問い合わせ窓口 を設置	•H29年度	RH29年度	問合せに対応		1-3 = -1-73.0		・町の山前謙麻を守佐し、ハギード	1	・自治会等への出前講座による周	1		ウンクないこの英語にも日本作	t	・自治会等からの要請により実施し		自治会等からの要請により実施
(1	①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置				・町の出前講座を実施し、ハザード		・町の出前講座を実施し、ハザード	^	・町の出前講座を実施し、ハザード	_	日内大寺、〇山川神正による回	- 1100 左 中	. Dフ左 広	自治会等からの要請により実施し	_			
(1	①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	を設置	•H29年度 •H28年度	RH29年度 •R7年度		0		0	マップや災害情報の収集方法等について説明	0	知を図る	・H28年度	•R7年度	・日泊芸寺からの要請により美施している	0	ている	0	ている
(1)	①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	を設置・町の出前講座を実施し、水防災に			・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施につ	: 0	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施につ	0	マップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施につ	0	知を図る ・	•H28年度 •H29年度	•R7年度 •R7年度	ている - R3.8.2 教員を対象とした防災教育	0		0	
(1)	①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置 ②水筋災に関する説明会の開催・広報の実施	を設置 ・町の出前講座を実施し、水防災について周知を図る	•H28年度	•R7年度	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する	: 0	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する	0	マップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する	0	知を図る	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		ている	0	ている ・次年度実施に向け調整中	0	でいる・次年度実施に向け調整中
(d	①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置 ②水筋災に関する説明会の開催・広報の実施	を設置 ・町の出前講座を実施し、水防災について周知を図る	•H28年度	•R7年度	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施につ	: 0	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施につ	0 0	マップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施につ	0 0	知を図る ・	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		ている - R3.8.2 教員を対象とした防災教育	О О Д	でいる ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、水	0	でいる ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、
(d)	①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置 ②水防災に関する説明会の開催・広報の実施 ③教員を対象とした講習会の実施 ④小学生を対象とした防災教育の実施	を設置 ・町の出前講座を実施し、水防災について周知を図る ・実施について検討する ・小学校で防災講習会を実施	•H28年度 •H29年度 •H29年度	-R7年度 -R7年度 -R7年度	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 ・干水川ア・ツ/四塚歴班訓練にし、	0 0	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する。 ・司き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 ・地区の代表者及び、防災士の方	0	マップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 地区の代表者及び防災士、受講希	0 0	知を図る ・ボハハート・マッフにより、反ハ東 囲の再確認、学校での水災害における避難体制の整備について促進 ナス ・水防災意識の向上のため、啓発 資料等の作成について検討する	•H29年度 •H29年度	•R7年度 •R7年度	ている -R3.8.2 教員を対象とした防災教育の実施 ・実施に向けた取り組みを継続	Δ	でいる ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、水 防災教育を実施	0	・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・ 次年度実施に向け調整中 ・ 市内小学校からの要請により、 防災教育を実施
(d)	①水災客に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置 ②水防災に関する説明会の開催・広報の実施 ③教員を対象とした講習会の実施 ④小学生を対象とした防災教育の実施	を設置 ・町の出前講座を実施し、水防災について周知を図る ・実施について検討する	•H28年度 •H29年度	•R7年度 •R7年度	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。	0 0	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。	0	マップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。	0 0	知を図る	·H29年度	•R7年度	ている - R3.8.2 教員を対象とした防災教育 の実施	Δ	でいる ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、水	0	・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、 防災教育を実施
6	①水災客に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置 ②水防災に関する説明会の開催・広報の実施 ③教員を対象とした講習会の実施 ④小学生を対象とした防災教育の実施 5出前講座等を活用した講習会の実施	を設置 ・町の出前講座を実施し、水防災について周知を図る ・実施について検討する ・小学校で防災講習会を実施 ・出前講座等を活用した講習会の実施	+H28年度 +H29年度 +H29年度 H28年度	-R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度 -R3年度	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 ・・ナスロン・フルスを実施する。・・ナスロン・レビの代表者及び防災士の方々に対し、広域避難に関する講座を実施する。	0 0	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 ・地区の代表者及び、防災土の方へのマイ・タイムライン講習会の実施。	0 0	マップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 地区の代表者及び防災士、受講希望の住民向けにマイ・タイムラインの講習会の実施。	0 0	知を図る ・ボホバリート・マップにより、反不明 即の再確認、学校での水災害にお ける避難体制の整備について促進 主 ・水防災意識の向上のため、啓発 資料等の作成について検討する ・出前講座等を活用した講習会の 実施	•H29年度 •H29年度 H28年度	·R7年度 ·R7年度	ている ・R3.8.2 教員を対象とした防災教育の実施 ・実施に向けた取り組みを継続 ・自治会等からの要請により実施している	Δ 0	でいる ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、水防災教育を実施 ・ 自治会等からの要請により実施	0	でいる ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、 防災教育を実施 ・ 自治会等からの要請により実
(4)	①水災客に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置 ②水防災に関する説明会の開催・広報の実施 ③教員を対象とした講習会の実施 ④小学生を対象とした防災教育の実施 5出前講座等を活用した講習会の実施	を設置 ・町の出前講座を実施し、水防災について周知を図る ・実施について検討する ・小学校で防災講習会を実施 ・出前講座等を活用した講習会の	+H28年度 +H29年度 +H29年度 H28年度	-R7年度 -R7年度 -R7年度	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0 0	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する。 ・司き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 ・地区の代表者及び、防災士の方	0 0	マップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 地区の代表者及び防災士、受講希 望の住民向けにマイ・タイムライン	0 0	知を図る ・	•H29年度 •H29年度 H28年度	•R7年度 •R7年度	ている -R3.8.2 教員を対象とした防災教育の実施 - 実施に向けた取り組みを継続 - 自治会等からの要請により実施	Δ	でいる ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、水防災教育を実施 ・ 自治会等からの要請により実施	0	でいる ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、 防災教育を実施 ・ 自治会等からの要請により実
6	①水災客に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置 ②水防災に関する説明会の開催・広報の実施 ③教員を対象とした講習会の実施 ④小学生を対象とした防災教育の実施 5出前講座等を活用した講習会の実施	を設置 ・町の出前講座を実施し、水防災について周知を図る ・実施について検討する ・小学校で防災講習会を実施 ・出前講座等を活用した講習会の実施	+H28年度 +H29年度 +H29年度 H28年度	-R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度 -R3年度	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。・・ナスロン・ログロン域を理解が終土の方々に対し、広域避難に関する講座を実施 ・町行政アプリによるプッシュ通知での防災情報の配信	0 0	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 ・地区の代表者及び、防災士の方へのマイ・タイムライン講習会の実施。 ・町行政アプリによるプッシュ通知での防災情報の配信	0 0	マップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について説明 ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 地区の代表者及び防災士、受講希望の住民向けにマイ・タイムラインの講習会の実施。 ・町行政アプリによるプッシュ通知での防災情報の配信	0 0	知を図る ・ボバハリート・マッフにより、反不明 即の再確認、学校での水災害にお ける避難体制の整備について促進 主 ・水防災意識の向上のため、啓発 資料等の作成について検討する ・出前講座等を活用した講習会の 実施 ・情報入手方法等を、再度周知する	-H29年度 -H29年度 H28年度 -H28年度	·R7年度 ·R7年度	ている ・R3.8.2 教員を対象とした防災教育の実施 ・実施に向けた取り組みを継続 ・自治会等からの要請により実施している	Δ 0	でいる ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、水防災教育を実施 ・ 自治会等からの要請により実施	0	でいる ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、 防災教育を実施 ・ 自治会等からの要請により実
	①水災客に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置 ②水防災に関する説明会の開催・広報の実施 ③教員を対象とした講習会の実施 ④小学生を対象とした防災教育の実施 ⑤出前講座等を活用した講習会の実施 ⑥ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	を設置 ・町の出前講座を実施し、水防災について周知を図る ・実施について検討する ・ 実施について検討する ・ 小学校で防災講習会を実施 ・ 出前講座等を活用した講習会の実施 ・ ブッシュ通知での防災情報の配信	+H28年度 +H29年度 +H29年度 H28年度	-R7年度 -R7年度 -R7年度 -R7年度 -R3年度	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について説明・して検討する・・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 ・地区の代表者及び、防災土の方へのマイ・タイムライン講習会の実施。 ・町行政アプリによるブッシュ通知での防災情報の配信 ・町で作成した防災の手引きに、国土交通者が提供する可川情報サイ	0	マップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 地区の代表者及び防災土、受講希望の住民向けにマイ・タイムラインの講習会の実施。 ・町行政アプリによるブッシュ通知での防災情報の配信 ・町で作成した防災の手引きに、国土交通省が提供する河川情報サイ	•	知を図る ・ボホバリート・マップにより、反不明 即の再確認、学校での水災害にお ける避難体制の整備について促進 主 ・水防災意識の向上のため、啓発 資料等の作成について検討する ・出前講座等を活用した講習会の 実施	-H29年度 -H29年度 H28年度 -H28年度	·R7年度 ·R7年度	ている ・R3.8.2 教員を対象とした防災教育の実施 ・実施に向けた取り組みを継続 ・自治会等からの要請により実施している	Δ Ο	でいる ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、水防災教育を実施 ・ 自治会等からの要請により実施	0	でいる ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、 防災教育を実施 ・ 自治会等からの要請により実
6	①水災客に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置 ②水防災に関する説明会の開催・広報の実施 ③教員を対象とした講習会の実施 ④小学生を対象とした防災教育の実施 ⑤出前講座等を活用した講習会の実施 ⑥ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	を設置 ・町の出前講座を実施し、水防災について周知を図る ・実施について検討する ・小学校で防災講習会を実施 ・出前講座等を活用した講習会の実施 ・ブッシュ通知での防災情報の配信 ・水位やライブカメラ等の情報を提	+H28年度 +H29年度 +H29年度 H28年度 H28年度	-R7年度 -R7年度 -R7年度 -R3年度 -R3年度	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。・・ナスロンの収率を理解では、地区の代表者及び防災士の方々に対し、広域避難に関する講座を実施 ・町で作成アプリによるブッシュ通知での防災情報の配信・・町で作成した防災の手引きに、国		・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 ・地区の代表者及び、防災士の方へのマイ・タイムライン講習会の実施。 ・町行政アプリによるブッシュ通知での防災情報の配信 ・町で作成した防災の手引きに、国	0	マップや災害情報の収集方法等について脱明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 地区の代表者及び防災士、受講希望の住民向けにマイ・タイムラインの講習会の実施。 ・町行政アプリによるブッシュ通知での防災情報の配信 ・町で作成した防災の手引きに、国	•	知を図る ・ボハリート・マリフにより、反不明 田の再確認、学校での水災害における避難体制の整備について促進 ・水防災意識の向上のため、啓発 資料等の作成について検討する ・出前講座等を活用した講習会の 実施 ・情報入手方法等を、再度周知する ・市のホームページに、リンクの貼り	-H29年度 -H29年度 H28年度 -H28年度	·R7年度 ·R7年度 ·R7年度	ている ・R3.8.2 教員を対象とした防災教育の実施 ・実施に向けた取り組みを継続 ・自治会等からの要請により実施している ・千葉テレビのデータ放送との連携を開始	Δ Ο	ている ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、水 防教育を実施 ・ 自治会等からの要請により実施 している ・ 千葉テレビのデータ放送との連携を継続	0 0	でいる ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、3 防災教育を実施 ・ 自治会等からの要請により実施している ・ 千業テレビのデータ放送との連携を継続
	①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置 ②水防災に関する説明会の開催・広報の実施 ③教員を対象とした講習会の実施 ④小学生を対象とした防災教育の実施 ⑤ブッシュ型の洪水予報等の情報発信 ②水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供 ②米はT・作物等理表への取出系数の実施	を設置 ・町の出前講座を実施し、水防災について周知を図る ・実施について検討する ・小学校で防災講習会を実施 ・出前講座等を活用した講習会の実施 ・ブッシュ通知での防災情報の配信 ・水位やライブカメラ等の情報を提	+H28年度 +H29年度 +H29年度 H28年度 H28年度	-R7年度 -R7年度 -R7年度 -R3年度 -R3年度	・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について説明・して検討する・・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		・町の出前講座を実施し、ハザードマップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 ・地区の代表者及び、防災土の方へのマイ・タイムライン講習会の実施。 ・町行政アプリによるブッシュ通知での防災情報の配信 ・町で作成した防災の手引きに、国土交通者が提供する可川情報サイ	0	マップや災害情報の収集方法等について説明 ・町教育委員会と調整し、実施について検討する ・引き続き町内小学校で、マイタイムライン作成等を実施する。 地区の代表者及び防災土、受講希望の住民向けにマイ・タイムラインの講習会の実施。 ・町行政アプリによるブッシュ通知での防災情報の配信 ・町で作成した防災の手引きに、国土交通省が提供する河川情報サイ	О О •	知を図る ・ボハリート・マリフにより、反不明 田の再確認、学校での水災害における避難体制の整備について促進 ・水防災意識の向上のため、啓発 資料等の作成について検討する ・出前講座等を活用した講習会の 実施 ・情報入手方法等を、再度周知する ・市のホームページに、リンクの貼り	-H29年度 -H29年度 H28年度 -H28年度	·R7年度 ·R7年度 ·R7年度	ている ・R3.8.2 教員を対象とした防災教育の実施 ・実施に向けた取り組みを継続 ・自治会等からの要請により実施している ・千葉テレビのデータ放送との連携を開始	Δ Ο	でいる ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、水防災教育を実施 ・ 自治会等からの要請により実施している ・ 千葉テレビのデータ放送との連携を継続 ・ リンク先の更新状況の確認	0 0	でいる ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・次年度実施に向け調整中 ・市内小学校からの要請により、 防災教育を実施 ・ 自治会等からの要請により実している ・ 千葉テレビのデータ放送との連携を継続

_				- 4000			,	-				- Hr 00			,		1	
項	内容	実施内容	美工 美雅	期間	R4年度実績	実施状況	R5年度実績 ****	R6年度3	建精 実施技	実施内容		・ 期間 ニュー	R4年度実績	実施状況	R5年度実績	実施状況	R6年度実績	
<u> </u>			直于	元」	1 1222 1121				1.0-1		<u>有于</u>	元」			1 1000 1100	ш	1 1047 1161	_
	主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間の																	
)より効	果的な水防活動の実施及び水防体制の強化		ı		* 相関国が外側国で本分しており、例父無	1	*用脚凹が小脚凹で本物しており、脚火無	・州関四の小関四を本法に	こおり、 別交無		1	1		1		$\overline{}$		
①水	防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施	・水防団への連絡体制の確保	・H28年度	•R7年度	線(移動系)及び消防団登録メールによる 連絡体制を取っている。伝達の確認や実施 については、日頃の訓練や火災現場等で ニーアンス	0	線(移動系)及び消防団登録メールによる 連絡体制を取っている。伝達の確認や実施 については、日頃の訓練や火災現場等で	線(移動系)及び消防団登連絡体制を取っている。伝については、日頃の訓練	達の確認や実施	・国の情報伝達訓練に合わせ訓練を実施する	•H28年度	•R7年度	・R3.7.14の国の情報伝達訓練に合わせ訓練を継続して実施している	0	・国の情報伝達訓練に合わせ訓練 を継続して実施している	0	・国の情報伝達訓練に合わせ を継続して実施している	난해
②水	防団同士の連絡体制の確保	・水防組合による会議・訓練により 連絡体制を確保している	•H28年度	•R7年度	・消防団が水防団を兼務しており、連絡体制は、訓練や火災現場等で実施している・稲敷広域水防協議会により連絡体制を確保している	0	・消防団が水防団を兼務しており、連絡体制は、訓練や火災現場等で実施している ・稲敷広域水防協議会により連絡体制を確保している	・消防団が水防団を兼務!制は、訓練や火災現場等・稲敷広域水防協議会に、保している	で実施している	・水防団(消防団)連絡網(連絡体制)は既に整っている	•H28年度	•R7年度	・水防団(消防団)連絡網(連絡体制)を整えており、R3.4.1現在の情報に更新した。	0	・水防団(消防団)連絡網(連絡体制)を整えており、R5.4.1現在の情報に更新した。	0	・水防団(消防団)連絡網(連 制)を整えており、R5.4.1現在 報に更新した。	
	防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い の共同点検	・利根川区間の共同点検を実施し ている	•H28年度	•R7年度	・河川事務所が実施した合同点検に参加	0	・河川事務所が実施した合同点検 に参加	・河川事務所が実施し に参加	た合同点検	・合同巡視の際に、地域住民の参加を検討する	•H29年度	•R7年度	・地域住民へ合同巡視の参加要請を検討中	0	・地域住民へ合同巡視の参加要請 を検討中	0	・地域住民へ合同巡視の参加を検討中	口要
④関	係機関が連携した実働水防訓練の実施	・水防組合による水防訓練に参加	•H28年度	•R7年度	・水防組合による合同水防訓練に参加	0	・水防組合による合同水防訓練に 参加	・水防組合による合同 参加	水防訓練に	・毎年度、実施している	•H28年度	•R7年度	・コロナウイルスにより未実施	0	R5.5.28開催の第71回利根川水系 水防演習に参加した。	0	R6.5.18開催の第72回利根川: 水防演習を香取市で開催。	水
⑤水 促進	防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を	・促進について検討する	•H29年度	•R7年度	・水防協力団体の募集・指定を検討する	0	・水防協力団体の募集・指定を検討 する	・水防協力団体の募集する	・指定を検討C	・水防に関し広報紙により募集・指 定の促進を図っている	•H28年度	•R7年度	・香取広域消防本部の消防団員募 集に合わせてホームページにて募 集を実施した。		・香取広域消防本部の消防団員募 集に合わせてホームページにて募 集の実施を検討した。	0	・香取広域消防本部の消防団 集に合わせてホームページに 集の実施を検討した。	
⑥地	域の建設業者による水防支援体制の検討・構築	・町建設業協会と災害協定を締結し 支援体制を確立している	•H18年度	H18年度	・町建設業協会と災害協定を締結し 支援体制を確立している	•				・実施を検討する	•H28年度	R7年度	・建設業協会と「地震・風水害その 他の災害応急対策業務協定」を締 結済	•	・建設業協会と「地震・風水害その 他の災害応急対策業務協定」を締 結済	•	・建設業協会と「地震・風水害他の災害応急対策業務協定」 結済	
⑦内	水被害危険箇所の把握及び情報共有	・把握および情報共有を行う	•H29年度	•R7年度	・危険箇所の把握・情報共有を検討する	0	・危険箇所の把握・情報共有を検討 する	・危険箇所の把握・情する	報共有を検討 C	・浸水実績図の作成を検討する	•H29年度	R7年度	・内水ハザードマップを配布し啓発 を実施。	•	・内水ハザードマップを配布し啓発 を実施。		・内水ハザードマップを配布し を実施。	, E
8重	要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・堤防の共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	・堤防の共同点検を実施。	0	・堤防の共同点検を実施。	・堤防の共同点検を	施。 C	・重要水防箇所・水防資機材等の 共同点検を実施。	•R3年度	•R7年度	・重要水防箇所の共同点検を実施 した。	•	・重要水防箇所の共同点検を実施した。	•	・重要水防箇所の共同点検をした。	25
9水	防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団貝の募集、目主防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度	町ホームページにて, 水防団募集 に関する情報を掲載	0	町ホームページにて, 消防団募集 に関する情報を掲載	町ホームページにて、 に関する情報を掲載	消防団募集	・水防団貝の募集、目主防災組織、 企業等の参画を促すための広報の 検討、実施	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	続
⑩水	防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	・実践的な水防訓練の実施	0	・実践的な水防訓練の実施	・実践的な水防訓練の)実施 C	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	・コロナウイルスにより未実施	×	R5.5.28に実施	•	R5.5.28に実施	
⑪水	防関係者間での連携、協力に関する検討	・広域的、効率的な水防活動の実 施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	水害時に、消防署・警察署との連絡調整を行う	0	水害時に、消防署・警察署との連絡 調整を行う	水害時に, 消防署・誓 調整を行う	察署との連絡 C	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携、協力	•R3年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	続
	主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動																	
排水計	†画(案)の作成及び排水訓練の実施	排水機場・樋門・水門等の情報共	ı		 ・排水機場・樋門・水門等の情報共	1	・排水機場·樋門・水門等の情報共	·排水機場·樋門·水	等の情報井		ı	1	T	1	Ţ	\dashv		_
		有、排水手法等の検討を行い、大 規模水害を想定した排水計画(案) の作成	H28年度	•R7年度	有、排水手法等の検討を行い、大 規模水害を想定した排水計画(案) の作成	Δ	有、排水手法等の検討を行い、大 規模水害を想定した排水計画(案)	有、排水手法等の検 規模水害を想定した の作成	すを行い、大	・排水ポンプの設置箇所の選定まで行った排水計画(案)の作成を検討する		•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	続
2排	水訓練の実施	・排水訓練の実施	H28年度	•R7年度	・排水訓練の実施	Δ	-排水訓練の実施 △	・排水訓練の実施	Δ	・防災訓練と合同で実施するよう検 討する	•H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	綅
3内	水被害危険箇所の排水計画(案)の作成	・内水被害危険箇所の排水計画 (案)の作成	H28年度	•R7年度	・内水被害危険箇所の排水計画 (案)の作成	Δ	・内水被害危険箇所の排水計画 (案)の作成	・内水被害危険箇所 (案)の作成)排水計画 △	・内水被害危険箇所の排水計画 (案)の作成を検討する	・H29年度	•R7年度	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	Δ	・実施に向けた取り組みを継続	続
④排	水設備の耐水化	-排水設備の耐水化	•R3年度	•R7年度	・排水設備の耐水化	Δ	・排水設備の耐水化	・排水設備の耐水化	Δ									
⑤推	水準備計画の作成	作成に必要な情報の提供	•R3年度	•R7年度	・作成に必要な情報の提供	_	・作成に必要な情報の提供 △	・作成に必要な情報の	\t=/# ^	・作成に必要な情報の提供	•R3年度	•R7年度	作成に必要な情報の提供		・作成に必要な情報の提供	$I \wedge I$	・作成に必要な情報の提供	

●:実施済み、O:実施中(検討中を含む)、△:実施に向けた取り組みを継続、×:実施していない、■:対象外

項目事項	内容	中华山家	実施	b期間	稲敷地方広域市町 R4年度実績		*****	DC在中中结	実施状況 実施内容	実施	1989	貨物鉄道(株) 実施状況 R5年度事績	+**** DC/E #= = ##	mm 20 - 4 to 10 to	中作中的	実施期間		海鉄道(株)	実績 実施状況	R6年度実績 実施状
1. //	が策の主な取組	実施内容	着手	短期間 完了	K4年及夫根 *	R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況 実施内容	着手		実施状況 R5年度実績	実施状況 R6年度実績	実施状況		手 完了	R4年度実績 実	施状況 R5年度	美額 美胞状况	HD年度美額 美胞状
	洪水を河川内で安全に流す対策																			
	①優先的に実施する堤防整備																			
	②優先的に実施する波浪対策																			
(2)	③危機管理型ハード対策 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備																			
	①雨量·水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・ 伝達するための基盤の整備																			
	②防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布																			
	③水防活動を支援するための新技術を活用した水防資																			
	機材等の配備																			
	④簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置																			
	⑤浸水時においても災害対応を継続するための施設の 整備及び自家発電装置等の耐水化																			
	⑥内水被害危険箇所の対策、排水ポンプの準備																			
	⑦重要インフラの機能確保を図るため、病院、市役所など 重要施設の雨水排水整備の実施																			
	⑧河川防災ステーションの整備																			
	⑨庁舎等の防災拠点の強化																			
					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	+++ 車 変 织 ム					D+1	賞物鉄道(株)					air en Edn	海鉄道(株)		
項目事項	内容	実施内容	実施	期間 完了	稲敷地方広域市町 R4年度実績	N事務組合 R5年度実績	実施状況	R6年度実績	実施状況 実施内容	実施	期間 0.4年度宝績		実施状況 R6年度実績	実施状況		実施期間		海鉄道(株) 施状況 R5年度	実績 実施状況	R6年度実績 実施状
2. ソフト	 対策の主な取組 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な		看于	元〔	****	112712				着手	完了				7	15年 完了				
(1)	広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等 ①想定最大規模降雨による浸水想定区域図の公表																			
	②想定最大規模降雨による氾濫シュミュレーションの公表																			
	③広域避難計画の策定																			
	④広域避難を考慮したハザードマップの作成・周知等																			
	⑤まるごとまちごとハザードマップ整備・拡充																			
	⑥要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進 ⑦ハザードマップポータルサイトを活用した周知サポー																			
(6)	(グハサートマックホーダルサイトを活用した周知サポート、地図情報の活用 避難指示の発令に着目したタイムラインの作成																			
(2)																				
	②避難指示の発令の判断基準に基づいた、マイ・タイム																			
	ラインの作成																			
	③「マイ・タイムライン」作成講習の実施																			
	④タイムラインに基づく実践的な訓練																			
	⑤気象情報発信時の「危険度の色分け表示」、「警報級 の現象になる可能性の情報提供」や「メッシュ情報の充実 化」等の改善																			
	⑥洪水時における河川管理者からの情報提供等(ホット ラインの構築)																			
												<u> </u>	1						<u> </u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
(3)	防災教育や防災知識の普及 ①水災害に事前準備に関する問い合わせ窓口の設置																			
	②水防災に関する説明会の開催・広報の実施																			
	③教員を対象とした講習会の実施																			
	④小学生を対象とした防災教育の実施																			
	⑤出前講座等を活用した講習会の実施																			
	⑥プッシュ型の洪水予報等の情報発信																			
	⑦水位計やライブカメラ等の情報をリアルタイムで提供																			
	⑧許可工作物管理者への防災教育の実施																			
	 対策の主な取組 ②洪水氾濫による被害の軽減、避難時間	の確保のための水防活動の取組																		
	より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化 ①水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施																			
	②水防団同士の連絡体制の確保																			
	③水防団や地域住民が参加する洪水に対しリスクが高い	+ 国上校	1100-	DC 4-	河川事務所が実施する共同点検に消防	○ ·河川事務所が実施する共同点検に消防	_	・河川事務所が実施する共同点検に消防												
	区間の共同点検	・共间は快に消防本部として参加	·H28年度	*K2年度	本部として参加。	本部として参加。	0	本印として参加。	J											
	④関係機関が連携した実働水防訓練の実施	・年1回霞ケ浦地区水防訓練を実施	·H28年度	•R2年度	・霞ヶ浦地区水防訓練に消防本部として 参加。	O ・霞ヶ浦地区水防訓練に消防本部として 参加。	0	・霞ヶ浦地区水防訓練に消防本部として 参加。	•											
	⑤水防活動の担い手となる水防協力団体の募集・指定を 日 神																			
	促進 ⑥地域の建設業表による水防支援体制の検討・構築																			
	⑥地域の建設業者による水防支援体制の検討・構築																			
	⑦内水被害危険箇所の把握及び情報共有																			
	⑧重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認	・重要水防箇所・水防資機材等の共同点検を実施。	·R3年度	·R7年度	・稲敷広域消防管内市町村と連携し取組 を行う。	・稲敷広域消防管内市町村と連携し取組を行う。	Δ	・稲敷広域消防管内市町村と連携し取組 を行う。	Δ											
		NC 2/160																		
	⑨水防に関する広報の充実(水防団員確保に係る取組)	・水防団員の募集、自主防災組織、企業 等の参画を促すための広報の検討、実施	● ·R3年度	•R7年度	・稲敷広域消防管内市町村と連携し取組を行う。	・稲敷広域消防管内市町村と連携し取組を行う。	Δ	・稲敷広域消防管内市町村と連携し取組を行う。	Δ											
					・ 種類 広様 当時 中央	・ 短動庁機当時際内主町サレ連株! マ		・ 郵動 広博消防祭 中末町 サレ海 惟 ・ ・												
	⑩水防訓練の充実	・実践的な水防訓練の検討、実施	•R3年度	•R7年度	・稲敷広域消防管内市町村と連携し、水 防訓練の充実を図って行く。	□・稲敷広域消防管内市町村と連携し、水 防訓練の充実を図って行く。	Δ	・稲敷広域消防管内市町村と連携し、水 防訓練の充実を図って行く。	Δ											
	① 小肚朋友 李明 カケ 本華 お キューロュー・ハニ	・広域的、効率的な水防活動の実施に向けた関係者との連携 協力	. po#=#=	. D7Æ 💏	・協議会や訓練等を通じて水災害に向け	・協議会や訓練等を通じて水災害に向け	_	・協議会や訓練等を通じて水災害に向け	0											
		TOTAL DE CONTENS COMPS	*H3年度	·K/年度	た連携強化を図って行く。	△ 「協議会や訓練寺を通じて小火告に同じた連携強化を図って行く。	Δ	た連携強化を図って行く。												
	対策の主な取組 ③一刻も早い生活再建及び社会経済活動 排水計画(案)の作成及び排水訓練の実施	の回復を可能とするための排水活動の取組																		
	①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検 討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)の作成																			
	alを打い、人及模小者を忍足した排小計画(来)の下成 ②排水訓練の実施																			
	③内水被害危険箇所の排水計画(案)の作成																			
	④排水設備の耐水化																			
	⑤排水準備計画の作成																			
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·																		